コミックボンボンスペシャル107

ゲゲゲの鬼太郎

公式ガイドブック2



■最新映画『おばけナイター』をいきなり大特集!
■TVシリーズ第14話「蜃気楼海竜・みずち」から第39話「妖狐・白山坊の花嫁」までを完全収録!
■太秦映画村でしか見られない「風雲! 妖怪城」とは!?
■ゲームからビデオまで鬼太郎グッズもバッチリ掲載!



この1冊なしに鬼太郎は語れない!!

試験も学校もないけれど，映画にテレビに大活躍！　ますます盛り上がる『ゲゲゲの鬼太郎』のすべてが，この1冊でバッチリわかる！　映画第2作『おばけナイター』はもちろん，絶好調のTVシリーズ第14話から第39話までの，妖怪データやあらすじを完璧フォロー。大人気の鬼太郎グッズも，一挙に収録。ファン必読の公式ガイドブック第2弾!!





ゲゲゲの鬼太郎

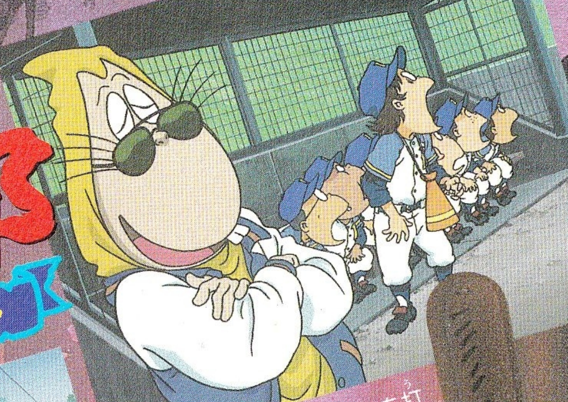
公式ガイドブック 2

目次


ゲゲゲの鬼太郎
おばけナイター
'97春
東映アニメフェア
妖怪バットを取り戻すため，鬼太郎は，三太郎たちブータレーズと野球の試合をすることになった。時は夜，場所は墓場・・・・。おばけナイター，いよいよここにプレイボール!!
●ぬりかべ
●一反木綿
●ねこ娘
●砂かけ婆
●子泣き爺


●鬼太郎
“悪いけど 僕たち相手じゃ
妖怪バットは きかないんだ”

ゲゲゲの鬼太郎
おばけナイター



▲妖怪バットでホームランを打った三太郎に、みんなは仰天。

●純



▲鬼太郎は、ブータレーズに試合を申し込む。



▲妖怪バットで気合い一発。ところが、純は空振り3振。妖怪バットは妖怪相手には、きかなかった。



●三太郎



▲猫変化して、ゴロを追うねこ娘。妖怪チームは珍プレイを続発！

●ねずみ男

▲なんとも豪快に、地面ごとボールをかっとばす、代打ぬりかべ。

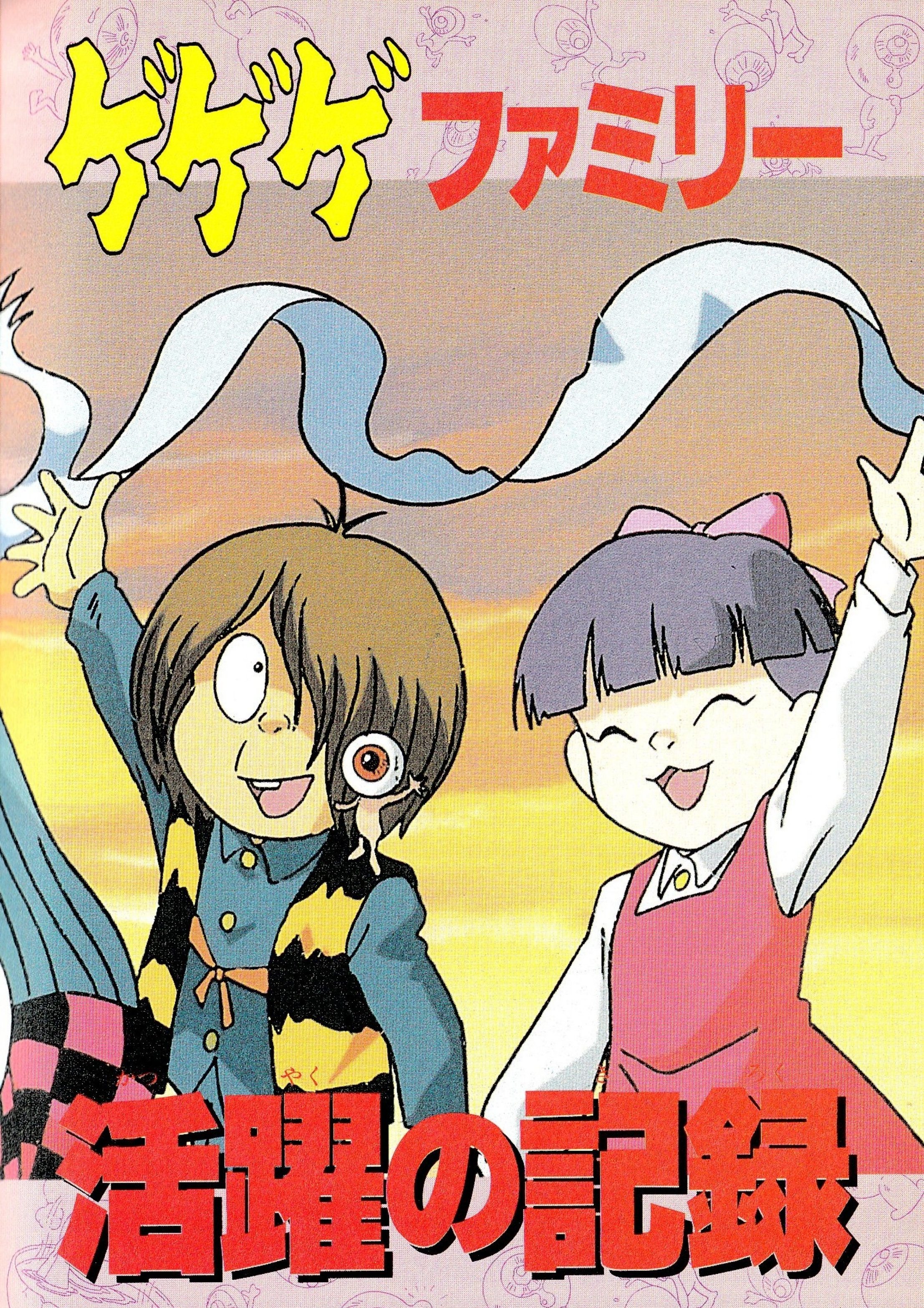
▲試合は妖怪チームのリードで、最終回を迎える。

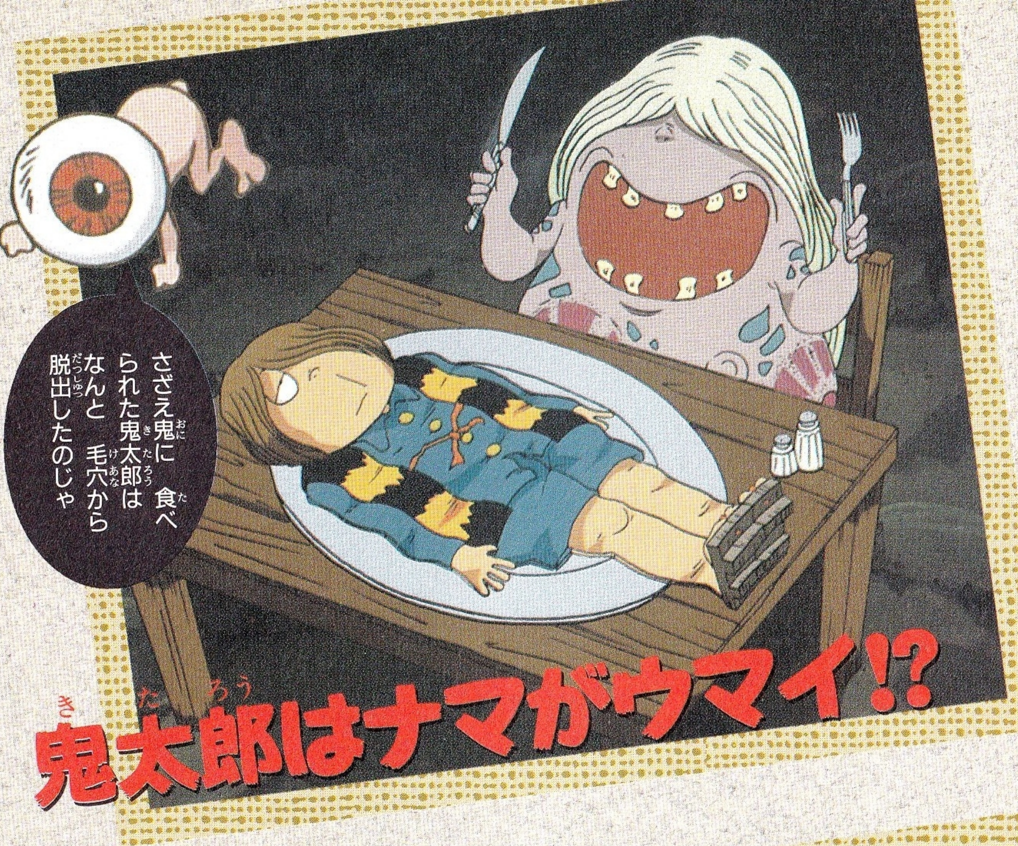
▲三太郎は、普通のバットで打席に立つが……!!

三太郎は、妖怪バットを手に入れる。でもこれは、使う者の魂を吸いつくすバットなのだ。

目玉おやじに聞く


みんな　元気かの？　わしは毎日茶碗風呂に
入っておるおかげで　この通り元気じゃぞ
ここで　わしらの活躍を振り返ってみようと
思うんじゃが　きみは　おぼえておるかな？


ゲゲゲファミリー
活躍(かつやく)の記録(きろく)



鬼太郎はナマがウマイ!?

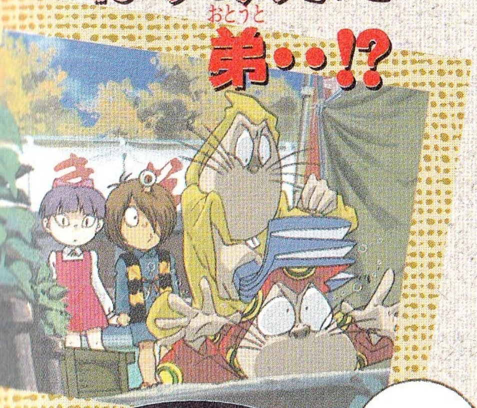
ゲゲゲファミリー 活躍の記録

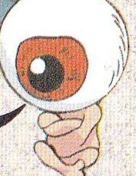
ねこ娘ピンチ!





ねずみ男に弟・・!?





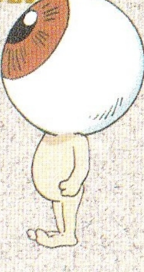
ねずみ男の弟に
バケたのは　むじ
なじゃったのォ

鬼太郎の地獄流し





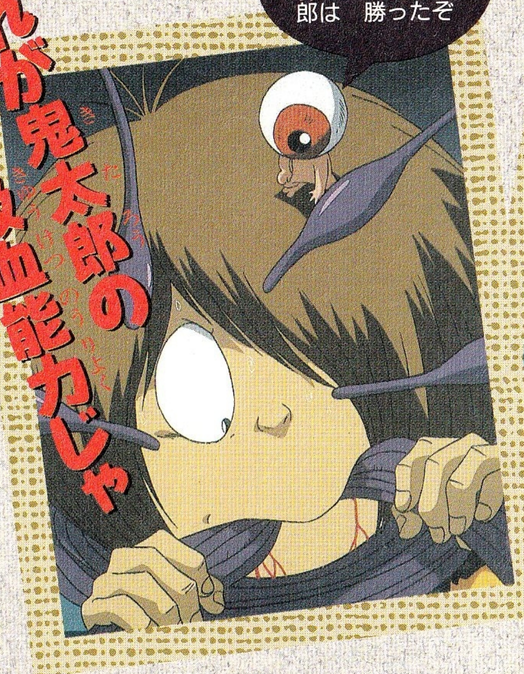
謎の円盤の正体は!?



指名手配中の悪人２人を
鬼太郎は　地獄流しの目にあわせ
よった　幽霊族の鬼太郎だから
できることなんじゃ

ゲゲゲファミリー 活躍の記録

これが鬼太郎の吸血能力じゃ



ねずみ男の花嫁さんは‥



鬼太郎が猫に‥!?



白山坊退散！



きみのうしろに黒い影！

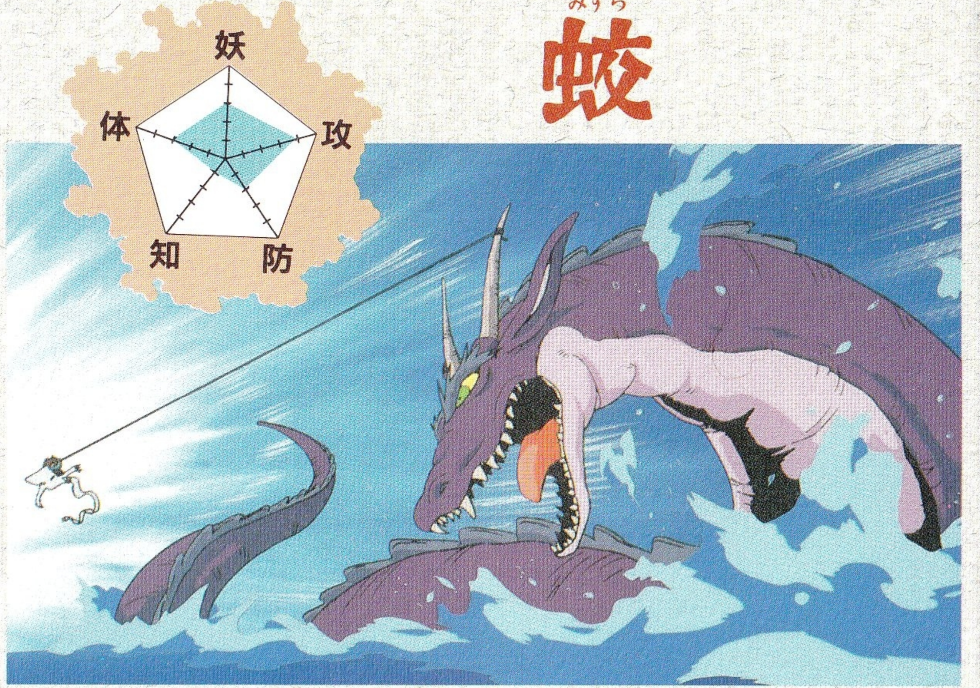
ゲゲゲ妖怪図鑑

（蛟から白山坊までの秘密を徹底解説！）

能力測定表の読み方

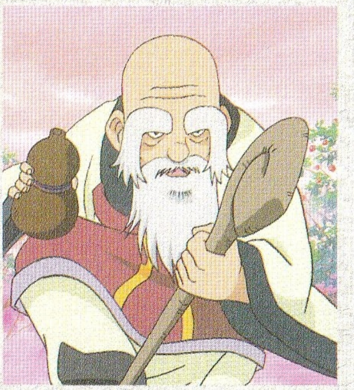
「妖（妖力）」は，妖怪が秘めている能力を，「攻（攻撃力）」は妖怪の攻撃技の威力を，「防（防御力）」は妖怪が相手の攻撃をどれだけ防げるかを，「知（知力）」は妖怪にどれだけの知恵があるかを，「体（体力）」は妖怪の身体の力を，それぞれ表しています。

蛟



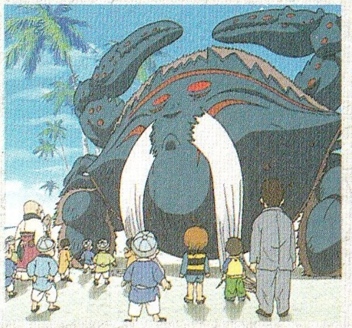
■出現理由　蓬莱島の迷いの森にある逆鱗で封印されていたが，それをねずみ男が持ち出したため，海底より出現。
■特徴　逆鱗で封印されている間は，ピンクの霧を吐き出して蓬莱島を作り出す，イイ海竜だった。蓬莱島は本当の島ではなく，この蛟の吐き出す息でできた蜃気楼なのだ。そのため封印がとけると蓬莱島は消えてしまい，蛟も暴れ出す。かなりの怪力で，鬼太郎がオカリナムチを使い，かに坊主の力も借りて，必死に動きを抑えたほど。額に逆鱗を戻せば，再び封印できる。

徐福



▶2000年前の中国の方士。秦の始皇帝の命令で不老不死の妙薬を求めて旅立ち，以来，その目的地だった蓬莱島で暮らしている。手にした瓢箪は，敵を一瞬で吸い込んでしまえる。

かに坊主



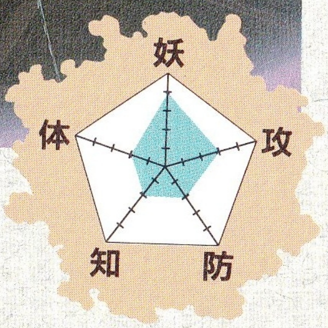
◀徐福たちと一緒に中国から来た上海蟹が，長生きして妖怪になった姿。鬼太郎が，蓬莱島に渡るために呼び出した。

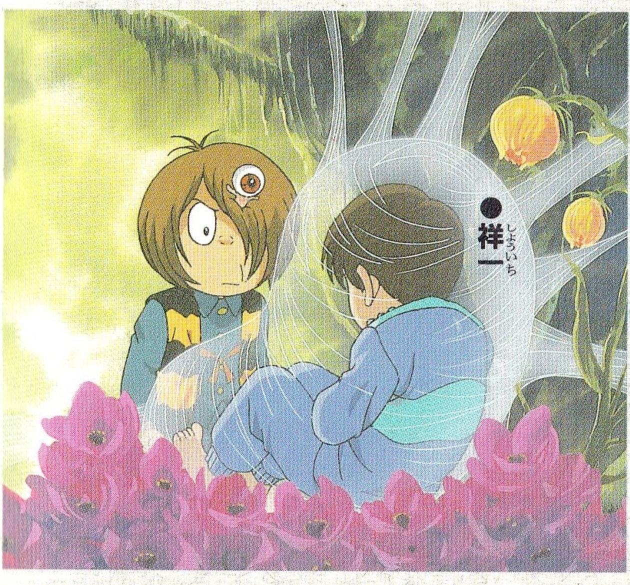
まくら返し

■出現理由　祥一の魂を食べるため，毎晩同じ夢を見せ，そこに現れて夢の世界へと連れ去った。

■特徴　自分の仕掛けた夢のなかに相手を引きずり込み，その夢のなかで魂を食べる妖怪。夢の世界に，もう1000年以上も棲んでいる。武器は鬼太郎たちさえ一瞬で眠らせ，夢に引きずり込む眠り砂。髪の毛バリを余裕でかわしたり，リモコンゲタを口でくわえてキャッチしたりと，なかなか身も軽い。砂かけ婆の砂をかわし，逆に眠り砂を見舞う，砂返しという技も見せた。塩を苦手としており，塩をかけられると体がなめくじのように溶けて，液体になる。



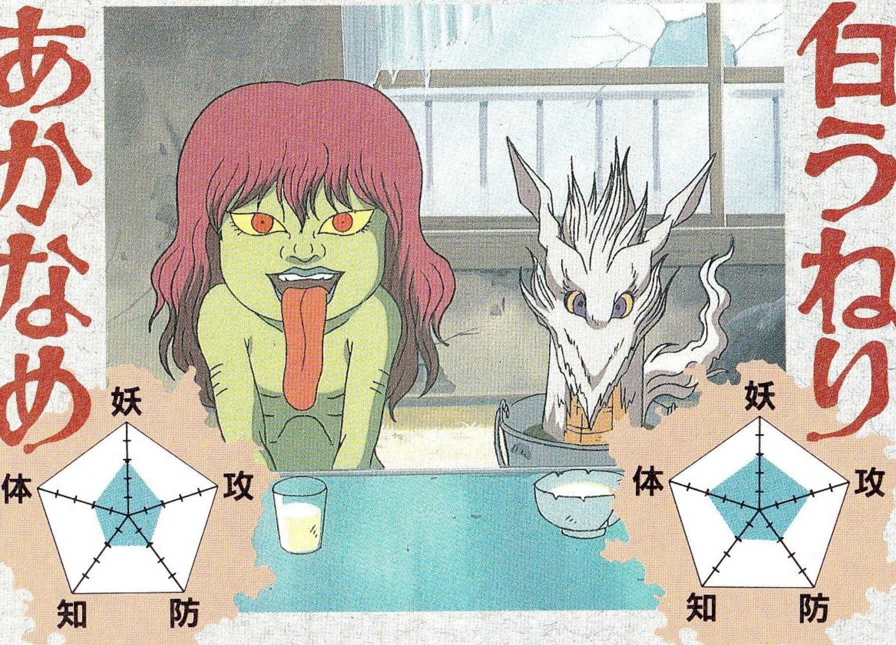




◀まくら返しは，夢の世界に引きずり込んだ人間を眠らせたまま，繭のようなものに閉じ込めておく。祥一は，毎日塾などで忙しく，友達ともゆっくり遊べなかったため，まくら返しが仕掛けた夢のなかだけが，心の休まる場所になっていった。そして，まくら返しに夢の世界へと連れ去られてしまったのだ。

あかなめ

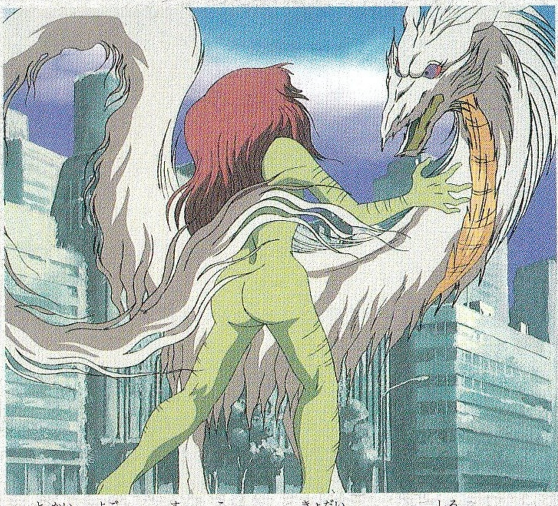
白うねり



■出現理由　汚い所に現れる妖怪。ねずみ男のボロアパートがあまりに汚いので，白うねりとともに出現。

■特徴　もともと，風呂の汚れなどを舌でなめてピカピカにする妖怪。

■特徴　汚れをふくんだ雑巾が妖怪に変化したもの。吐き出す息やシッポから撒き散らす粘液には，カビを生やす汚れがふくまれており，浴びせた場所を一瞬でカビまみれにする。



▲都会の汚れを吸い込んで，巨大になった白うねりは狂暴化。シッポであかなめを攻撃。

風神・雷神

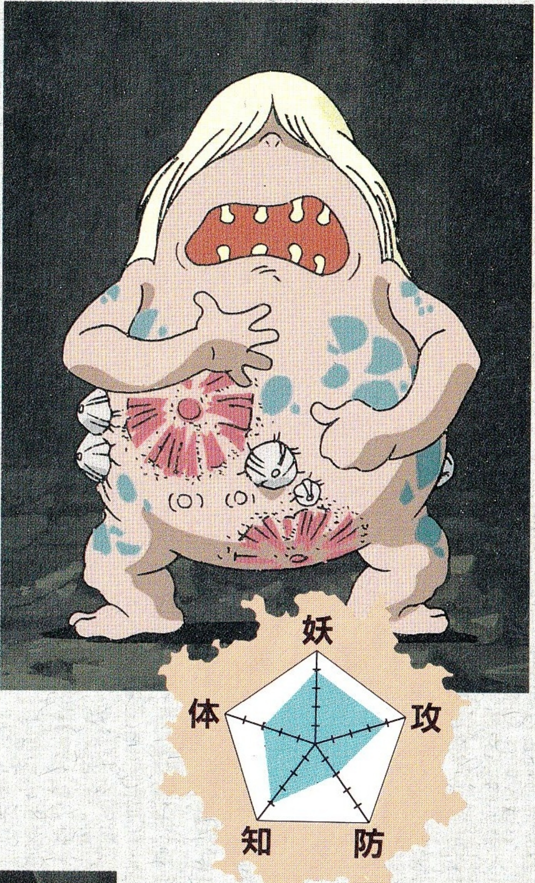


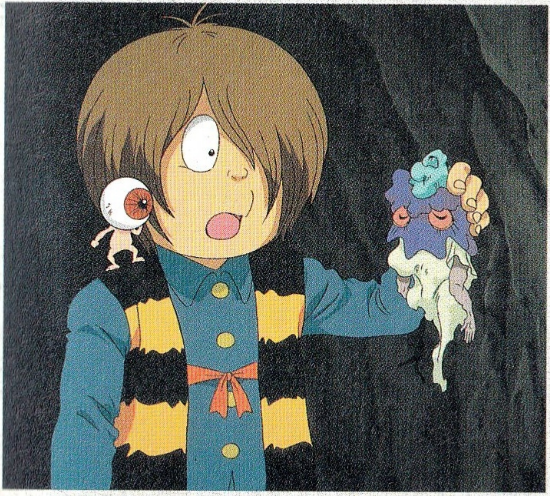


◀砂かけ婆に呼ばれた助っ人。風と雨を呼び起こし、白うねりの汚れを洗い流した。

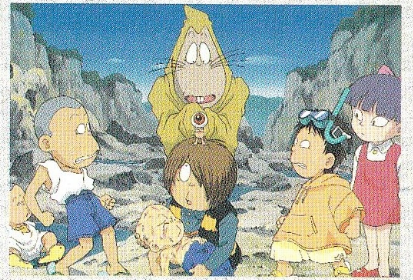
さざえ鬼

■出現理由　鬼太郎を食べれば，より強い神通力を持ち，千年も万年も生き続けられるので，鬼太郎をおびきよせようとした。そのために，天狗岩の近くにある人魚の子供たちのすみかをおそって捕まえ，ニセ鬼太郎にバケて，人魚の子供たちを売り歩いていた。
■特徴　目玉おやじによれば，とにかく狂暴な妖怪。その正体は，300年以上も生き続けて，細胞を自由自在にあやつることができるようになったさざえ。そのため体は変幻自在で，プレスされペラペラになってもすぐもとに戻れる。髪の毛をのばして，リモコンゲタを弾き返したりもした。




▲さざえ鬼の本体は，長くのびる目のついた舌。そこを髪の毛バリで攻撃されると，縮み上がってしまった。

人魚

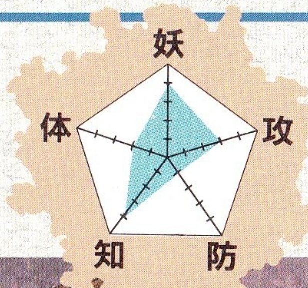

▲さざえ鬼の隙を見て逃げてきた。さざえ鬼に鬼太郎が食べられたときは，1人で立ち向かったほど勇敢。

化け鯨



■出現理由　南の海にある鯨の墓場を人間に荒らされたため，怒って出現した。鯨の墓場は，鯨の霊にとって神聖な場所なのだ。

■特徴　鯨の霊の固まりのようなもので，死期の近づいた鯨が訪れる，鯨の墓場の守り神。全身が骨だらけで，その骨は髪の毛バリを弾き返す堅さ。いまは，体内にいる動物学者の魂と一緒に鯨の墓場を守っている。



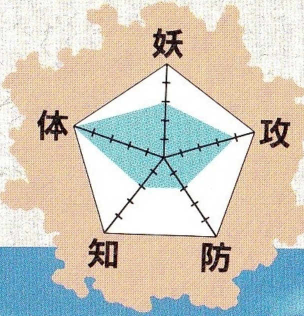
くびれ鬼



■出現理由　仕事に疲れた中年サラリーマン・筒井俊彦の魂をもらうため，俊彦を黄泉の世界に連れ込んでいた。

■特徴　現世に疲れた人間の心にとりついて，黄泉の世界に連れ込む凶悪な妖怪。黄泉の世界では鬼太郎の妖力はきかず，髪の毛バリは途中で消滅，チャンチャンコも，指で簡単に弾かれてしまう。黒いロングコートの男や，紙芝居の男にバケた。

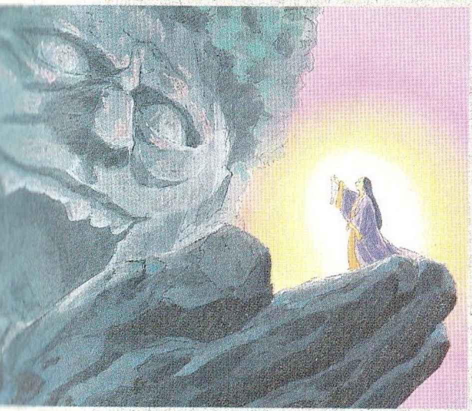
人喰い島



■出現理由　欲深い人間が真珠の首飾りを盗みに来るようになったため，何隻もの船をたて続けに沈没させていた。人を食っても溶かしてはいなかったが，ねずみ男に真珠の首飾りを盗まれたため，ついに暴れ出し，鬼太郎たちに襲いかかった。

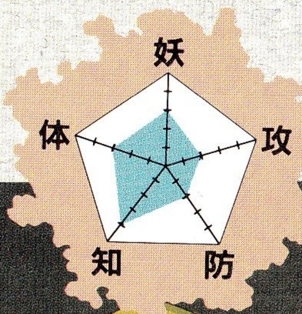
■特徴　島の格好を装い，海のなかに立って，通りかかった船の人間を襲って食べる，伝説の妖怪。だが，1000年前に，ある娘がそれをやめさせようと，自ら進んでイケニエとなってからは，人を食うのをやめていた。真珠の首飾りは，その娘の形見。胃液は，妖怪にはなんともないが，人間の体を溶かしてしまう。また，なぜだかウンコもする。





▲娘の，優しく美しい心にうたれた人食い島は，ガラにもなく恋をする。そして，死ぬまで一緒に暮らしてくれた娘との約束を，守り続けていたのだ。

白粉婆

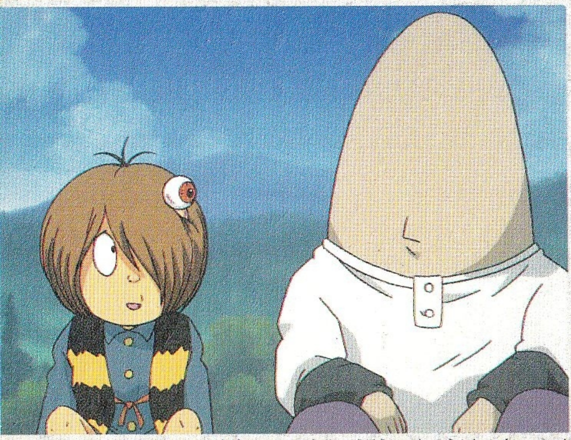


■出現理由　お肌の曲がり角を迎え(?)白粉のノリが悪くなってきたため，つけると顔がなくなってしまう白粉を，ねずみ男を利用して人間に売りつけていた。

■特徴　白粉を使った妖術で，人の顔を取ってしまう。その顔を煮込んで作る若返りの薬を飲んで，若返ろうとした。年のワリに動きは素早く，回転させた編み笠で髪の毛バリを受けとめたり，杖で撃ちかかってきたりする。また，鬼太郎を片手で投げ飛ばしたりもした。みにくい姿を見られないように,めったに人前には出てこない。

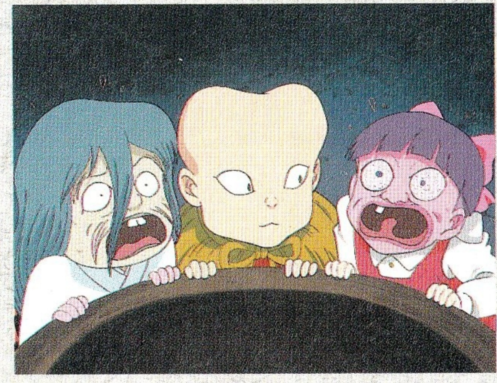


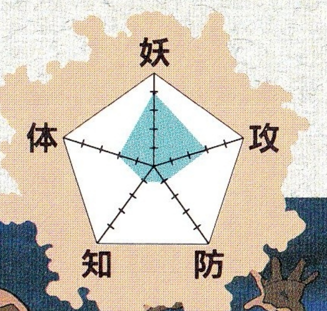
のっぺらぼう



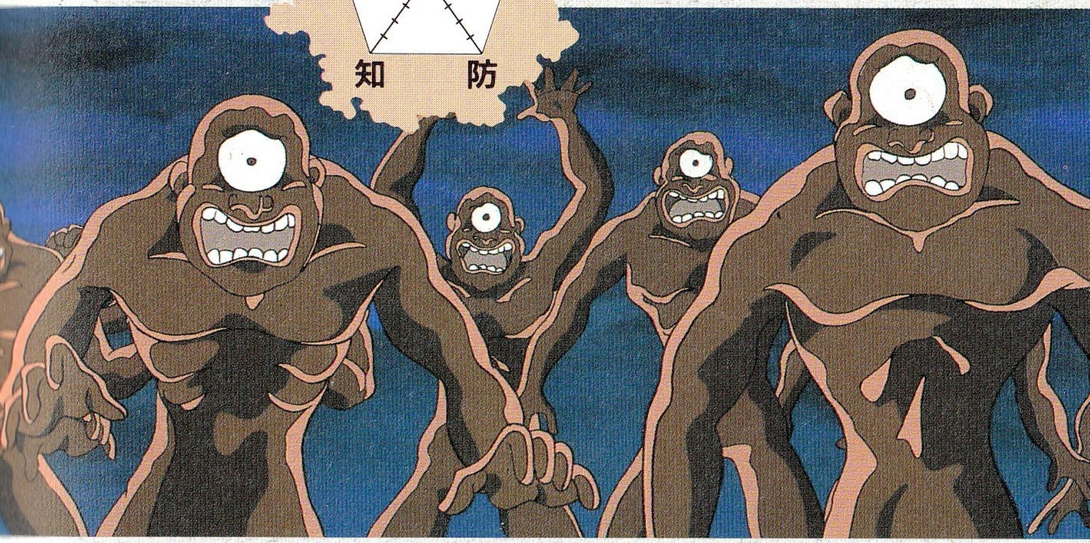
▲いまは郊外で，有機農法の無農薬野菜を作っている。白粉婆の荒っぽいやり方を許せず，鬼太郎に協力して白粉婆の顔を食った。

▼白粉をつけて顔がなくなっていた砂かけ婆たちも鬼太郎に協力。白粉婆が壷に集めていた顔を取り戻すが，これじゃまるで福笑い？　でも，砂かけ婆とねこ娘はまだしも，子泣き爺，お前が白粉つけてドーする!?





泥田坊



■出現理由　田園地帯に都市化の波が押し寄せ，住む田んぼがなくなることに怒り，暴れ出す。

■特徴　本来は田んぼを守る，ドロンコのイイ妖怪。その力の源は水で，雨が降ると「田を返せ～」の叫びとともに，集団で田んぼから現れる。大勢で襲いかかると，ダンプや電柱を簡単に引っくり返せる。また，水をかけられると強くなるため，放水車からの激流でいったんは溶かされても，巨大な姿で復活した。弱点は熱で，大きなたき火の熱でカラカラに乾かされたため，水分がなくなって力が弱り，体の表面がひび割れていった。



巨大泥田坊

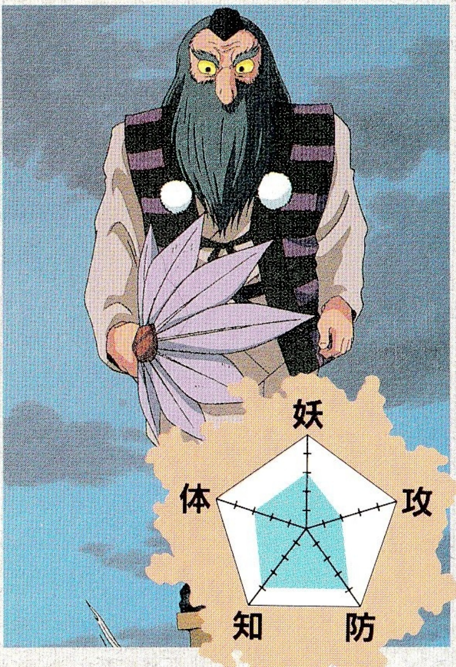
◀巨大な姿で復活してからは，放水を寄せつけない。武器は口から吐き出す泥。力はぬりかべと互角。

ベビー泥田坊



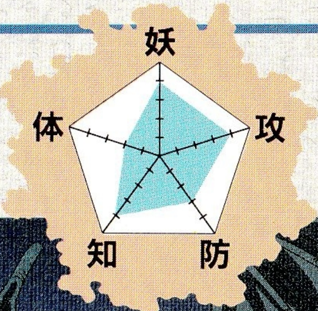
▶直也の家の田んぼから現れ，仲良しになる。まだ子供のためか，人間に対して怒ってはいない。

雨ふり天狗



■出現理由 風吹き峠に道路が開通したため，車のまき散らす排ガスで，食べ物だったカスミ草が枯れてしまう。そのため，車が峠に来なくなるようにドライバーをさらい，風穴に閉じ込めていた。

■特徴 風吹き峠に棲みついている天狗で，ウチワで風を起こすことで雨風を呼ぶ。カスミ草が霊力の源。雨が降ると岩になるのは，大事なウチワがぬれないようにするため。ウチワで8の字を描いて巻き起こすものすごい突風は，車を巻き上げ，髪の毛バリなど簡単に吹き飛ばす。



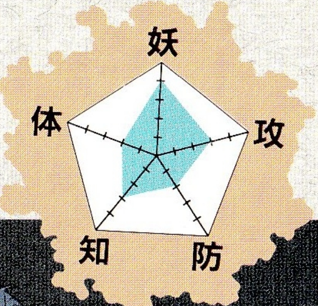
陰摩羅鬼



■出現理由 古寺を荒れたままにして，魂の供養をおこたった人間に怒ってめざめた。そして，住職をさがそうとする寺の娘・小百合の魂にのりうつり，人としてこの世にとどまって，人間の精気を吸っていた。

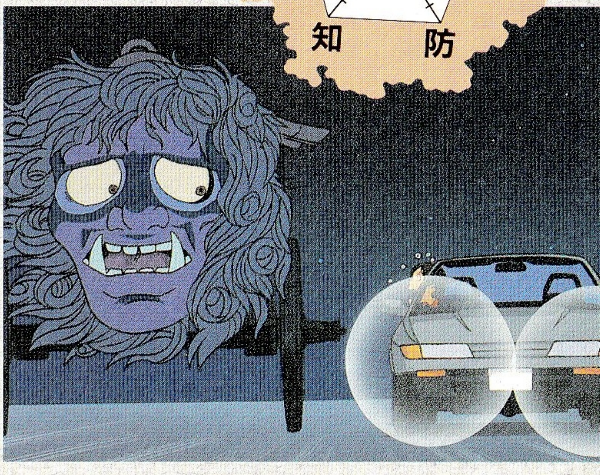
■特徴 死者の魂をよみがえらせ，生きた人間の精気を求めてさまよい歩くと伝えられていた。108の質問に答え，その点を線で結んでいく，妖怪の正体暴きの秘術で，本性を現す。魂をあやつることもでき，霊魂を鎧武者などの姿に変えて襲った。

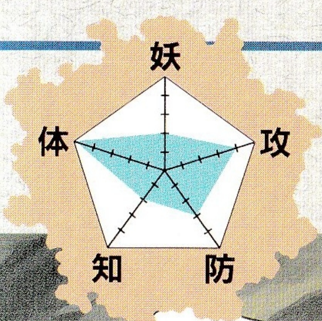
朧車



■出現理由　昔は都として栄えた街を見下ろす丘の上にある，古い博物館の取り壊しと，丘の開発工事を止めるため，工事の車を狙って暴れた。

■特徴　いまから何百年も前に，その丘の上に住んでいた人間を主人に持つ，牛車の木片の霊。発掘された木片から再現され，博物館に展示された牛車が妖怪になったもの。博物館の閉館に伴い，牛車も処分されることになり，自分の居場所を守るため，猛烈なスピードで走り回った。





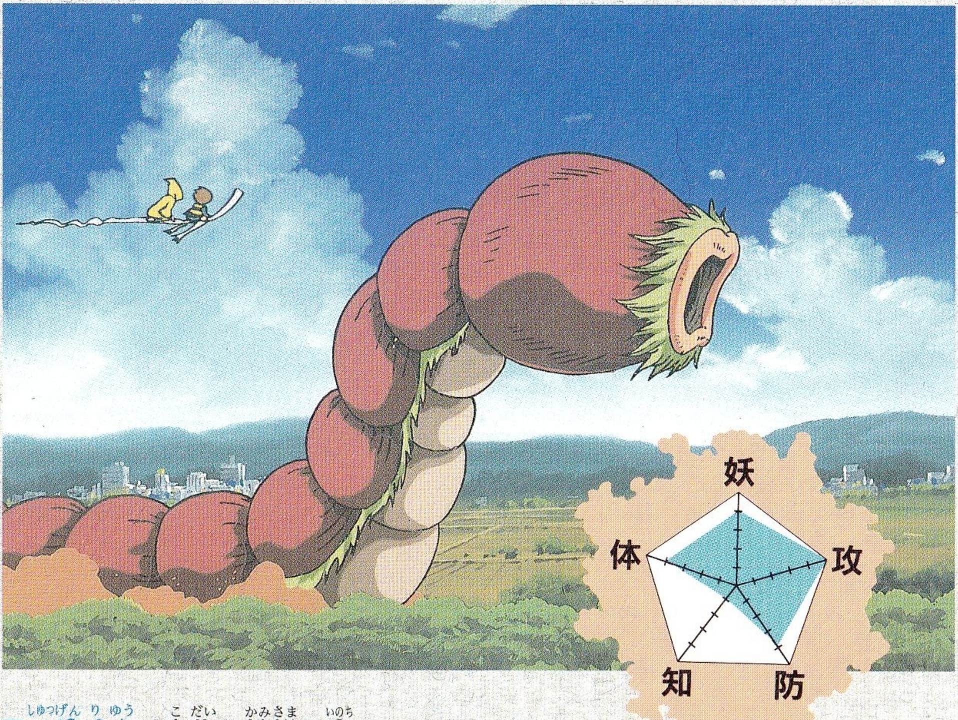
天邪鬼



■出現理由　石の風車の重しとして魔除けを乗せて封じ込められていたが，例によってねずみ男のせいで，500年ぶりに地上へ。

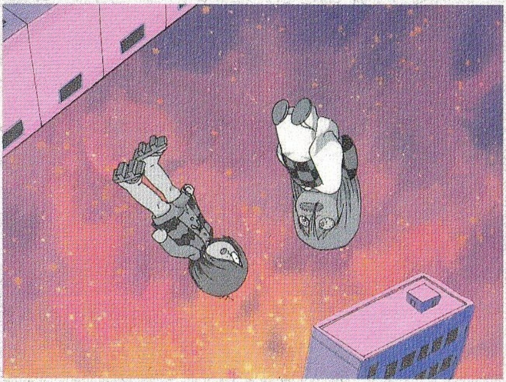
■特徴　幸せな連中を見るとムカムカくる性格。500年も何も食っていないため，めちゃくちゃハラがへっており，洞窟に閉じ込めた鬼太郎たちを，桜の木を燃やした煙で燻し，大好物の燻製にしようとした。ぬりかべと互角の怪力で，丸めて飛ばす鼻クソは弾丸並みの威力。

野槌



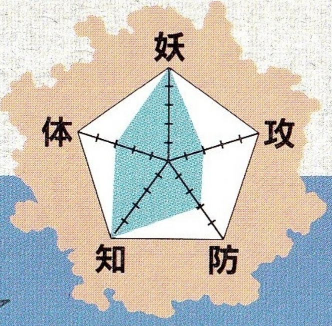
■出現理由　古代の神様が命がけで野槌塚に封印していたが，借金取りに追われるねずみ男が底無しの穴に飛び込んだのを助けようと，淳が封印のしめ縄を外してしまって復活。

■特徴　ねずみ男に「メメズのバケモン」といわれたとおりの姿。ものを吸い込むという本能だけで生きており，無限にものを吸い込む。そのため，野槌が通った跡には，大きな溝ができてしまう。放っておいたら，この世をすべて吸い込むまでとまらない。腸は四次元に通じていて，吸い込んだものは別の世界に消える。



▲吸い込まれた鬼太郎は，霊毛チャンチャンコを振り回す妖力竜巻という技で強力な妖力を起こした。そして，腸のねじれをなおして野槌の体内から出ることに成功する。

猫又



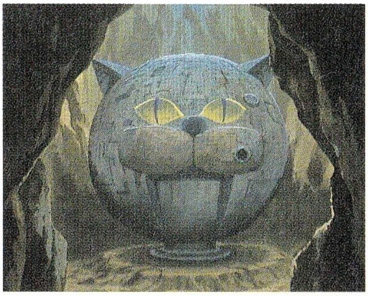


■出現理由　ローンを残して行方不明になった秀雄をさがして，猫町へ来た鬼太郎たちの前に現れた。
■特徴　神通力を持った化け猫で，ふたつにわかれたシッポを持つ。猫町をしきっており，逆猫町切符を発行してもいる。正体がバレたねずみ男を襲うとき，狂暴な姿になった。



◀ふだんの猫又。ねこ娘とは旧知の仲だった。

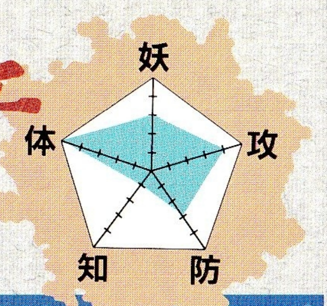
■猫町切符発行所



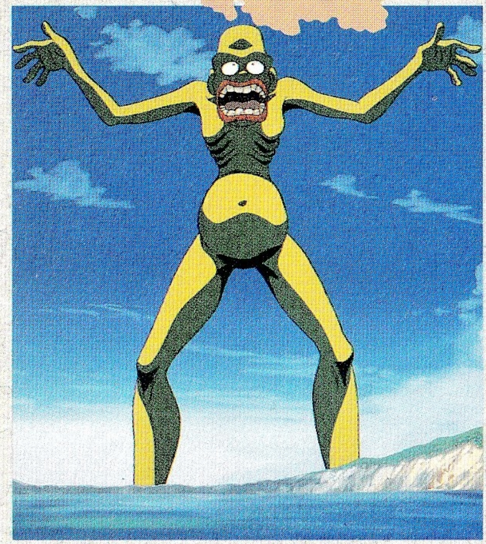


▲▶このデブ猫が出している猫町切符があれば，地下鉄から乗り継いで猫町線に乗れる。

ダイダラボッチ



■出現理由　大鱈神社から巨大な鍵を盗んだねずみ男が，封印地図に書いてある封印をといたため，バラバラに封印されていた身体が集まって完成した。
■特徴　争いをしずめる伝説の巨人。争いごとをしてる者を食って，その争いをしずめる。また，手近な島などもすごい勢いで食べてしまい，その鼻息は，まるで暴風のよう。大昔，争いの絶えない日本全土を食いつぶそうとして，大暴れしたこともある。ダイダラボッチをしずめるには，脳味噌の動きを止めるために杭を打ち込まなければならないが，脳味噌にはものすごい弾力があり，並の杭では効き目がない。

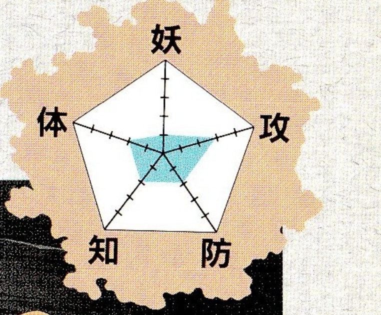


妖花

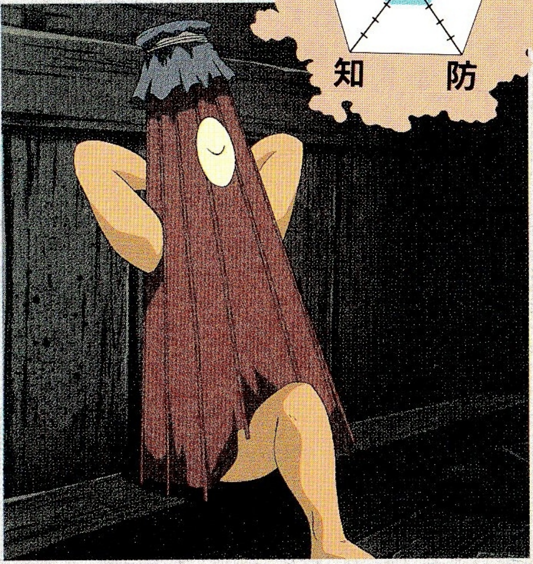


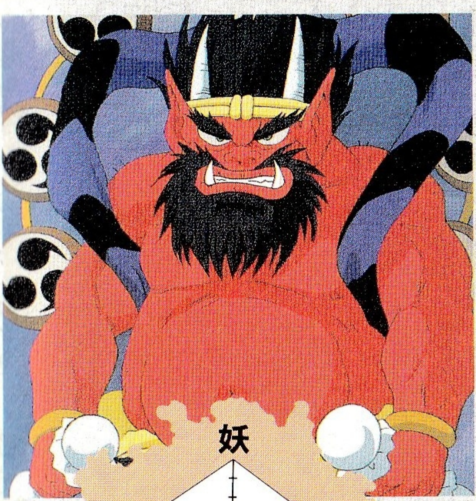
■出現理由　51年前，8月の暑い日の激戦で日本兵が全滅した遠い南方の島で，花子のおじいさんは戦死した。その遺体の養分を吸った大木が咲かせた花。
■特徴　毎年，夏の暑い盛りになると，花子の部屋いっぱいに咲き乱れていた。それは妖花が，花子と花子のおばあさんを守るために，遠い南方の島に眠るおじいさんの想いが咲かせた花だった。その島は，妖花で真っ赤に染め上げられていた。

傘化け

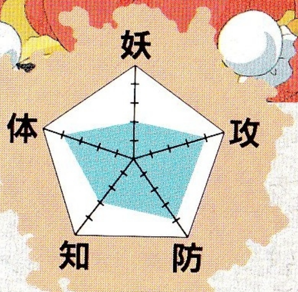


■出現理由　ねずみ男がバケたねずみ仙人に，人間にバケると幸せになれると教えられ，鬼太郎を襲って霊毛チャンチャンコを奪った。
■特徴　人‥‥ではなく，お化けのイイ純粋な妖怪で，あまり頭はよくない。さびれた炭坑跡で，120年も人間と話さず暮らしていた。傘を高速で回転させて円盤のように空を飛び，その回転で，相手に催眠術をかけたりもする。一つ目からは，熱線を発射。鬼太郎のチャンチャンコで，人間にバケた。



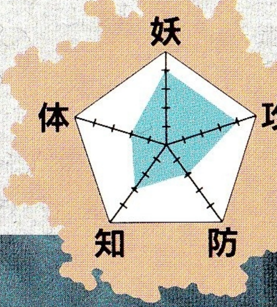


カミナリ

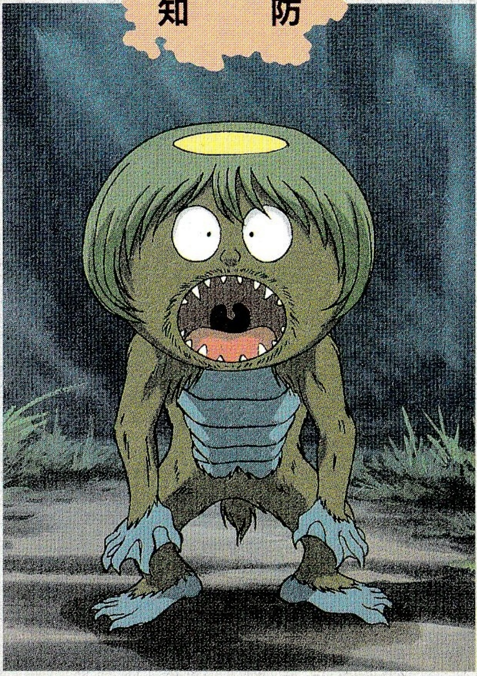


■出現理由　すみかである積乱雲のなかに，雷をエネルギーに変える実験で，人間がミサイルを撃ち込んだことに怒り，各地の送電線などを破壊した。
■特徴　電気を出す妖怪で，積乱雲のなかに浮かぶ巨大な岩にひそんでいる。この岩は電気の力で浮いており，引力がある。背中の太鼓は蓄電池で，このなかにためた電気を，両手に持つダンベル形のものから放って相手を攻撃。リモコンゲタを弾く威力だった。また，觔斗雲のような雲を呼んで，空を飛ぶ。

さら小僧



■出現理由　ねずみ男に自作曲『ぺったらぺたらこ』の譜面を盗まれ，それを歌った憂歌団をさらった。
■特徴　他人に自分の歌を歌われるのを極端に嫌っており，憂歌団を，死ぬまで自分の家のなかに閉じ込めておこうとした。怒ると目がつりあがり，赤く光る。頭の皿を投げつける水皿攻撃は，大木に突き立つ威力があり，水皿は光を反射するため，目くらまし効果もある。また，水皿に歌詞を浮かび上がらせ，紅白夏の歌合戦に出場中の憂歌団に，『ぺったらぺたらこ』の禁断の４番を歌わせた。伝説では禁断の４番を歌うと，この世の終わりがくるといわれていたが，それは時間を巻き戻す呪文だったため。ほかの武器は，浴びると自分も溶けてしまう猛毒オシッコ。





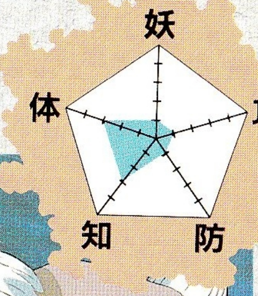
▲『ぺったらぺたらこ』は，誰もがうっとりと聴き入るほどのブルース。ただ，さら小僧が禁断の４番を歌い始めると，聴き入っていた妖怪たちも我に返り，一斉に逃げ出してしまう。

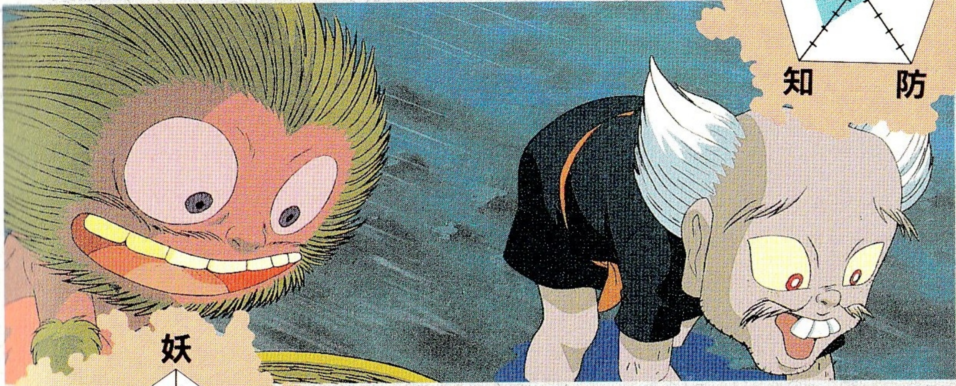
■憂歌団

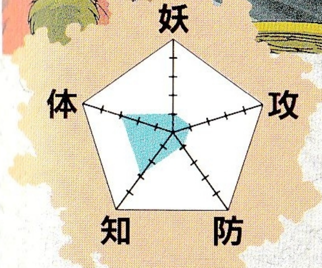


▲場末のライブハウス「Ge³」なんかに出演していた，売れないバンド。左から，島田，花岡，木村，内田の４人。

あずきはかり



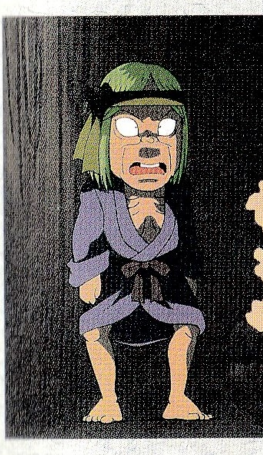




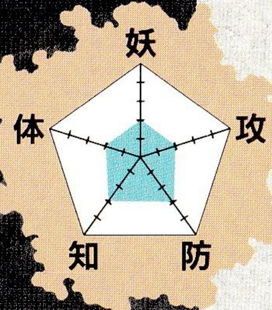
あずきとぎ

■出現理由　ダムができて人間たちがいなくなり，あずきが量れなくなったため，あずきとぎのもとへ来た。
■特徴　あずきとぎの仲間。あずきを，マスできっかりと量る。

■出現理由　あずきをとぐ場所がなくなり，ねずみ男の斡旋で，和菓子屋にあずき職人として雇われた。
■特徴　あずきをとぎながら歌う歌を，人に聴いてもらいたがる。



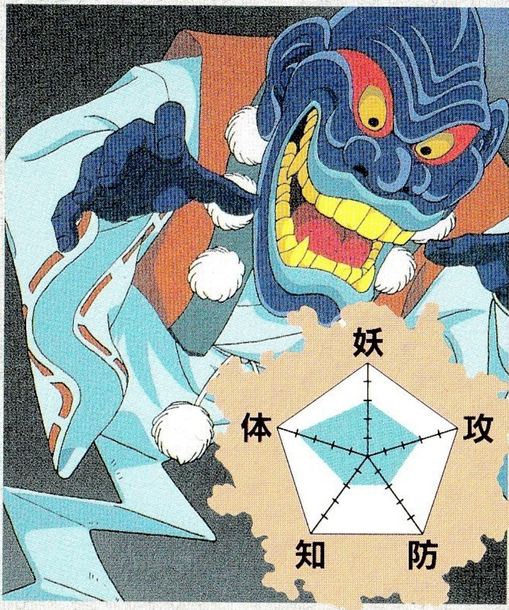
あずきばばあ



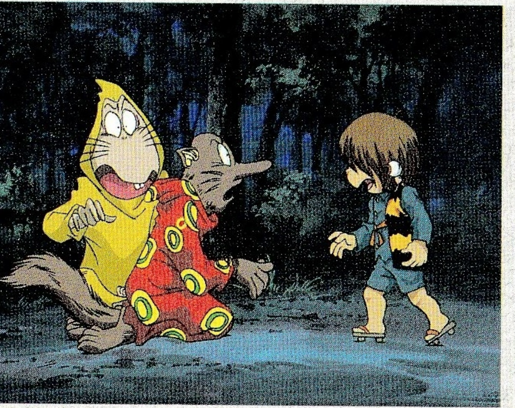
■出現理由　自分たちの居場所を奪う人間たちに，妖怪としての怖さを見せつけるため，あずきとぎたちをけしかけた。
■特徴　本来は悪さをする妖怪ではない。まいたあずきから芽をのばし，相手をからめとる。

おりたたみ入道

■出現理由　山のなかで倒れていたのをむじなに助けられ，葛籠に入れられた。妖怪を食べさせてもらうため，むじなのいうことを聞く。
■特徴　普段は，むじなの背負った葛籠のなかに折りたたまれており，葛籠が開くと一気に飛び出す。どうも妖怪が好物のようで，妖怪アパートに住む呼子と油すましを食った。また，リモコンゲタも呑み込んだほど食欲旺盛。紙のような胴体部分をねじられると力を失い，葛籠のなかへ折りたたまれるように姿を消し，食べたものは葛籠から戻ってくる。

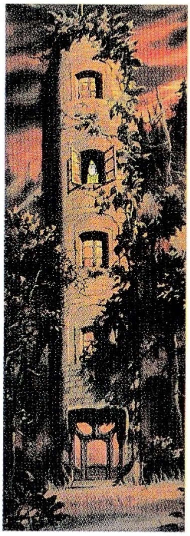


むじな



▲ねずみ男とウリ二つにバケて，生き別れになった弟を名乗った。目的は，妖怪たちに近づくため。お祭りで妖怪をダシに，子供たちのこづかいをダマし取っていた。

■妖怪アパート

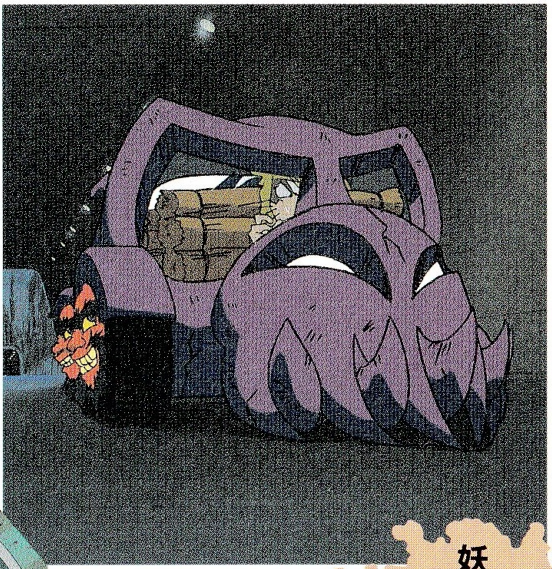


◀▼居場所のなくなった妖怪のため，砂かけ婆が建てた。いまは，呼子と油すましが住んでいる。


●呼子

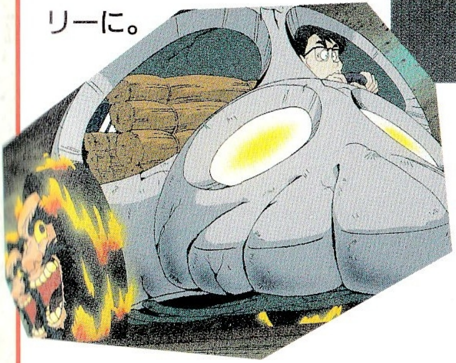

●油すまし

■妖怪自動車

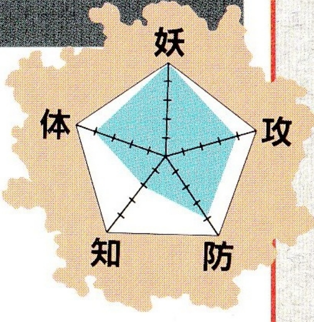


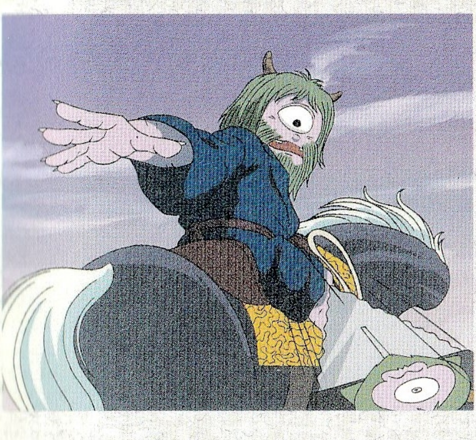
■出現理由　タイヤの輪入道にそそのかされたねずみ男がキーを抜き，邪念の封印がとける。ハンドルを乗っ取った輪入道は，妖力パワーを秘めた宝珠を手に入れて大輪入道になるため，閻魔大王庁をめざした。

■特徴　ヘッドライトから鬼火を打ち出す。輪入道の吐息をあびた者は，アクセサリーに。



◀夜行さんの大発明にして最高傑作。あの世とこの世を行き来できる唯一の車。「ガイコツのボディだからガイ車」とは夜行さんの弁。

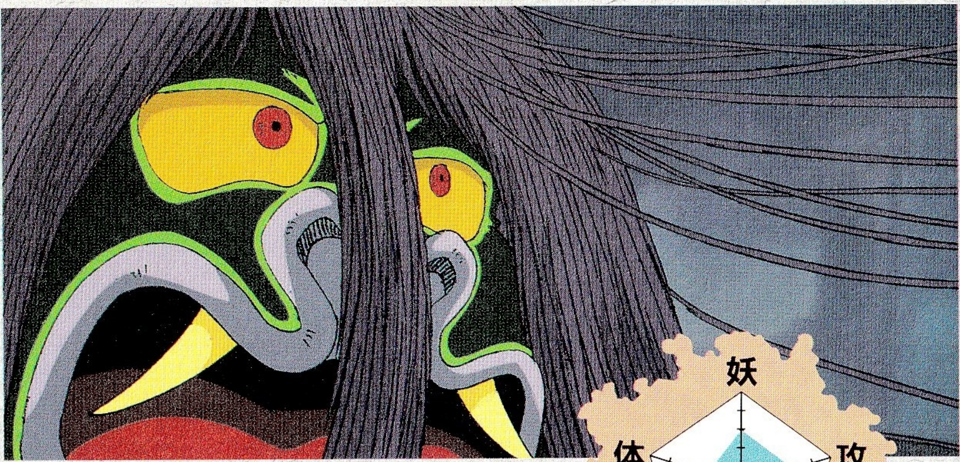


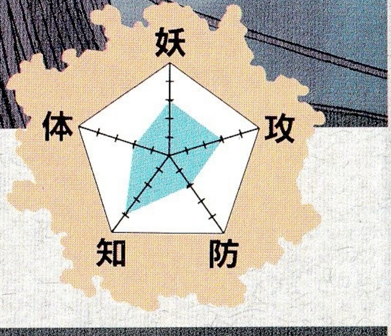


夜行さん

■特徴　妖怪界の発明王で，そのすみかは妖怪研究所。妖怪自動車のほかにも，ドクロカー，人魂を閉じ込めた風船，鬼火の販売機などを発明。首なし馬に乗って現れ，節分の豆をバラまいて妖怪自動車をひるませた。

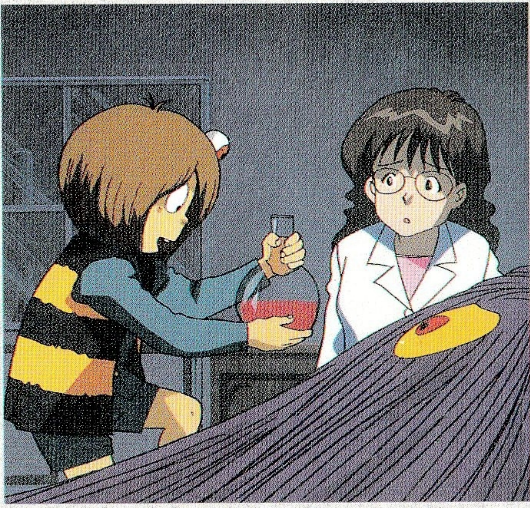
おどろおどろ





■出現理由　人間にもどるために必要な，汚れのない子供たちの血を集めようと，模型飛行機をあやつって，子供たちを自分の研究室のある洋館におびきよせた。

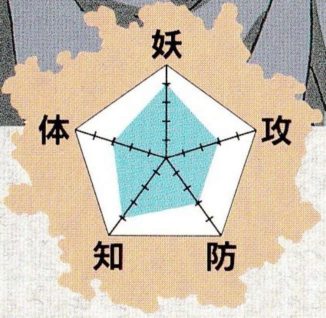
■特徴　スルスルとのびる髪の毛を相手の首筋に刺し，ストローのようなその髪で，血を吸い取る。本当の姿は，毛生え薬を発明したハゲ頭の科学者。薬の効果を知るため薬を自分で試した科学者が，月の光を浴びたために，薬が引き起こした異常な副作用で，この姿になった。満月の夜には，血を吸わなければ生きてはいけない。これは，月の引力の影響らしい。連れ去った子供たちを巨大石臼メカで押しつぶし，新鮮な血を手に入れようとした。



▲鬼太郎に血を吸い尽くされ，体がちぢんでしまったおどろおどろは，鬼太郎が全妖力を使って清めた血の滴を混ぜた，人間に戻る薬を飲んで，もとのハゲ頭に。

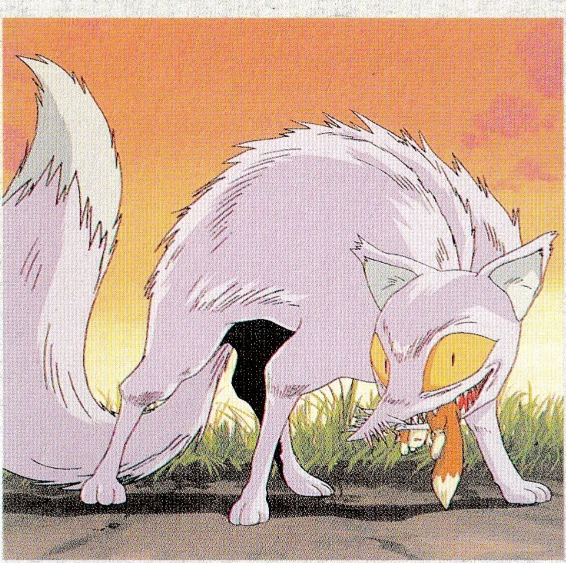
白山坊





■出現理由　娘の茜を抱いて自殺を決意した正吉の前に現れ，ツキを授けた。そのかわり，茜が16歳になったら嫁にもらうことを約束。約束の日が来たために姿を現した。

■特徴　神通力を使える古狐。白山坊が現れたことによって，正吉の屋敷の辺りには，狐の妖気が漂っていた。茜を花嫁にもらうことを約束したのは，食べるため。自分の影を地面に這わせて狙った相手をさらうことができるが，その神通力を，茜がつけていた母の形見の髪飾りにさえぎられたため，コン太に命じて髪飾りをとってこさせた。狐封じの壷をかざし，「白山坊，退散！」の声をかけると，封じることができる。



▶マントを脱ぎ捨てた白山坊が現した，その正体。茜をかばって立ちふさがったコン太に食いかかった。

コン太



▲自称，白山坊の弟子だが枯葉の催眠術で，自分が眠ってしまう腕前。茜に優しくされ，助けようとする。



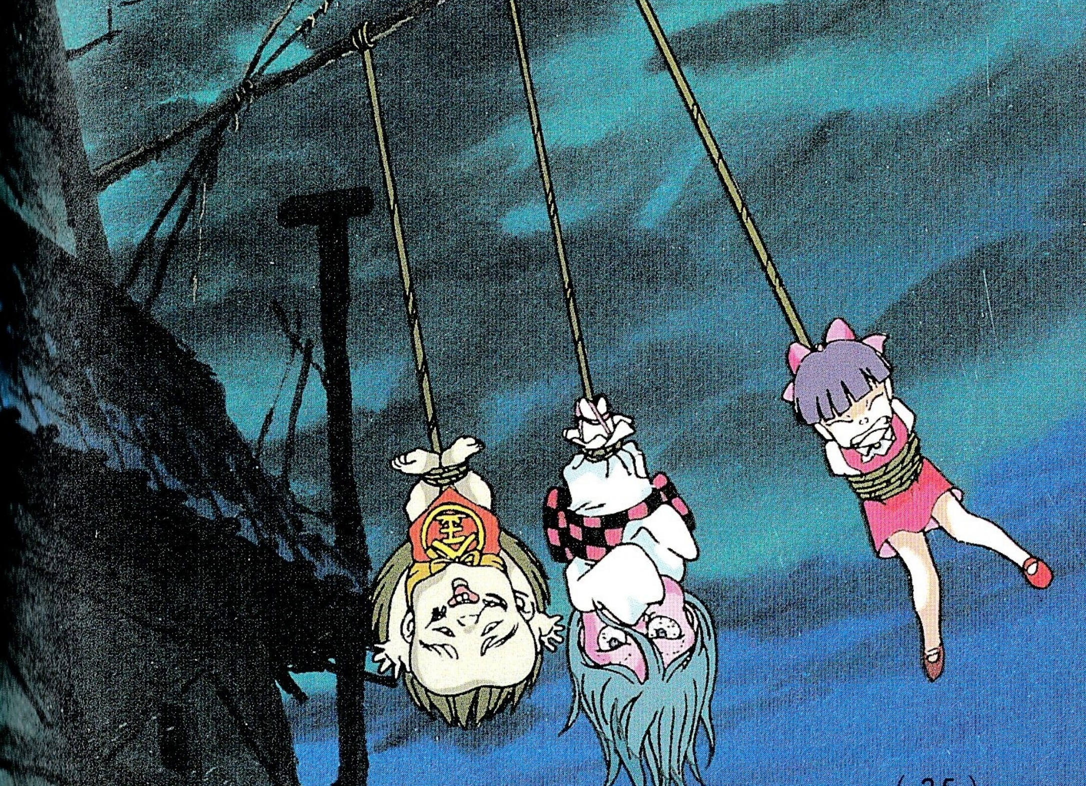
東映太秦映画村でしか見られない鬼太郎，もうひとつの戦い!!

東映太秦映画村「ドームシアター」で大人気上映中！　直径14mのドームスクリーンに映写される70㎜フィルムの一大バトルは，まさに必見の迫力だぜ！

ゲゲゲの鬼太郎

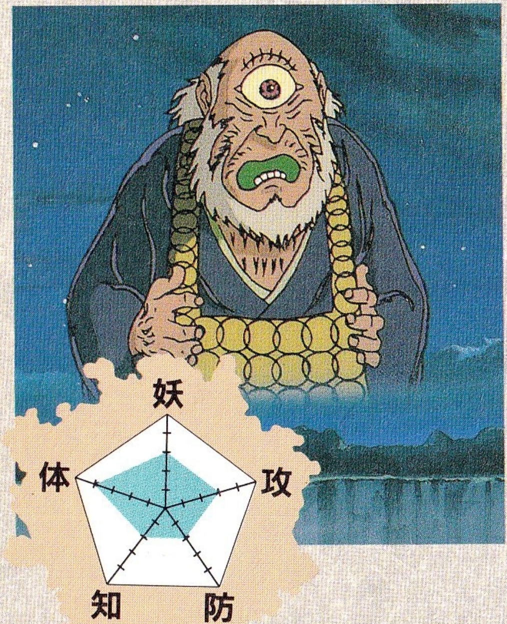
風雲！妖怪城

ねずみ男が封印をとき，妖怪城が復活してしまった！　鬼太郎は捕らえられたねこ娘たちを助けに向かうが，そこには，恐るべき４大妖怪が待ち受けていた！　鬼太郎と４大妖怪の一大決戦が，妖怪城を舞台に開始される!!



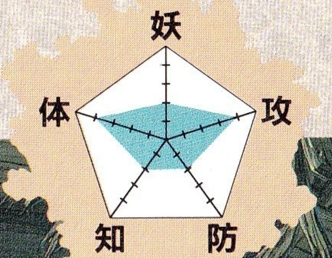
風雲！妖怪城 妖怪図鑑

見上げ入道



■出現理由　ねずみ男によって妖怪岩のしめなわの封印がとかれたため，妖怪城とともに復活した。

■特徴　妖怪城にひそむ４大妖怪の黒幕。鬼太郎たちの前に巨大な姿を現し，吸う息で起こした竜巻によって，その腹の中に吸い込んで葬ろうとする。どうやら，以前に鬼太郎たちの手で封印されたことを，かなり恨みに思っていたようだ。

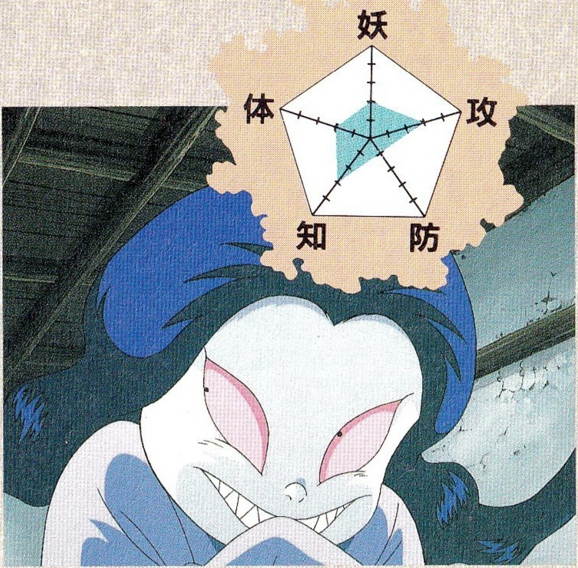


たんたん坊

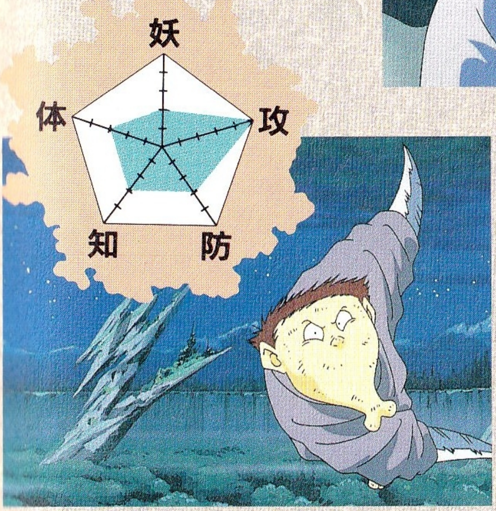
■特徴　大きな目をサーチライトのように光らせて相手を照らし，口から吐き出すたんを浴びせかける。たんは瞬時に結晶と化すため，浴びた者は体の自由が奪われてしまう。だが，これは鬼太郎の身軽な動きにかわされている。



二口女



■特徴　髪の毛の先が2匹の蛇になっており，地面を這うように進むこの蛇髪で，相手を捕らえる。そして，ふだんは髪の毛で隠している後頭部の巨大な口で，捕らえた相手にかぶりつく。つまり，後頭部の口が本当の口なのだ。

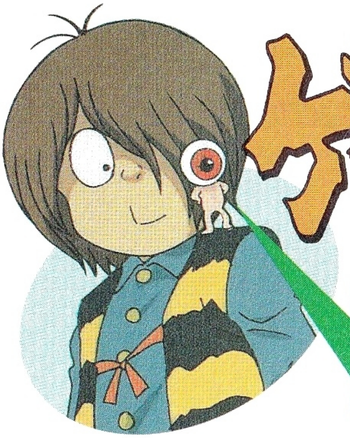


かまいたち

■特徴　両腕の先が鎌のような鋭い刃物になっており，これで相手に斬りかかる。また，ものすごい速さで相手に襲いかかるため，その体の周囲には，空気との摩擦でつねにつむじ風が渦巻いている。



100ページに、東映太秦映画村についての、詳しいお知らせがあるぞ!



ゲゲゲ グッズカタログ 1

鬼太郎　お前のグッズがこんなにあったとは さすがのわしも驚いたぞィ　読者のみんなと なにを買うか　じっくり検討せんとな

バンダイ

PSソフト ゲゲゲの鬼太郎



主人公のきみが，鬼太郎たちと協力して不可思議な謎解きに挑む，アドベンチャーゲーム。シナリオは，オリジナル新妖怪が登場する「肉人形編」他の全３本。（6800円）



▶３Dフルポリゴンの鬼太郎たちは、もちろんTVの声で喋るぞ。



▲主人公のきみは，普通の人間。こんなブキミな妖怪に出会うと，とにかく逃げるしかない!?

おすすめポイント

▼３本のシナリオすべてが，マルチストーリー＆マルチエンディングなのじゃ。きみの行動や出会ったキャラクターによって，ゲーム内容がつねに移り変わるんじゃぞィ。





SSソフト ゲゲゲの鬼太郎 幻冬怪奇譚

きみが鬼太郎となって，謎解きに挑むテキストアドベンチャー。事件の調査の仕方によって，ストーリーがコミカルにもなれば，より怖くもなる。(6800円)



◀ある雪の日、届いた一通の手紙が事件の発端。陰影が強調された画面効果にも注目。



▶舞台は、「姥捨村」という名の寒村。事件の黒幕は、魍魎と火車という二匹の凶悪な妖怪なのだ。

おすすめポイント

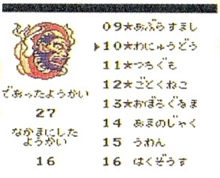
▼きみは様々な人と出会って，事件解決のヒントを手に入れなければならん。妖怪アンテナで妖気を探るのも，重要な行為のひとつじゃぞィ。



GBソフト ゲゲゲの鬼太郎 妖怪創造主現る！

仲間にした妖怪たちと協力して，事件の謎に迫るRPG。仲間集めが楽しいぞ。(4500円)

おすすめポイント



▶仲間の妖怪は妖怪図鑑に登録できるのじゃ。きみは完成できるかのォ。

▼仲間にした妖怪は，もちろんパーティーに加えられる。







夜は墓場で運動会

◀はちまきバージョンの彩色済み塩ビ人形6体がセット。徒競走，むかで競争，高跳び，幅跳びの4種目で，ワイワイ盛り上がろう。(2980円)



ゲゲゲこわいぼ～

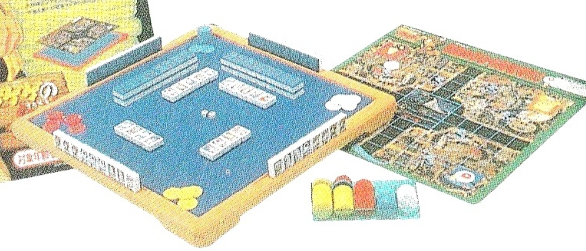
◀手に持って振るとブキミな音がする、不思議アイテム。長さは、約六十センチ。（六百八十円）



▼60センチを越える，ビッグなボウリング盤。目玉おやじで，ストライクを狙おう。(3980円)

ゲゲゲボウリング





ドンジャラパーフェクト20

◀▼おなじみドンジャラにも，鬼太郎が登場。全部で20種類のゲームが楽しめる，絶対オススメのお買い得商品だ。(6000円)

ソフトゲゲゲセット



▲約12センチの鬼太郎，ねずみ男，ねこ娘と，約6センチの目玉おやじのソフビ人形セット（1800円）。

ぬいぐるみ





▲▶おわんに入った目玉おやじ（千三百八十円）と、鬼太郎（三千六百円）の二種類があるよ。

ゲゲゲマンション





▲▶①②⑤には、マグネットギミックによる仕掛けあり。コンビニやスーパーで、五つ全部ゲットしよう。それぞれ未彩色塩ビ人形と、シール付き。（ラムネ菓子入り各三百円）

妖怪復活! 消しゴム工場



▲こちらはガシャポン用の景品なのだ。ねり消しゴムを型に入れて、きみの手で妖怪が作れてしまうスグレ物だ。ただ、十一月発売の商品なので、現在は入手困難かも?。（一回百円）

①鬼太郎
②目玉おやじ
③猫娘
④砂かけ婆
⑤子泣き爺
⑥ねずみ男
⑦鬼太郎＋一反木綿
⑧見上げ入道
⑨皿小僧
⑩泥田坊

バンプレスト

ここに集めたグッズは，どれも市販されておらず，ゲーセンでゲットしなければならないもの。もちろん，全部欲しいだろうけど，お金の使いすぎには注意しようね。

とるとるマスコット

光るマスコット

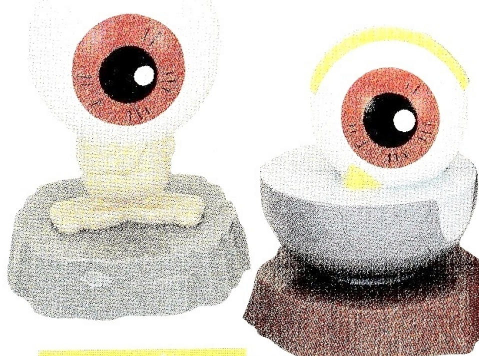
▼コンビニキャッチャー用景品。暗いところでゆらすと目が光る，なんとも味のあるキーホルダー付きマスコット。全5種。



とるとる愛テム

目玉おやじ電動レターオープナー

▼クレーンゲーム用景品。自動的に手紙の封を切ってくれる，超便利グッズ。番組を作ってる東映動画の受付にも置かれているという，由緒正しい(!?)逸品。全2種。



マグネックル

ゲゲゲの鬼太郎

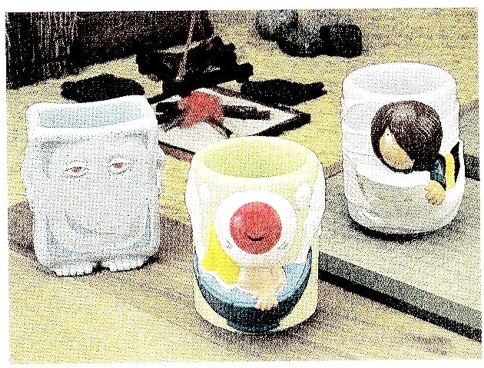
▼“目押しの鉄人”の別称で親しまれている(恨まれてる!?)ガチャ王用景品。デフォルメがグーな磁石入りマスコット。全5種。



とるとる愛テム

陶器の湯呑み

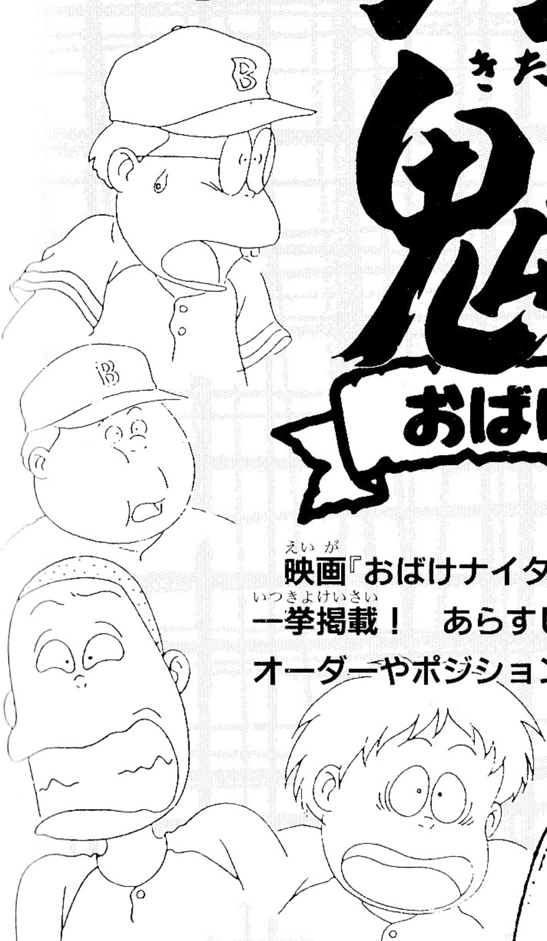
▼クレーンゲーム用景品。ボンボン編集長も声を上げて欲しがるぬりかべが，めちゃめちゃイイ味。5月発売予定。全3種。



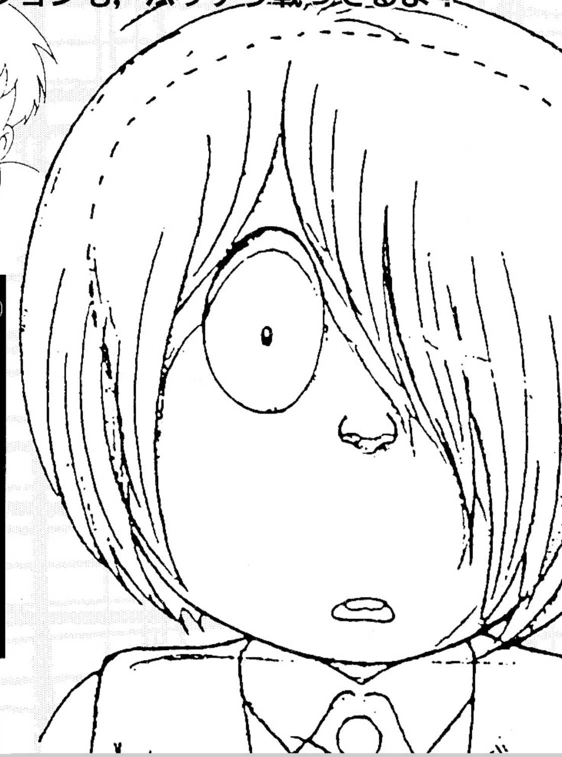
102ページにつづくぞ！

'97春 東映アニメフェア

ゲゲゲの鬼太郎 おばけナイター



映画『おばけナイター』用のキャラクター設定を一挙掲載！　あらすじはもちろん，妖怪チームのオーダーやポジションも，バッチリ載ってるよ！

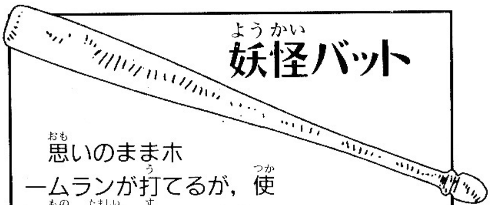


製作■高岩　淡／泊　懋	撮影■菅谷信行(ACCプロダクション)
企画■清水慎治	編集■片桐公一
原作■水木しげる	録音■今関種吉
テレビマガジン	美術監督■松宮正純
たのしい幼稚園	作画監督■窪　秀巳
おともだち	監督■佐藤順一
コミックボンボン	
連載（講談社）	東映・東映動画提携作品
脚本■島田　満	'97年3月8日公開
音楽■和田　薫	併映『地獄先生ぬ～べ～』
製作担当■目黒　宏	『花より男子』

ブータレーズ

妖怪バットのおかげで，全打席ホームランという前人未到の記録を達成。話題のミラクル少年野球チームになる。本当のチーム名は，バトラーズ。

妖怪バット



思いのままホームランが打てるが，使う者の魂を吸いつくす。

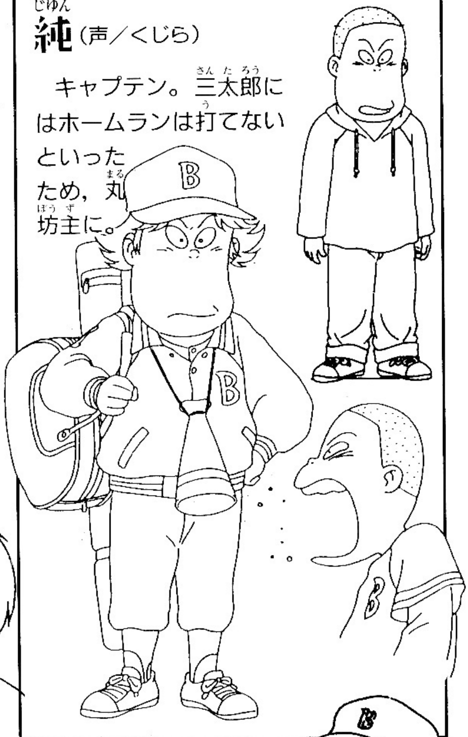


三太郎

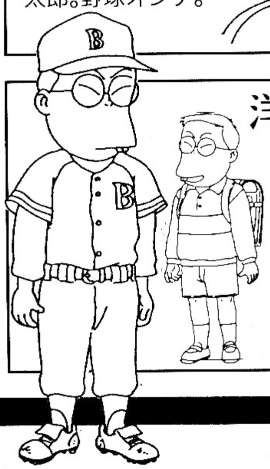
（声／日高のり子）

アダ名は三振三太郎。野球オンチ。

純（声／くじら）



キャプテン。三太郎にはホームランは打てないといったため，丸坊主に。



洋

（声／浦和めぐみ）



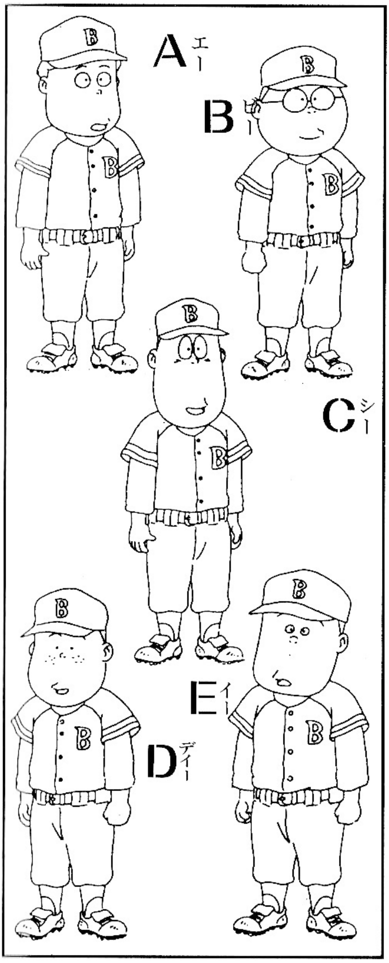
光太

（声／佐藤智恵）

ファイターズ

いつも大差でブータレーズに勝っていたのだけれど……。





ねずみ男

三太郎が手に入れた妖怪バットで，ひともうけを企み，勝手に監督になった。



あらすじ①

今日もまた25対0の大差で，ファイターズに負けるブータレーズ。チームをクビになった三太郎は，その帰り道でねずみ男に会い，4丁目4番地の角を4回曲がると行き着く墓地で，妖怪バットを手に入れる。チームの解散がかかった次の試合，ねずみ男と球場に来た三太郎は，妖怪バットでホームランを打ち，以来ブータレーズは，勝って勝って勝ちまくる。そんな彼らの前に現れ，妖怪バットを返すようにいう鬼太郎。純は，自分たちに勝てたら返すと宣言。その試合に負けたら，ブータレーズは妖怪に魂をとられることになる。

妖怪チーム

妖怪相手に妖怪バットはきかないため，ブータレーズに楽勝‥‥と思いきや，互角の勝負になった。ということは，妖怪チームの実力は，全然たいしたことなかったりして‥‥。



応援

魂が食えることを聞きつけて，妖怪チームの応援に，続々と集まって来た妖怪たち。



あらすじ②

試合は0対0のまま延長戦に入るが，ねこ娘の打球が半分に裂け，片方がホームランになる。1/2点が入って勝負はついた，と思いきや，ねずみ男の抗議で，ブータレーズに最後の攻撃のチャンスが与えられた。だが、ブータレーズは簡単に2死をとられてしまう。そして次のバッターは，なんと三太郎。肩をおとす純たちだったが，普通のバットを握り，決意の顔で打席に立つ三太郎の姿には，なにかが起こりそうな予感が‥‥。ツーストライクと追いつめた三太郎に対して，鬼太郎は，いよいよ運命の第3球を投げた‥‥!!

ゲゲゲ
エピソード
ガイド





“この世にあってこの世にあらず，年老いて死ぬこともない理想郷・蓬莱島かァ。”
“健吾くんのお父さんは，
ここに来てからというもの，
ずっと戻ってこないそうなんです。”
“ふ～む，健吾くんのことを考えるとのォ。
おや，な，なんじゃ!?”
“あ，父さん！　島が，島が消えてゆく!!”

第14話　蜃気楼海竜・みずち

●'96年4月7日放送●

脚本／武上純希　作画監督／直井正博　演出／吉沢孝男

◆松本健吾

（声／浦和めぐみ）

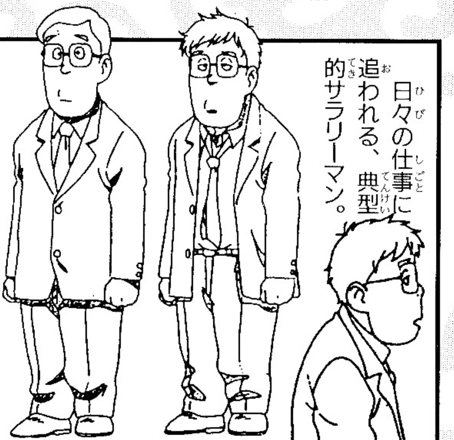
誕生日にキャッチボールをやることを、父親の敏男と約束していた。



◆松本敏男

（声／平野正人）

日々の仕事に追われる、典型的サラリーマン。





◆徐福

（声／北村弘一）

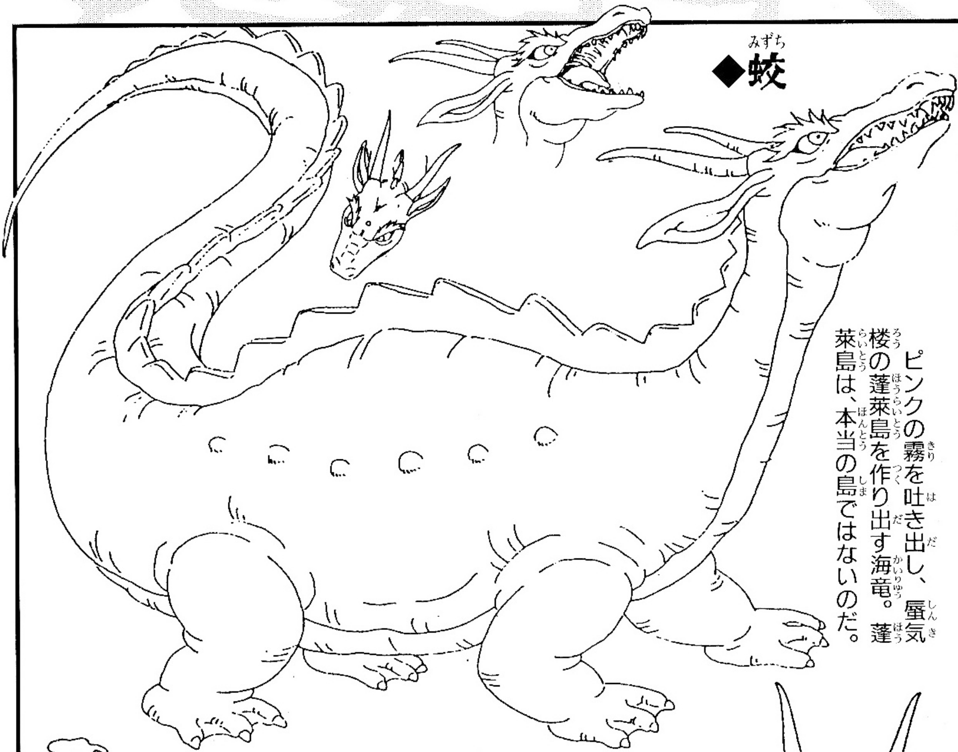
中国の方士。じつは，2000年前の人物。

◆蓬莱島の童子たち

蓬莱島で，年をとらずに暮らしている。



◆蛟



ピンクの霧を吐き出し、蜃気楼の蓬莱島を作り出す海竜。蓬莱島は、本当の島ではないのだ。





◆逆鱗

迷いの森にあった。これを額に戻すことで，蛟は封印され，ピンクの霧を吐き出すのだ。

あらすじ

祐子たちの友達・健吾の父親が蓬莱島に行って戻らない。鬼太郎は，かに坊主に頼んで健吾を連れて蓬莱島へ渡る。健吾は敏男と再会するが，敏男は健吾のことを忘れていた。鬼太郎は徐福から，蓬莱島に来た人間は永遠に生きられるが，そのため昔のことを忘れてしまうことを知らされる。おりしも，ねずみ男が蛟の封印をといたため蓬莱島は消えていく。暴れる蛟に，ねずみ男はしぶしぶ逆鱗を戻して封印。健吾とキャッチボールをしたことで，すべてを思い出した敏男は，永遠の命よりも大切なものに気づき，蓬莱島を去るのだった。

ゲゲゲ エピソードガイド



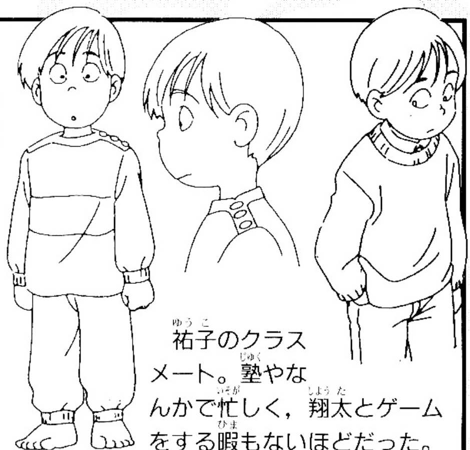
“父さん，祐子ちゃんの友達が，夢の世界に連れていかれてしまいました。”
“そりゃあ大変じゃ。早く助けないと，その子はまくら返しに食べられてしまう。”
“うわあッ！　目ッ，目に砂が!!”
“いかん，その砂を浴びると奴の悪夢に引き込まれてしまうんじゃ。鬼太郎，眠ってはいかん！”



第15話　悪夢！妖怪まくら返し

●4月14日放送●

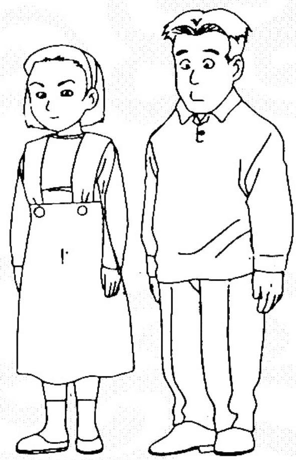
脚本／大橋志吉　作画監督／木下和栄　演出／明比正行



◆祥一

（声／永島由子）

祐子のクラスメート。塾やなんかで忙しく，翔太とゲームをする暇もないほどだった。



◆祥一の両親



◆つるべ火

夢の世界に行くため、まず迷いの山をめざして夜道を歩く鬼太郎を、道案内した。鬼太郎の提灯がわりってとこ。

◆まくら返し

（声／肝付兼太）



虹の橋を渡らなければ行けない，夢の世界に住んでいる。祥一の魂を食べるため，楽しい夢を仕掛けて夢の世界に誘い，繭に閉じ込めた。

あらすじ

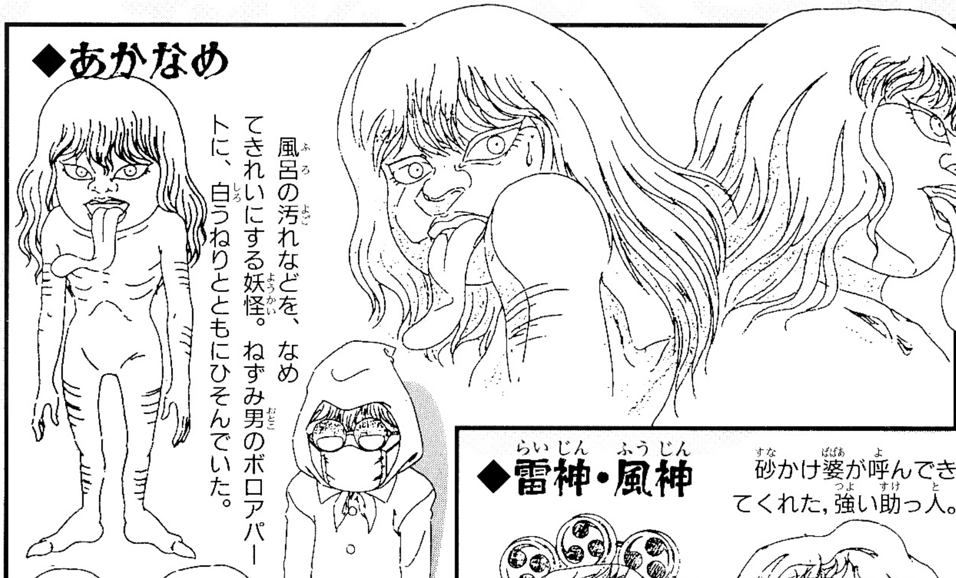
祥一は夢のなかで何者かに誘われ，寝ている間にいなくなってしまう。目玉おやじは，それをまくら返しの仕業と見抜き，鬼太郎は夢の架け橋を通って夢の世界へ。祥一を助け，さらに岩塩で溶かしたまくら返しの左手の液体をツタ壺に入れ，この世に戻ってくる鬼太郎たち。その夜，古寺に祥一をかくまい，鬼太郎たちはまくら返しを待ち受ける。砂かけ婆や子泣き爺を眠り砂で眠らせたまくら返しだったが，鬼太郎に大量の塩をかけられて消滅。祥一は両親の待つ家へ戻り，まくら返しの魂は虹になって夢の世界へ戻っていった。

ゲゲゲ エピソードガイド

"白うねりで作った汚れをあかなめで落とす・・・・。ねずみ男の奴，またこりずにインチキ商売を始めましたよ。"
"まったく，妖怪の風上にもおけん奴じゃ。"
"大変です，父さん！　その白うねりが巨大化して，街で暴れ回っています。"
"くうッ，いわんこっちゃない！
急ぐんじゃ鬼太郎!!"

第16話 ●4月21日放送● あかなめと白うねり

脚本／武上純希　作画監督／飯島弘也　演出／宇田鋼之介



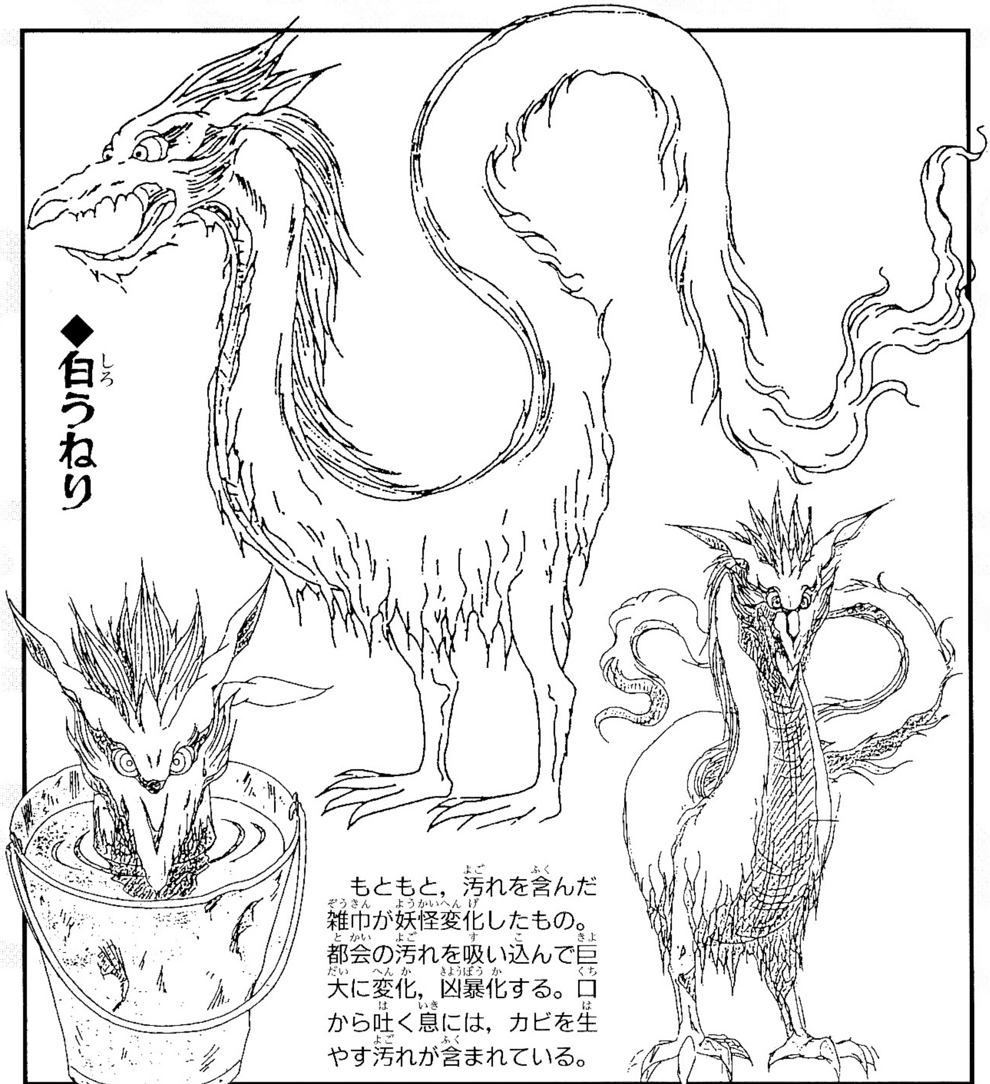
◆あかなめ

風呂の汚れなどを、なめてきれいにする妖怪。ねずみ男のボロアパートに、白うねりとともにひそんでいた。

スイーパースタイル

◆雷神・風神

砂かけ婆が呼んできてくれた，強い助っ人。



◆白うねり

もともと，汚れを含んだ雑巾が妖怪変化したもの。都会の汚れを吸い込んで巨大に変化，凶暴化する。口から吐く息には，カビを生やす汚れが含まれている。

あらすじ

インチキ商売を鬼太郎に知られ，ねずみ男，白うねり，あかなめはしぶしぶ解散。そして，都会のドブ川に流された白うねりは，その汚れを吸い込んで巨大に変化してしまう。街をカビだらけにする白うねりを止めようとする鬼太郎は，逆にシッポで弾き飛ばされ，カビの下敷きになって気絶。現れた巨大なあかなめは白うねりをなめだすが，シッポで反撃される。そこに，雷神と風神が飛来。汚れを洗い流され，苦しむ白うねりを見かねたねずみ男は，″友達″を助けるため必死に叫ぶ。鬼太郎は雷神と風神を止め，白うねりは救われた。

ゲゲゲ エピソードガイド



"人魚の子供，人魚の子供はいらんかね‥‥。"
"鬼太郎，その人魚の子供を売る気なのか!?"
"しょせん，この世はお金ですよ。"
"ど，どうしたんじゃ，鬼太郎!?"
"父さん，離れて！
そいつは僕のニセ者です！"



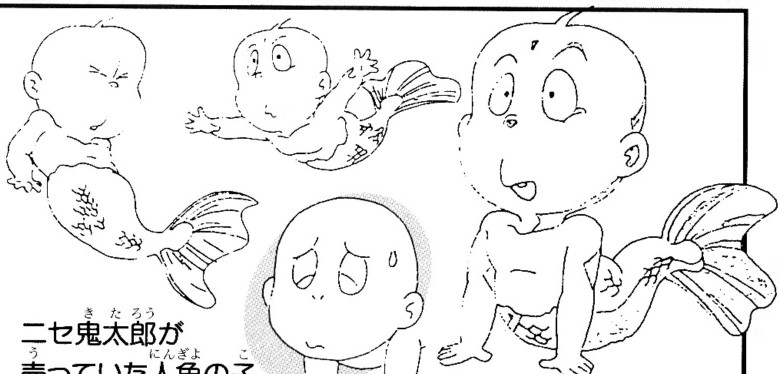
第17話 海奇！ 妖怪さざえ鬼

●4月28日放送●

脚本／大橋志吉　作画監督／海老沢幸男　演出／西尾大介

◆人魚の子（声／豊嶋真千子）

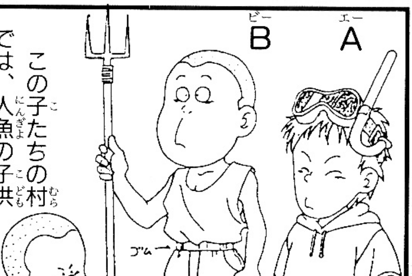
さざえ鬼に捕まっていたが、なんとか逃げてきて鬼太郎と出会う。



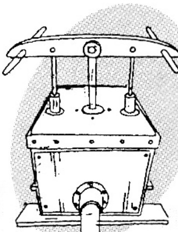
ニセ鬼太郎が売っていた人魚の子

◆磯の子供

この子たちの村では、人魚の子供は海の神様の使いだといわれている。







◆ねずみ男の潜水服

子供Cのジイちゃんの大事な物。かなり旧式。

◆さざえ鬼（声／松野太紀）

より強い神通力を持つために、鬼太郎を食べようと考え、鬼太郎にバケて鬼太郎をおびき出した。



あらすじ

ニセ鬼太郎が人魚を売り歩いているという噂を確かめるため，とある漁村に来た鬼太郎は，天狗岩で，キズだらけの人魚の子供と出会う。さざえ鬼に捕まっている人魚の子供の仲間を助けるため，乗っ取られた人魚のすみかへ来た鬼太郎だったが，水流にのまれ，気を失ってしまう。さざえ鬼は，プレスしてペラペラになった鬼太郎を食べてしまうが，鬼太郎は，さざえ鬼の毛穴から気体になって脱出。目のある舌に髪の毛バリを浴びて，本体を現したさざえ鬼は縮んでしまい，人魚の子供たちも自由になるのだった。

ゲゲゲ
エピソード
ガイド



“一見静かな南の海ですが，すごい妖気が漂っていますよ。”

“鬼太郎，ここは鯨の墓場のようじゃぞ。”

“鯨の墓場!?”

“死期が近づいた鯨が訪れる，安息の地じゃ。”

ここを守っている妖怪というのが――。”

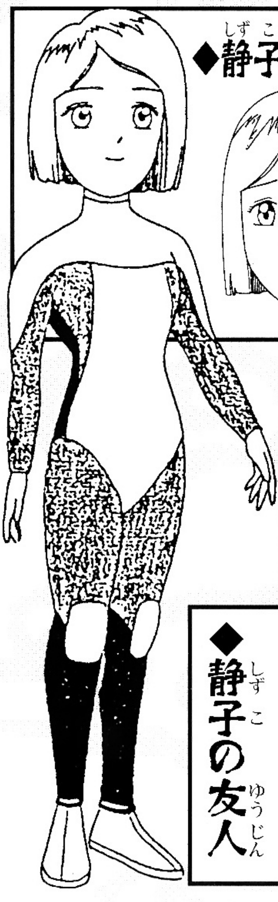
“あッ！　あの大きなものは!?”



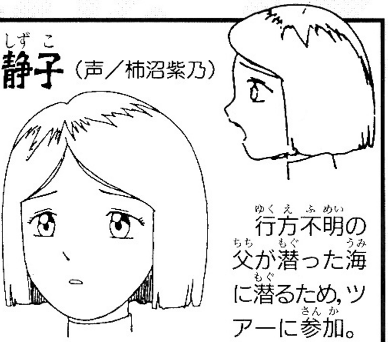
第18話　深海の奇跡！　化け鯨

●5月5日放送●

脚本／大橋志吉　作画監督／遠藤明夫　演出／川田武範



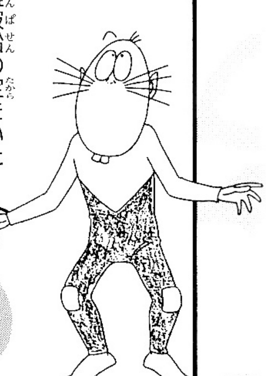
◆静子（声／柿沼紫乃）



行方不明の父が潜った海に潜るため，ツアーに参加。

◆ねずみ男のウェットスーツ

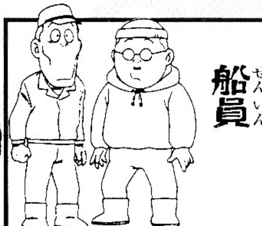
難破船の宝をいただくため、勝手に借りた。ちなみに、ねずみ男はカナヅチ。



水中ライト

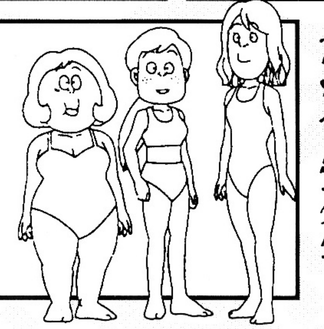


◆タグボート船員



◆静子の友人

静子と一緒に、難破船宝探しスキューバダイビング・ツアーに参加。まあ、ただのワキ役。



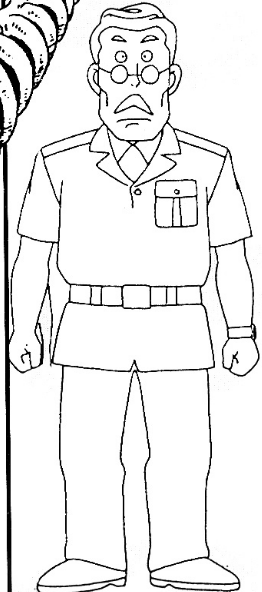
◆ダイビングのインストラクター





◆化け鯨

鯨の霊の固まりのようなもので，鯨の墓場の守り神。鯨の墓場とは，死期の近づいた鯨が来る神聖な場所で，ここを荒らす人間には，容赦なく襲いかかる。



◆静子の父

（声／阪　脩）

生涯をかけて鯨の研究をした動物学者。3年も前から行方不明。

あらすじ

南の海へ来た鬼太郎が，すごい妖気を感じた直後，姿を現した化け鯨がツアーの船を襲い，静子と鬼太郎は，呑み込まれてしまう。化け鯨の体内には，先に呑み込まれていたねずみ男もいた。自分を呼ぶ声がするという静子に続いて奥に進んだ鬼太郎たちは，そこで静子の父親に会う。この近くの海域で命を失った静子の父親の魂は，化け鯨の体内にいたのだ。父親と再会した静子は，迷っていた結婚を決意。父親は，人間が鯨の墓場に近づかないようにと言い残すと消えてしまう。化け鯨は，静子たちを潮とともに吹き上げるのだった。

ゲゲゲ エピソードガイド



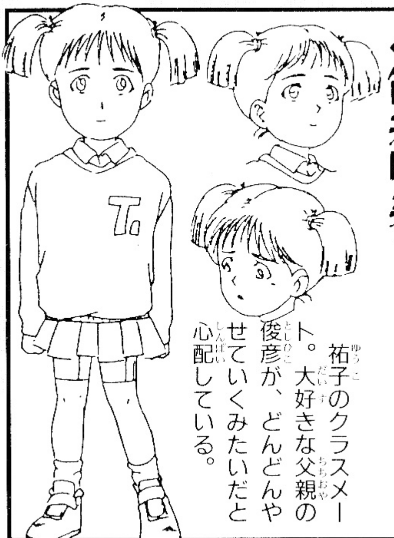
"メンコにビー玉，ベーゴマ，ラムネ‥‥ずいぶん懐しい風景じゃのう。"
"こんなのどかな町に，本当に晴美ちゃんのお父さんがいるんでしょうか!?"
"いや，油断してはいかんぞ。ここは，あの世の町なんじゃ。"
"あの世!?"
"放っておけば，二度ともとの世界には戻れなくなってしまうぞ！"



第19話 恐怖！ 妖怪くびれ鬼

●5月12日放送●

脚本／武上純希　作画監督／八島善孝　演出／吉沢孝男



◆筒井晴美

（声／住友優子）

祐子のクラスメート。大好きな父親の俊彦が、どんどんやせていくみたいだと心配している。



◆筒井俊彦

（声／島田　敏）

右目の下のホクロが特徴。



◆筒井敏子

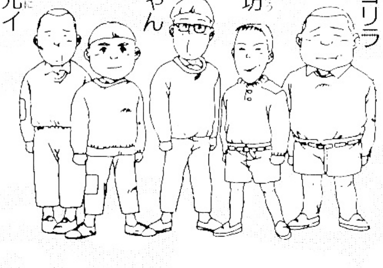
（声／前田千亜紀）

◆妖怪遠眼鏡



人間の魂や，黄泉の国の出口を見通せる。

◆少年時代の俊彦たち



◆俊彦の両親





黒いロングコートの男

（声／江川央生）



紙芝居の男









◆くびれ鬼

（声／鈴木れい子）

俊彦の魂をもらうため，ロングコートの男にバケて俊彦を黄泉の世界に連れ込んだ。黄泉の世界には，俊彦の子供の頃の町が作られており，そこで食べ物を口にしたため，俊彦は，死にかけていた。

あらすじ

鬼太郎は，晴美の父親・俊彦のあとを追うが，俊彦はロングコートの男とともに，路地裏の祠に消えた。砂かけ婆の砂で祠の場所を暴き，黄泉の国へ飛び込む鬼太郎たち。鬼太郎は，俊彦が次の食べ物を食べるまでに見つけ出した。俊彦が晴美の名前を聞いて我に返ると，辺りの風景も消滅していく。黄泉の国では鬼太郎の妖力がきかなかったくびれ鬼も，脱出した鬼太郎のチャンチャンコに包み込まれ，エラい坊さんの眠る神聖な山の祠に封じ込められることになった。そして晴美の授業参観には，元気になった俊彦の姿が。

ゲゲゲ エピソードガイド

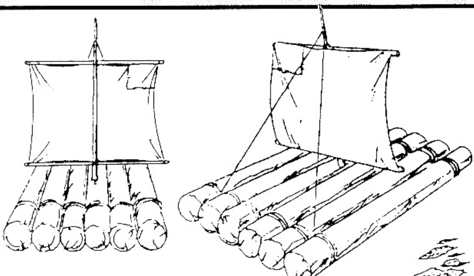


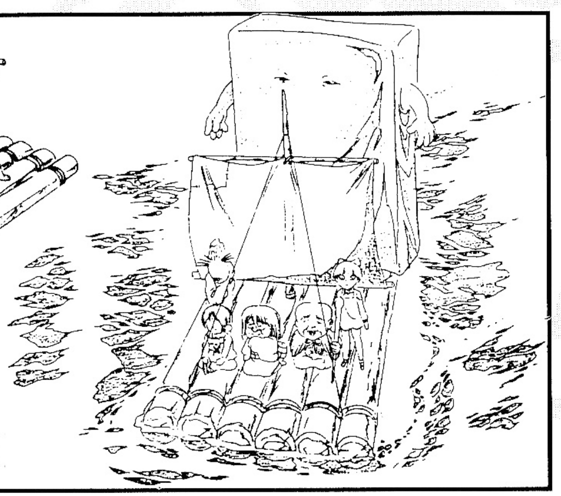
"父さん，この無人島で，さっきからすごい妖気を感じるんです。"
"ふ〜む，誰もおらんようじゃな。"
"おや，いま大きな目に見られていたような‥‥。"
"なに!?"
"この洞窟も，まるで口のなかのようですよ。"
"き，鬼太郎，大変じゃ！　この島自体が巨大な妖怪だったんじゃ!!"



第20話 ●5月19日放送● 冒険！ 絶海の人食い島

脚本／橋本裕志　作画監督／出口としお　演出／明比正行



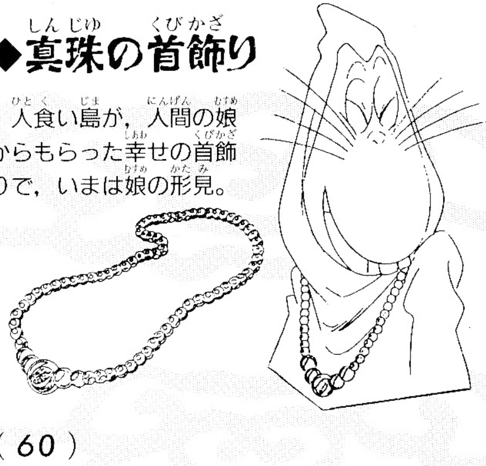


何隻もの船が沈没している事件を調べに，鬼太郎たちが乗ってきたもの。人食い島に呑み込まれた。

◆鬼太郎たちのいかだ

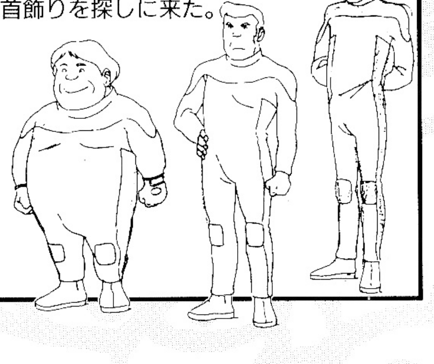
◆真珠の首飾り

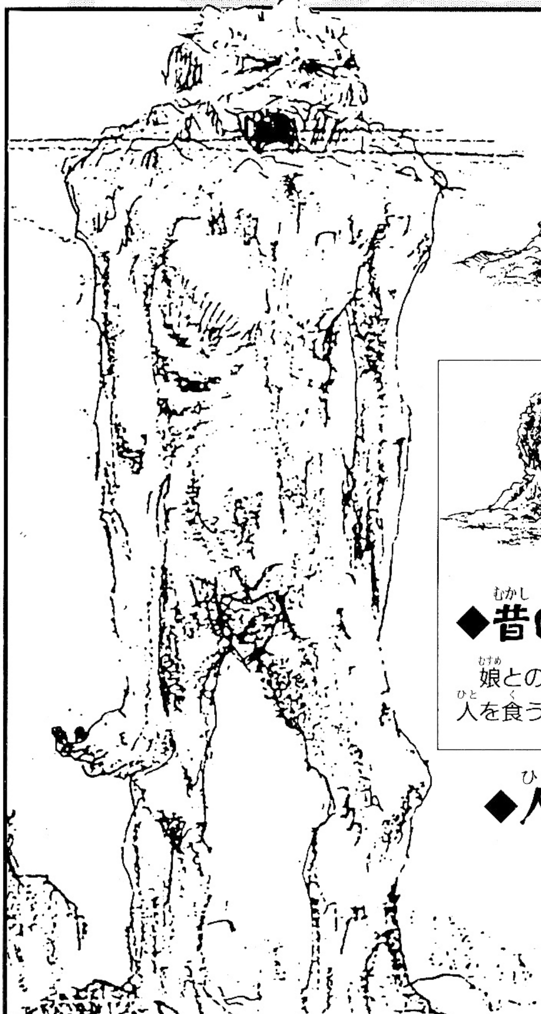
人食い島が，人間の娘からもらった幸せの首飾りで，いまは娘の形見。



◆ダイバー

首飾りを探しに来た。











◆昔の人食い島

娘との約束を守って人を食うのをやめた。

◆人食い島（声／青野　武）

鬼太郎たちが洞窟だと思ったのが口で，そんな鬼太郎たちを見つめる窪みの奥の赤い光は，人食い島の眼光だった。1000年前に人を食うのをやめていたが，人間が首飾りを盗みに来るようになり‥‥。

あらすじ

孤島に打ち上げられた鬼太郎たちは，洞窟に見えた縦穴に落ち込んでしまう。そこには，遭難した3人のダイバーがいたが，流れ込んできた液体が，彼らを溶かし始める。液体の実体を調べに，一反木綿で外へ出た鬼太郎は，ここが人食い島で，液体が胃液だと知る。真珠の首飾りを盗まれて怒り，体内の人間を溶かそうとする人食い島。ねずみ男から取り戻そうとした首飾りが，海の底に落ちてしまい，鬼太郎は海に潜る。見つけた首飾りを人食い島に返すと，体内の胃酸は引き，ダイバーたちはくしゃみで吐き出された。

ゲゲゲ エピソードガイド



"父さん，人間の顔がなくなる事件が，また起こってるんです。"

"またのっぺらぼうかァ？"

"あ，いえ，今度のは白粉を使う妖怪の仕業らしいです。"

"これがその白粉か‥‥。き，鬼太郎，それを塗ってどうする気じゃ？"

"僕の顔を囮にして，敵の正体をさぐってきます！"



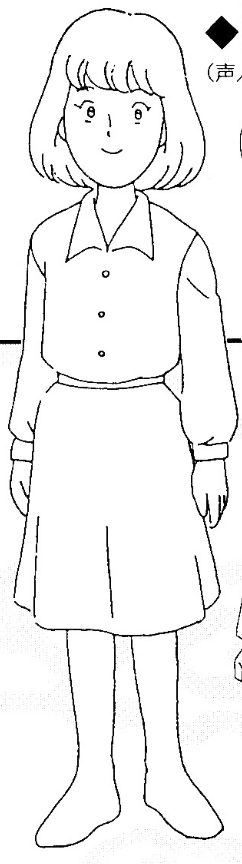
第21話 白粉婆とのっぺらぼう

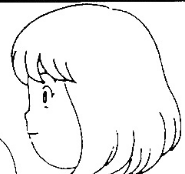
●5月26日放送●

脚本／大橋志吉　作画監督／直井正博　演出／宇田鋼之介

◆葉子

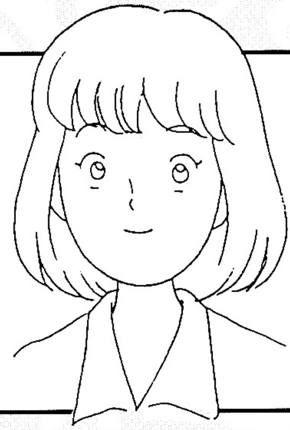
（声／笠原留美）





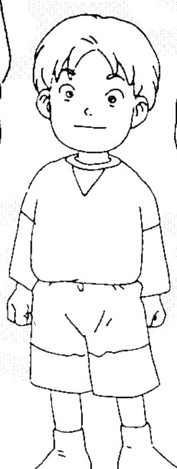


三日後の結婚式を前に、白粉婆の白粉で、顔がなくなる。



◆コースケ

（声／桂川千絵）

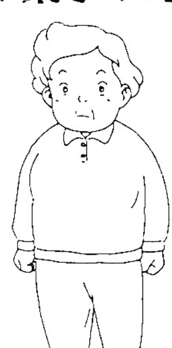


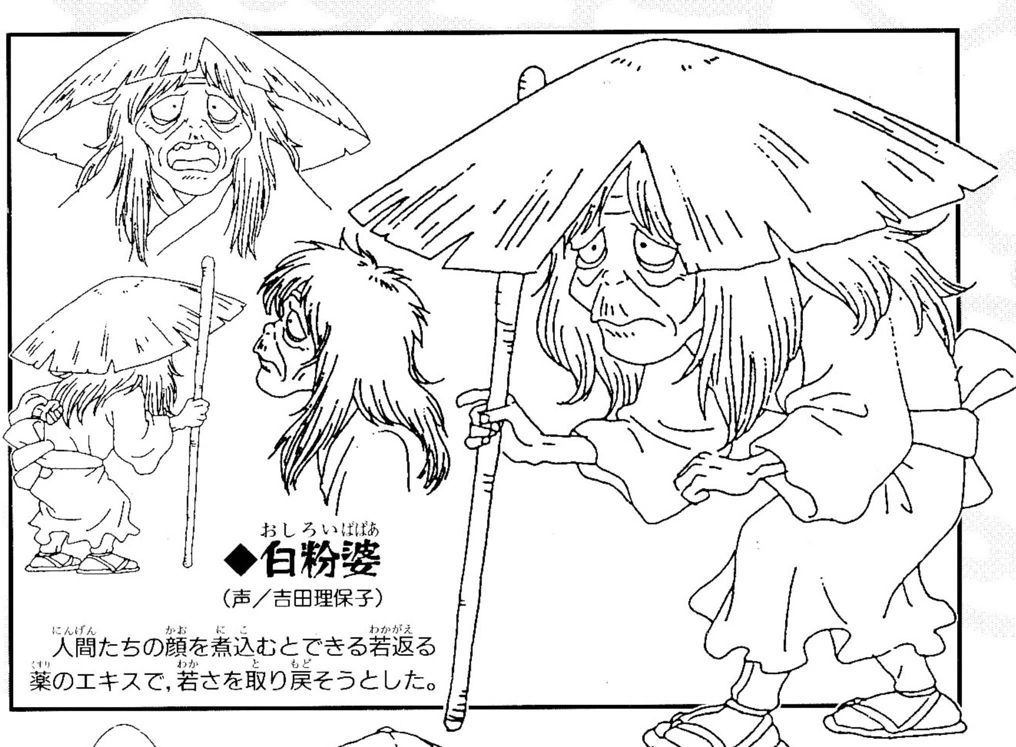




葉子の弟。これは妖怪の仕業だと、鬼太郎に手紙を送る。

◆葉子の母

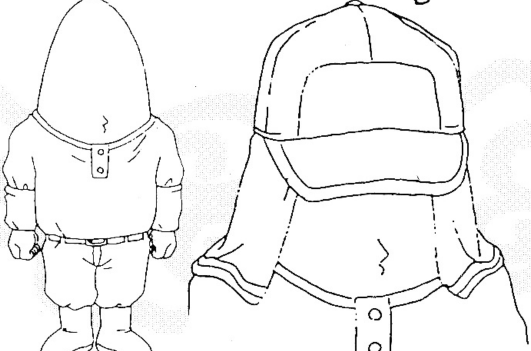




◆白粉婆

（声／吉田理保子）

人間たちの顔を煮込むとできる若返る薬のエキスで，若さを取り戻そうとした。



◆のっぺらぼう

（声／山口勝平）

鬼太郎に敗れてから，郊外で野菜を作っている。有機農法で自分の料理用に作った無農薬トマトは自信作のようで，人に譲る気はない。「料理は材料」が持論。

あらすじ

母の買ってきた白粉を塗ったため，葉子の顔がなくなってしまう。鬼太郎と一緒に葉子を訪ねたのっぺらぼうは，葉子の顔をとった荒っぽいやり方が許せないという。鬼太郎たちは顔をなくしたねこ娘たちと一緒に，白粉を売っていたねずみ男をしめ上げるが，ねずみ男は張本人である白粉婆の居場所を知らなかった。鬼太郎が顔に白粉を塗ると，とられた鬼太郎の顔は白粉婆の小屋をつきとめて戻る。そして，のっぺらぼうに顔を呑み込まれた白粉婆は，人間に顔を返すことを約束。葉子も無事に花嫁衣装を着ることができた。

ゲゲゲ
エピソードガイド



“父さん何でしょう，あの声？　田を返せ〜，田を返せ〜って。”
“あれは，住む田んぼを失った，泥田坊の悲しみの叫びじゃ。”
“それを人間の都合だけで，退治してしまうなんて・・・・。”
“いや鬼太郎，まだ終わってないぞ！　水を浴びた泥田坊は——!!”
“ああッ，巨大化してる!!”



第22話　蜂起！　妖怪泥田坊

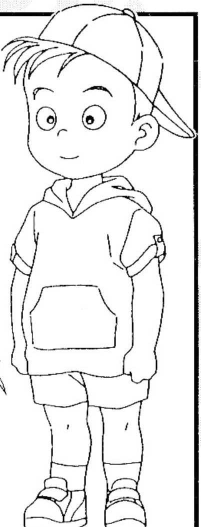
●6月2日放送●

脚本／武上純希　作画監督／木下和栄　演出／川田武範

◆直也

（声／野田順子）

毎年，祖父のもとを訪れての田植えを楽しみにしていた。でも祖父はもう，農業をやめる気でいる。

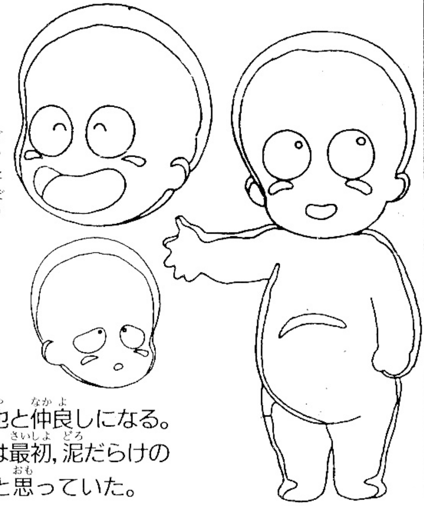




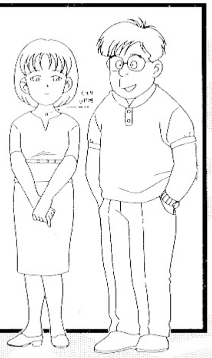
◆ベビー泥田坊

（声／鈴木麻里子）

直也と仲良しになる。直也は最初，泥だらけの子かと思っていた。



◆直也の両親

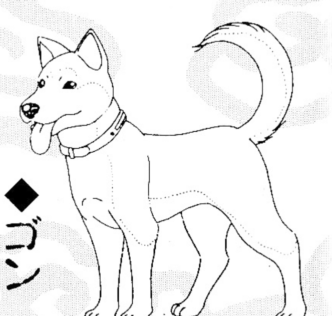


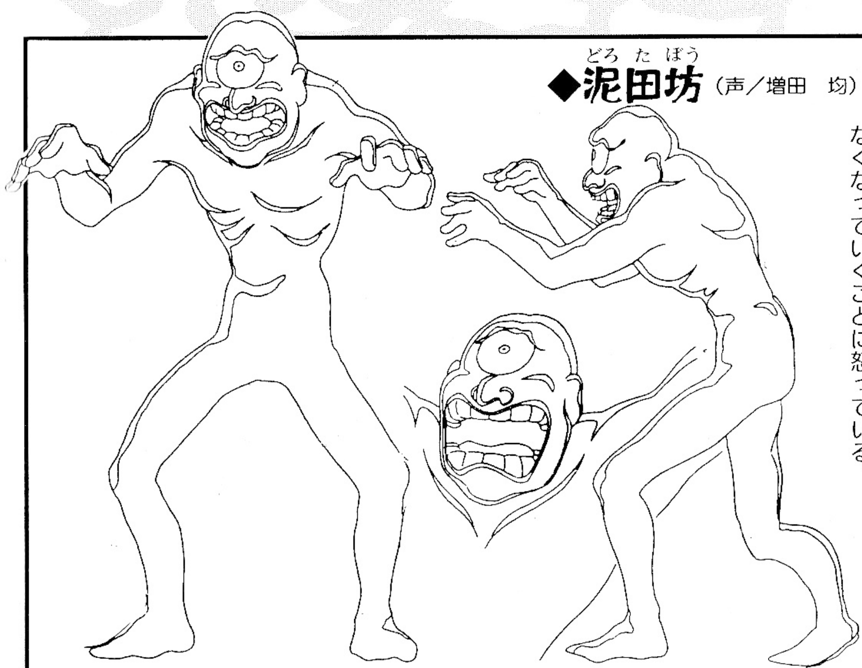
◆直也の祖父母



◆ゴン

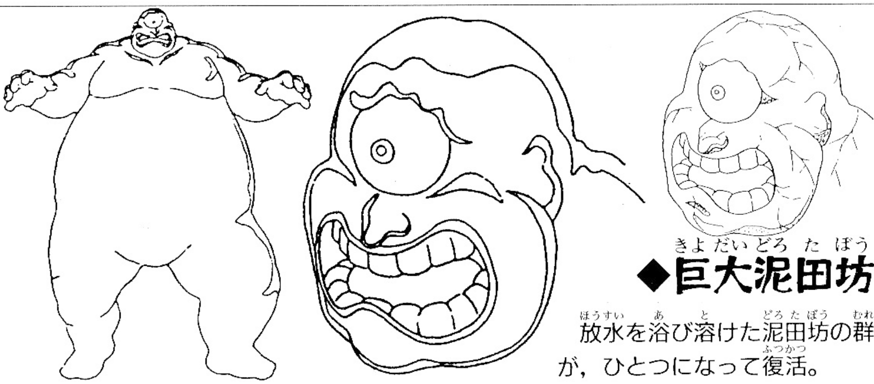
直也の祖父が飼っている犬。





◆泥田坊（声／増田　均）

大群で、直也の家の田んぼから現れた。周りの田んぼが宅地として売られ、なくなっていくことに怒っている。



◆巨大泥田坊

放水を浴び溶けた泥田坊の群が，ひとつになって復活。

あらすじ

ある夜，雨が降り注ぐ田んぼから泥田坊が出現。翌朝，村に駆けつけた鬼太郎は，泥田坊が放水車に流されていく光景を見て，複雑な表情に。だが泥田坊は巨大な姿で復活。村人が避難した小学校へ迫る。止めようとする直也のもとにベビー泥田坊もやって来るが，その進撃は止まらない。だが，砂かけ婆の提案した巨大なたき火の熱に乾かされた巨大泥田坊は，徐々にひび割れていく。鬼太郎は巨大泥田坊を倒すことを決意するが，それを止めた直也が，泥田坊を田んぼに戻すことを提案。田んぼは，残されることになった。

ゲゲゲ エピソードガイド



“風吹き峠というだけあって，風の強いところですねぇ。”
“しかし妙な風じゃのう。もしや，ここで車に乗った人間が蒸発したことと，関係があるのでは!?”
“!!　父さん，この風から妖気を感じます！”
“やはりそうか，蒸発した人たちの車を吹き飛ばしたのは，この風じゃったのか!!”



第23話 風魔！ 妖怪雨ふり天狗

●6月9日放送●

脚本／大橋志吉　作画監督／飯島弘也　演出／吉沢孝男

◆晴夫

（声／高木早苗）

父親が行方不明になったことを，鬼太郎に知らせた。



◆晴夫の祖父

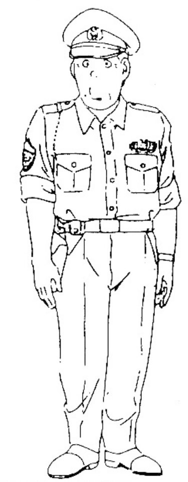
（声／田中亮一）

昔は医者で、いまは村長。雨ふり天狗の目を治療した。



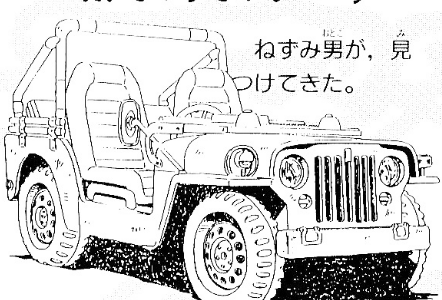
◆駐在

妖怪の鬼太郎たちに協力した。



◆晴夫の父のジープ

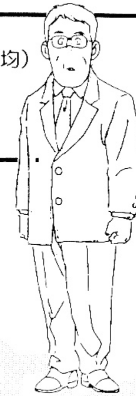
ねずみ男が，見つけてきた。



◆晴夫の父（声／増田　均）

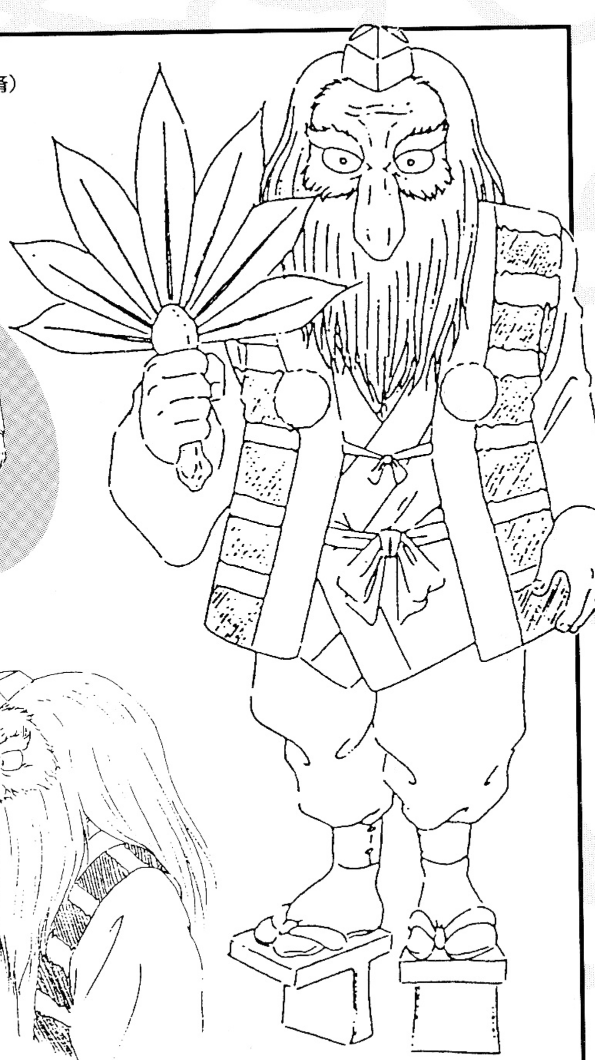
風吹き峠を越えた隣村へ往診に行ったまま，帰ってこない。

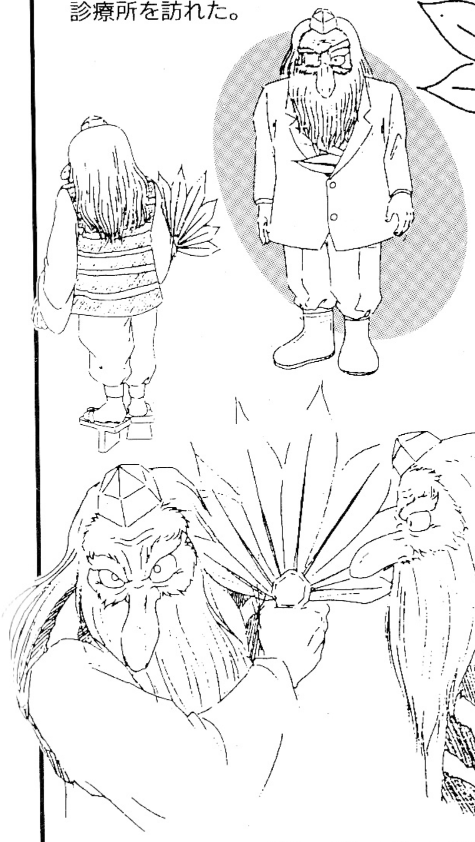




◆雨ふり天狗（声／阪　脩）

風吹き峠にすみついている。リモコンゲタに右目をやられ，バレバレの変装で，晴夫の家の診療所を訪れた。





あらすじ

風吹き峠に来た鬼太郎は，現れた天狗と一戦交え，その後を追うが，その先には大きな岩があるだけだった。傷ついた天狗が，晴夫の家の診療所を訪れたとき，頭巾に隠れた目玉おやじは鞍馬の大天狗を名乗り，天狗が晴夫の父親たちを捕らえたワケを聞き出した。車の排ガスで食べ物のカスミ草が枯れたことに，天狗は怒っていたのだ。天狗が雨に降られて岩になっている間に，風穴に捕らわれていた晴夫の父やねずみ男たちは助け出される。晴夫の祖父は，カスミ草をこの村で栽培することを，雨ふり天狗と約束するのだった。

ゲゲゲ エピソードガイド



"おい鬼太郎、ねずみ男が結婚したそうじゃぞ。"
"ええッ，本当ですか⁉"
"相手はお寺の一人娘だそうじゃ。しかし，奴をムコにとるとは，物好きもいたもんじゃのォ。"
"父さん，その娘さんですが，もうずいぶん前に死んでしまっているって——。"
"な，なにィ⁉"



第24話 怪談！ 妖怪陰摩羅鬼

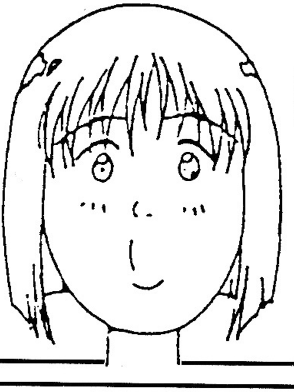
●6月16日放送●

脚本／武上純希　作画監督／海老沢幸男　演出／佐藤順一



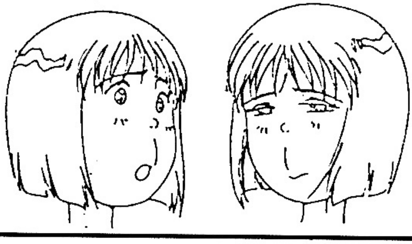
◆小百合

（声／三浦雅子）





寺の後継ぎをさがすため，陰摩羅鬼にのりうつられて，死から蘇った。享年19歳。名字は小池。



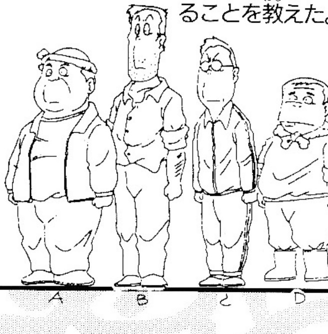
◆ねずみ男二態

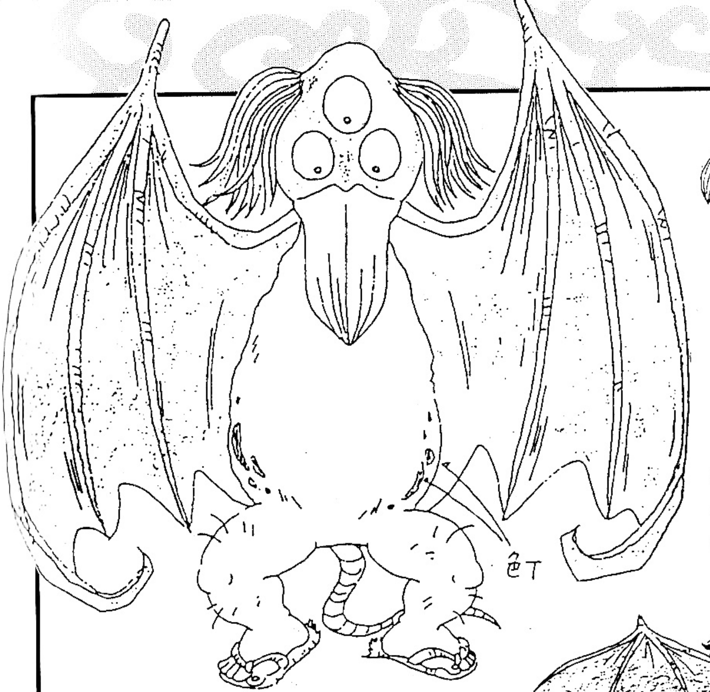
小百合と結婚したねずみ男は，寺の住職に。

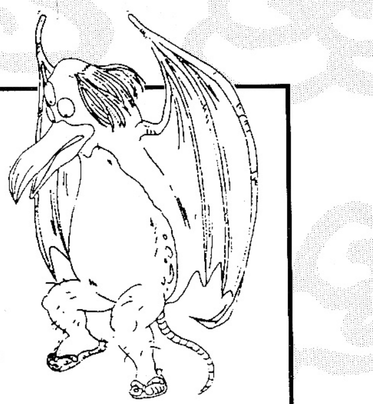


◆村人

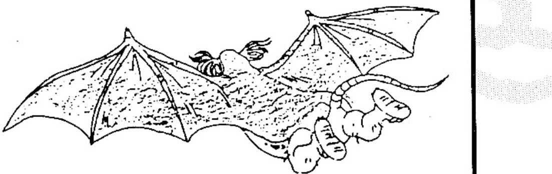
ねずみ男に，小百合が死んでることを教えた。





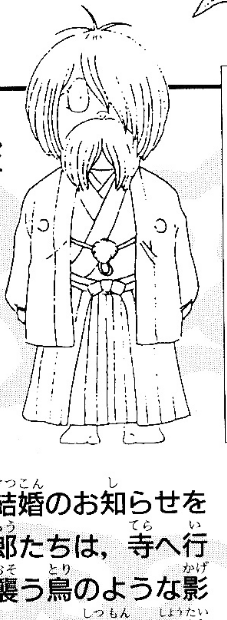


寺を荒れ放題にされたため，怒ってめざめた。小百合の姿で人間に近づき，その精気を吸う。



◆陰摩羅鬼

（声／佐藤正治）



◆情熱の天才画家

小百合の肖像画を描くフリをして，妖怪の正体あばきの秘術で，陰摩羅鬼を追い出した。じつは鬼太郎で，紋付き袴は子泣き爺に借りたようだ。



陰摩羅鬼の足は、鳥の肢のように姿を変える。なかなか器用で、鬼太郎の頭をワシ掴みにした。

あらすじ

ねずみ男から結婚のお知らせを受け取った鬼太郎たちは，寺へ行く途中，人間を襲う鳥のような影を見る。鬼太郎の108の質問で正体を現した陰摩羅鬼は墓地に追いつめられるが，鎧武者たちの霊魂で鬼太郎たちを襲う。だが，鬼太郎は108の点を結んだ絵に陰摩羅鬼を封じ込める。その紙を榊の木の火にくべると陰摩羅鬼は死ぬのだ。それを止めた小百合は，陰摩羅鬼が住職さがしを手伝ってくれたことを告げ，その魂は土に帰されることになる。小百合の姿も消え，魂へ戻っていく。後日，小百合の墓の側には一輪の百合が咲いていた。

ゲゲゲ
エピソードガイド





“父さん，夜な夜な事故を引き起こす妖怪が現れるのは，この辺りですね。”
“古都を疾走する牛車の妖怪か——。”
“父さん，あそこ！”
“おお，あれは朧車じゃ！
あの様子，ただ事ではないぞ！”
“ああッ!?　・・・・朧車，やめるんだ!!”

第25話　古都の妖怪・おぼろ車

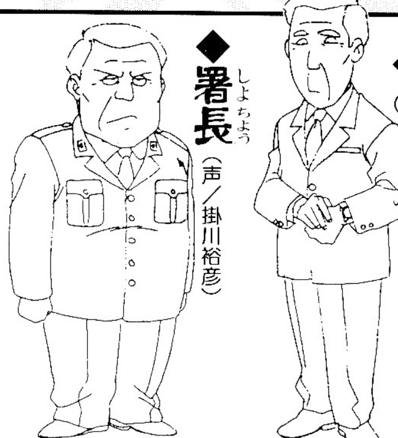
●6月23日放送●

脚本／大橋志吉　作画監督／八島善孝　演出／宇田鋼之介



◆館長
（声／田中亮一）

取り壊しが決まった市立民俗博物館の館長。訪れた鬼太郎に，牛車が処分されることを教えた。



◆署長
（声／掛川裕彦）

◆市長
（声／茶 風林）

丘を崩して病院を建てる開発工事の遅れを気にして“妖怪コンサルタント”ねずみ男を雇う。

◆若者たち

公道レースに興じていたところを朧車に抜かれ，事故ってしまう。



◆妖怪を誘い出す祭壇

ねずみ男はほかに，魔除けの札を20万円で売ろうともした。もちろん，ともにインチキ。



◆朧車

(声／大友龍三郎)

発掘された木片から再現された牛車が、妖怪になったもの。何百年もともに生きてきた丘が壊されることに、怒りまくっている。



あらすじ

妖怪が走りまわる古い街へ来た鬼太郎は，現れた朧車を追う。翌日，朧車を見失った場所から近い博物館に来た鬼太郎は，車輪にキズや泥がついた牛車を見る。ねずみ男が牛車を燃やそうとしたとき，光を放って正体を現す朧車。街をめざす朧車に飛び乗った鬼太郎は，この街が都だったころの幻影を見せられ，朧車が丘を守るために，工事の車を狙っていたことを知る。工事の車が列をなして丘へ向かうのを見た朧車は，全速力で突っ込み，ブルドーザーに激突して粉々に。開始される工事‥‥。鬼太郎は木片を館長に渡した。

ゲゲゲ エピソードガイド

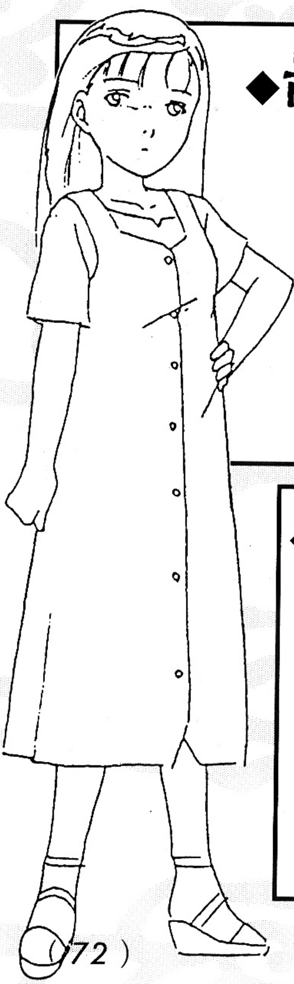


“お嬢様誘拐のヌレギヌをきせられたうえに、妖怪にさらわれるとは、トホホ。”
“父さん、あの妖怪、何者なんです？”
“天邪鬼じゃ。いったん暴れだしたら、手のつけられない妖怪じゃ。ねずみ男め、厄介なヤツを目覚めさせおって！”
“――大変ですよ！僕たちを薫製にして食べる気ですよ！”



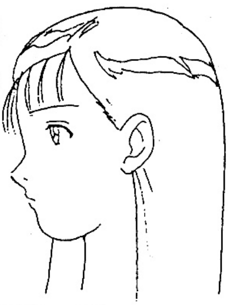
第26話 ●6月30日放送● 復活！ 妖怪天邪鬼

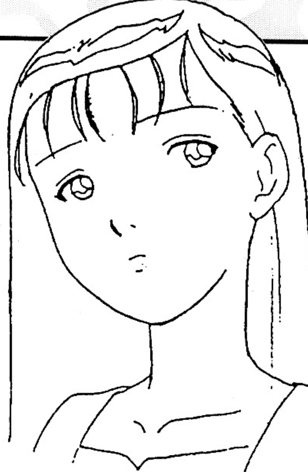
脚本／雪室俊一　作画監督／稲葉 仁　演出／西尾大介



◆百合香（声／荒木香恵）

大河内財閥のお嬢さん。自分の家が金持ちなことに、実はコンプレックスがあった。





◆警部（声／岸野幸正）

鬼太郎たちを、誘拐犯と間違える。





◆刑事（声／幸野善之）

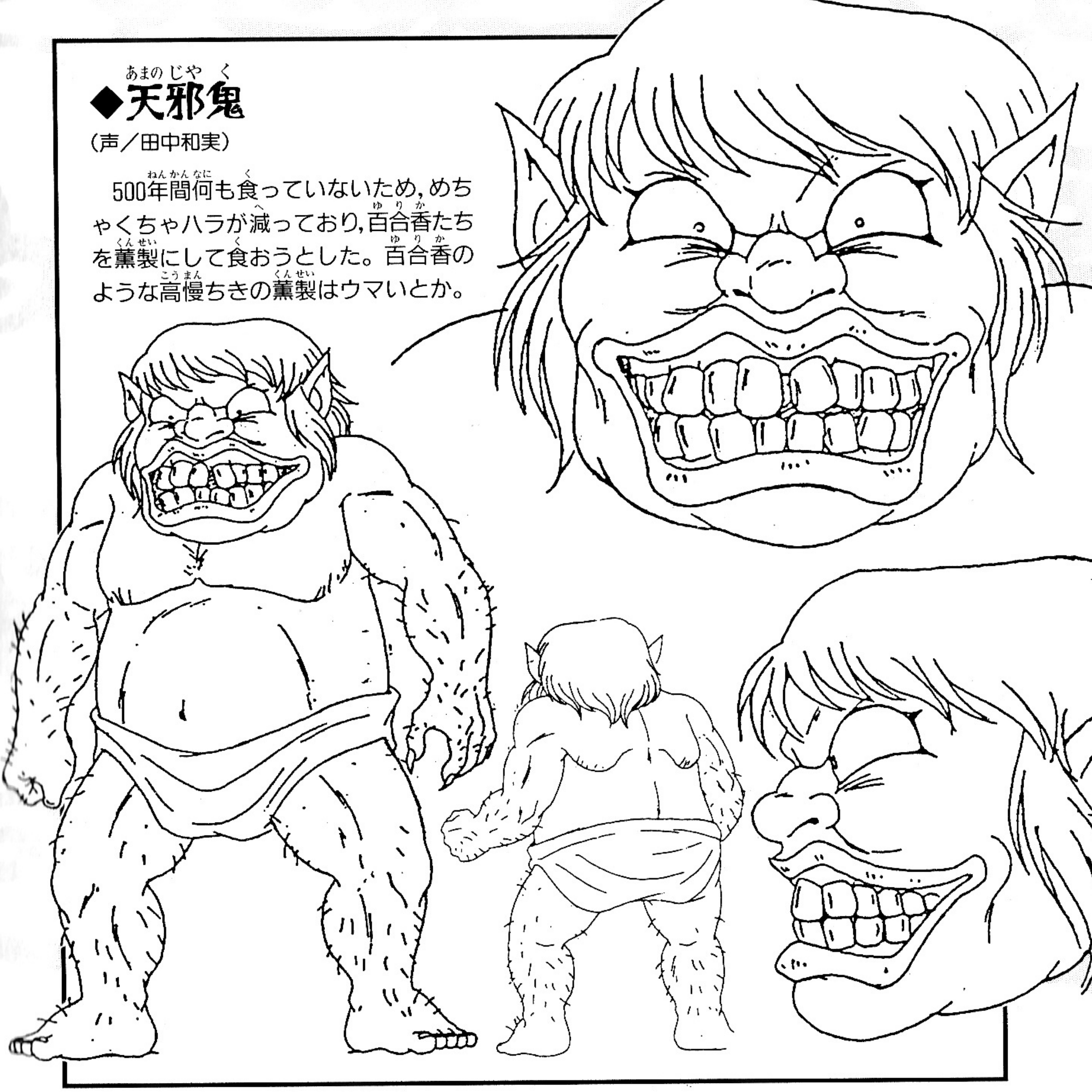
◆機動隊員



◆天邪鬼

（声／田中和実）

500年間何も食っていないため，めちゃくちゃハラが減っており，百合香たちを薫製にして食おうとした。百合香のような高慢ちきの薫製はウマいとか。



あらすじ

ねずみ男の別荘に招待された鬼太郎たちは，百合香を誘拐したとして取り調べを受ける。それを助け出した天邪鬼こそ，百合香誘拐の張本人だった。洞窟に閉じ込められた鬼太郎たちは，石片で出口の岩を掘り続ける。百合香も，皆の必死な姿を見て石片を手に。だが，洞窟内には煙が充満。その時，外から岩をどけたのはぬりかべだった。戻ってきた天邪鬼は，石の風車で封印されそうになるが，必死に耐え，その姿もまた百合香の心に何かを残す。石化した子泣き爺の重さに耐えきれず，ついに天邪鬼は封印され，事件は終わった。

ゲゲゲ エピソードガイド



"ねずみ男が珍しく，マトモな商売を始めたそうですよ。"

"ほう，あいつもようやくカタギになったか。"

"なんでも，野槌塚のそばでゴミ焼却業をしてるとか・・・・。"

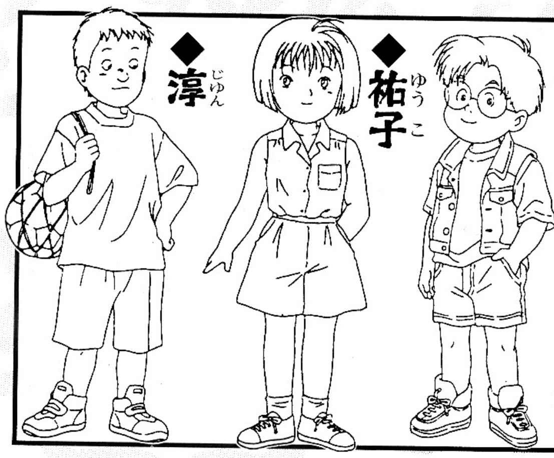
"の，野槌塚じゃと!? あそこは，ありとあらゆる物を吸い込む妖怪，野槌を封印した場所じゃぞ！ まさかあいつ——。"



第27話 吸魔！ 妖怪野づち

●7月7日放送●

脚本／武上純希　作画監督／直井正博　演出／明比正行

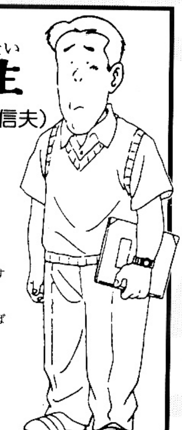


◆淳

◆祐子

◆翔太

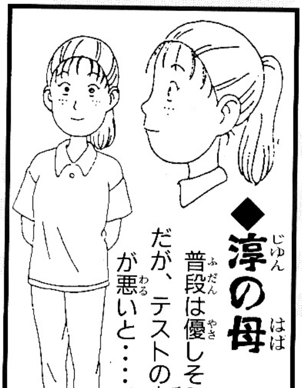
淳は机のなかに、プリントや答案、翔太に借りたマンガ本を詰め込んでいた。



◆先生

（声／里内信夫）

ゴミ捨て場みたいな淳の机に呆れ、中身を持って帰らせた。



◆淳の母

普段は優しそうだが、テストの点が悪いと・・・・。



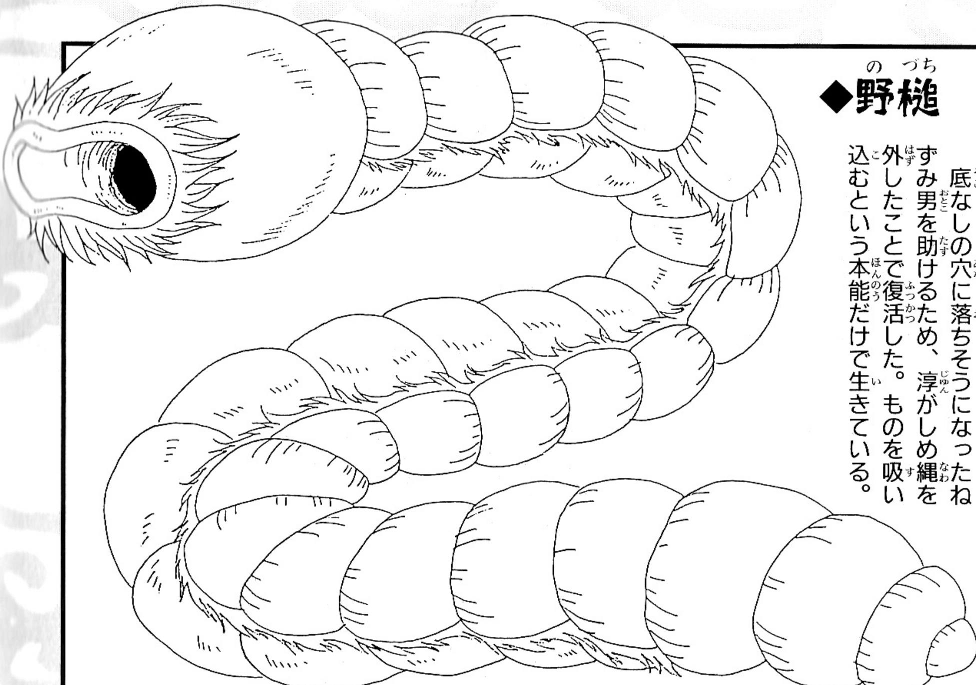
◆借金とり

ねずみ男をさがしていた。



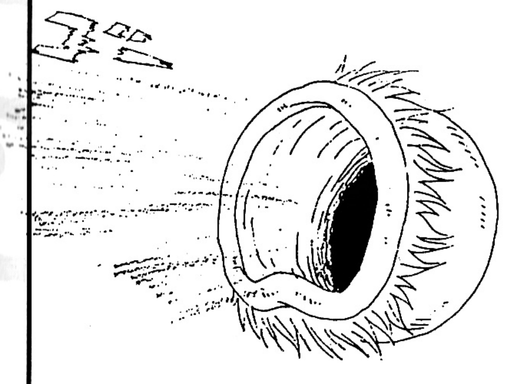
◆引っ越し中の夫婦

粗大ゴミを捨てるのに困っていた。

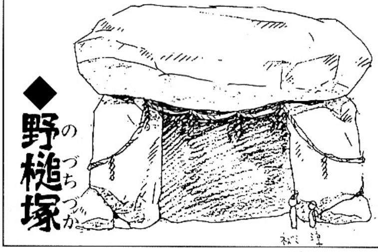


◆野槌

底なしの穴に落ちそうになったねずみ男を助けるため、淳がしめ縄を外したことで復活した。ものを吸い込むという本能だけで生きている。



古代の神様が野槌を封印した場所。
400年前,砂かけ婆も壺を捨てていた。



◆野槌塚

あらすじ

野槌塚を利用し，ゴミ処理工場を始めるねずみ男。だが,そこからは野槌が出現，辺りのものを吸い込みながら進撃する。妖気の異常に気づいてやってきた鬼太郎も吸い込まれ，砂かけ婆が妖怪天眼鏡でみた野槌の体内は，まさしく4次元だった。お婆パラシュートで一反木綿から飛び降り，野槌の中に入った砂かけ婆は，眠っていた鬼太郎を起こす。鬼太郎は妖力竜巻で野槌の腸のねじれを直し，すべてを吐き出した野槌に，自分のシッポを吸い込ませる。ダンゴ虫のようになって縮んでいく野槌は，再び野槌塚に封印された。

ゲゲゲ
エピソード
ガイド





“父さん，この電車は，いったいどこへ行くんでしょうか？”
“猫町じゃ。猫たちが暮らす不思議な町じゃと聞くが。”
“あれ，父さんの体にシッポのようなものが‥‥。”
“鬼太郎！　お前にも，耳とヒゲが！”
“父さんこそ‥‥あ，あれれ，みんなも！”

第28話 幻想譚・猫町切符

●7月21日放送●

脚本／大橋志吉　作画監督／出口としお　演出／吉沢孝男



◆田所秀夫
（声／堀川　亮）

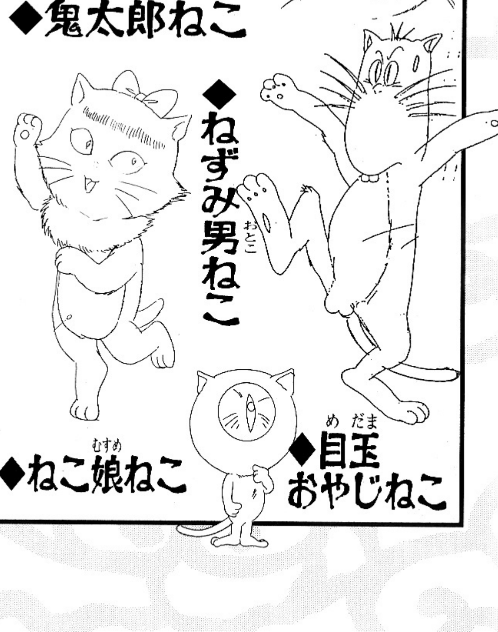
リストラで会社をクビになった。

◆秀夫ねこ



猫町線に乗ると誰の姿も猫に変わってしまう。猫町では、鬼太郎の妖力も落ちていた。

◆鬼太郎ねこ



◆ねずみ男ねこ

◆ねこ娘ねこ

◆目玉おやじねこ



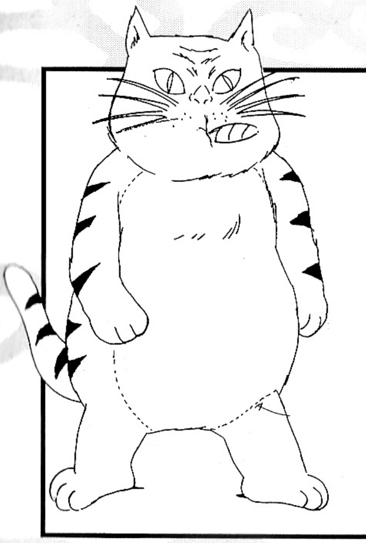
◆田所礼子（声／住友七絵）

秀夫がローンを残して消えたため，息子たちを連れて猫町へ。

礼子ねこ

慎二ねこ

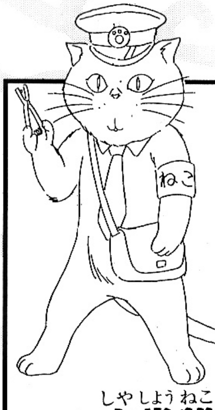
哲哉ねこ

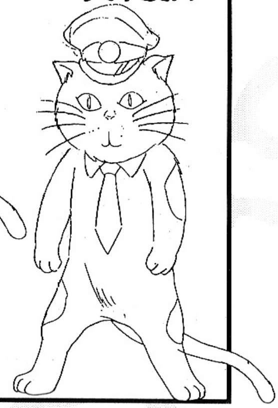


◆デブ猫

（声／川津泰彦）

猫の顔の形の古めかしい機械のなかで、猫町切符を発行している。





◆改札猫

◆車掌猫

猫町線の職員たち。
車掌猫の腕章がグー。

猫町をしきっている猫で，逆猫町切符を出している。その正体は神通力を持った化け猫で，二つに割れたシッポが証拠。ねずみをバカにしている。





◆猫又（声／江川央生）

あらすじ

ねずみ男に頼まれ行方不明の秀夫をさがす鬼太郎は，ノラ猫の後を追ってデブ猫に会い，猫町線で猫町へ。途中，猫になった2人は見渡す限り猫だらけの猫町で，猫になった秀夫を見つける。だが秀夫はもう，人間に戻るつもりはないという。そこへ現れた猫又はねずみ男の正体を知り，2人を捕らえてしまう。取り囲まれ猫たちに食われそうになった2人を救ったのは，ねこ娘だった。秀夫は猫になった妻や息子と再会，猫町で暮らすことに。鬼太郎たちはもとの姿で人間界へ戻るが，ねこ娘以外は猫町の記憶をなくしていた。

ゲゲゲ エピソードガイド



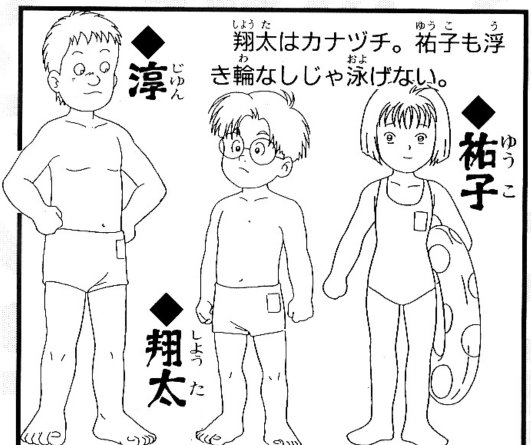
“海水浴場で，巨大な目玉が飛び回っています！”
“目だけではないぞ！ 鼻，口，腕――どんどん増えていくぞ！”
“父さん，あれはいったい？”
“ダイダラボッチじゃ。争いをしずめる伝説の巨人といわれておるが，このまま放っておくと，手当たり次第に・・・・。”
“ああ，大変だ！島まで食べ始めています!!”



第29話 巨人伝説ダイダラボッチ

●7月28日放送●

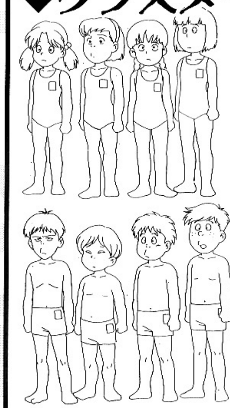
脚本／橋本裕志　作画監督／木下和栄　演出／川田武範



◆淳　◆翔太　◆祐子

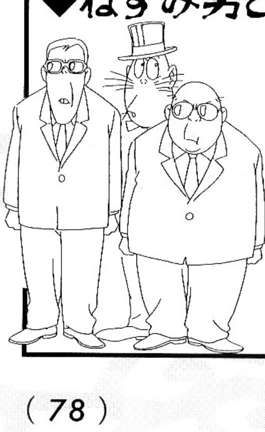
翔太はカナヅチ。祐子も浮き輪なしじゃ泳げない。

◆クラスメート



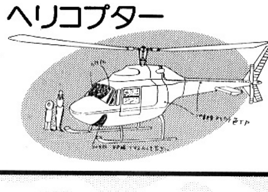
祐子たちのクラスが海水浴に来ていた砂浜は、山崩れの土砂と、海にはさまれ、陸の孤島になってしまう。

◆ねずみ男と子分



誰がダイダラボッチのご主人様かで争いを始めたため，哀れ３人は，食われてしまうのだった。

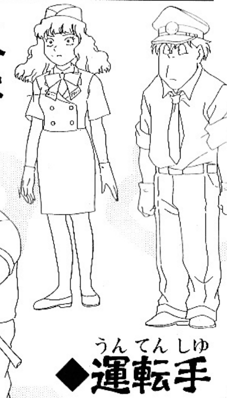
ヘリコプター

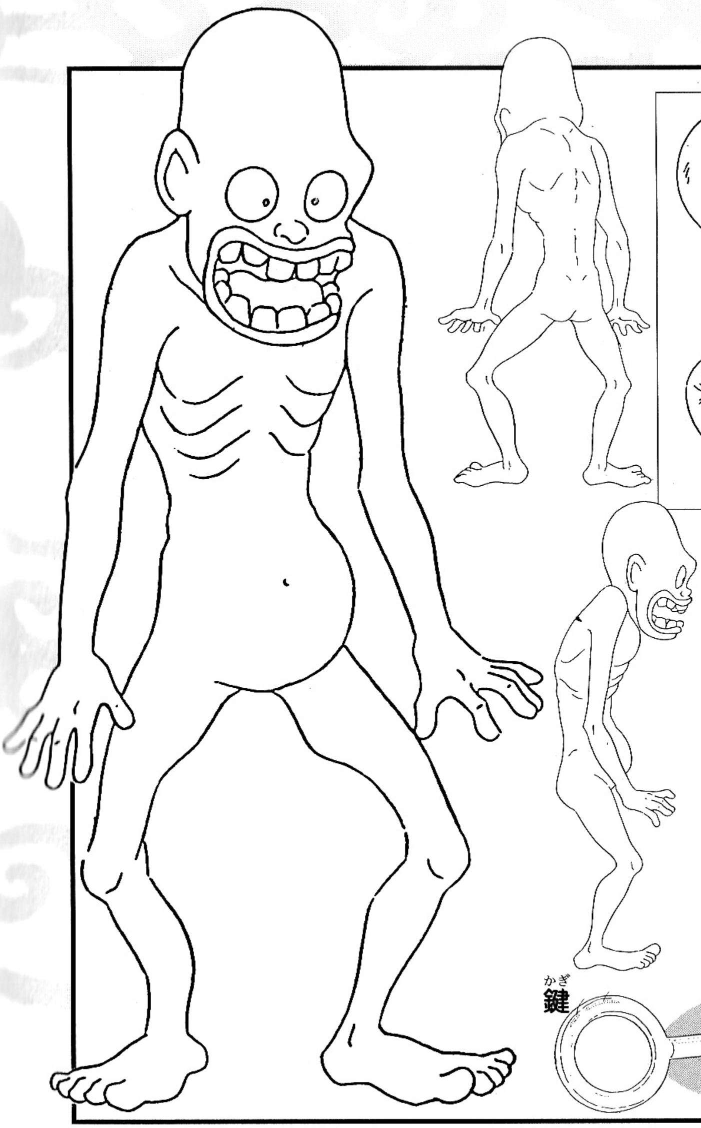


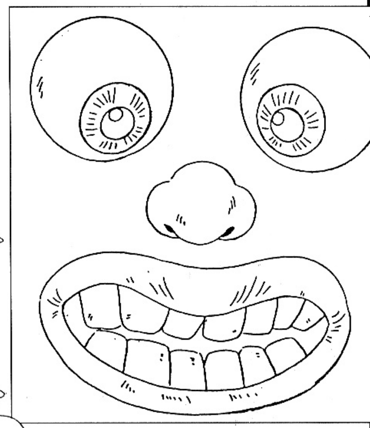
◆宿屋のおやじ

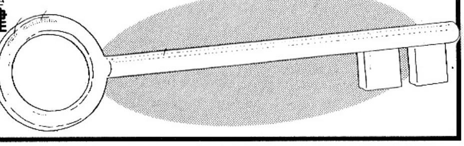


◆バスガイド　◆運転手









◆ダイダラボッチ

ねずみ男が、大鱈神社から盗んだ巨大な鍵で身体の封印をといたため、バラバラの身体が集まって完成した。再封印するには、ダイダラボッチが自分の頭に脳味噌を入れてしまう前に、大鱈神社にある脳味噌の動きを止めなければならない。

あらすじ

海水浴場に巨大な目玉，鼻，口，頭が飛来。ダイダラボッチの顔になる。一反木綿で飛ぶ鬼太郎は，腕，胴体とすれ違うが，一反木綿はヘリに乗ったねずみ男に墜落させられる。ついに水面から脚が出現し，ダイダラボッチが完成。鬼太郎は沈んだボロ船に乗っていた子たちを助け，ヘリにあった封印地図を見て，大鱈神社へ。脳味噌に杭を刺すことに失敗した鬼太郎は，砂かけ婆たちと争うが，これはダイダラボッチの注意をそらすための作戦だった。竹を束ねた杭を脳味噌に突き刺され，さすがのダイダラボッチも封印された。

ゲゲゲ エピソードガイド



"おお！　なんという不思議な光景じゃ。"
"部屋一面に咲き乱れる南方の妖しい花・・・・。父さん，この花は？"
"う～ん，わしにもわからんのォ。"
"花子さんは，この花のせいでお婆ちゃんがいなくなってしまったと思っているようですよ。"
"ふ～む，果たしてこれも妖怪のしわざなのかのォ・・・・。"



第30話　妖花！ 夏の日の記憶

●8月4日放送●

脚本／島田 満　作画監督／海老沢幸男　演出／明比正行

◆花子

（声／天野由梨）

小さな本屋で働いている。毎年，夏の暑い日になると自分の部屋だけに咲く妖花に，不安を感じていた。



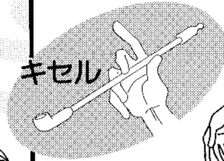
◆妖花

遠い南方の島で戦死した花子の祖父の，遺体の養分を吸った大木が咲かせていた。



◆懐かし堂の主人

（声／八奈見乗児）

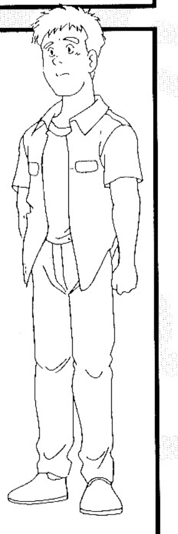




花子にサチの文箱と、島の絵を見せた。

◆良雄

（声／佐藤浩之）

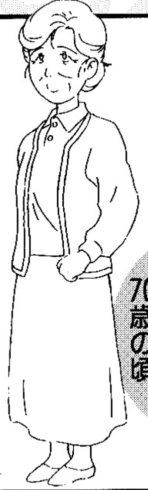


毎晩、偶然を装って帰宅途中の花子を送っていた。そしてついに花子にプロポーズするが‥‥。

◆サチ

（声／武藤礼子）

3年前，その夏の一番暑い日にいなくなってしまったのだが‥‥。




50歳の頃


70歳の頃

あらすじ

鬼太郎は本屋で，真っ赤な花の妖気にとりまかれた花子を見る。その花が咲き乱れる部屋に住む花子は，祖母サチの行方を案じていた。後日，鬼太郎と懐かし堂を訪れた花子は，祖母がいなくなった日，ここで，真っ赤な花が咲く南方の島の絵をみつめていたことを知る。巨大ハマグリでその島へ行った花子たちは，花粉に誘われ，花の咲き乱れる大木を見つける。その根元には，祖母と祖父の五郎の遺骸が‥‥。瓶づめにされていた手紙を読んだ花子は，祖母が一人きりで眠る祖父に会うために，この島へ来ていたことを知った。

ゲゲゲ エピソードガイド



"父さん！　僕の，僕のチャンチャンコが盗まれてしまいました！"

"なにィ，いったいだれがそんなことを！"

"僕が呼びかけてもチャンチャンコに反応がないんです。"

"こりゃあ，大事じゃぞ。ほかの妖怪にチャンチャンコの霊力を悪用されたら，とんでもないことになるぞ!!"



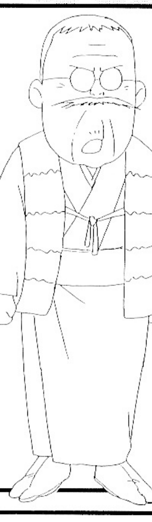
第31話　妖怪変化！ 傘化け

●8月11日放送●

脚本／武上純希　作画監督／八島善孝　演出／宇田鋼之介

◆伊集院寿太郎

（声／青野　武）



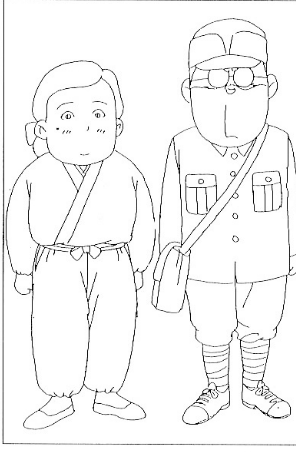
◆伊集院タエ

（声／山口奈々）

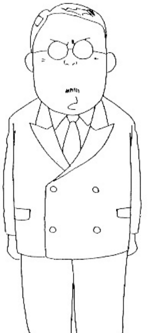


寿太郎は、タエと野菜売りから始めて伊集院物産を築くが、働きすぎがたたって、昨年死亡。

◆若い頃の寿太郎とタエ



◆伊集院タカオ



◆伊集院ヨシコ

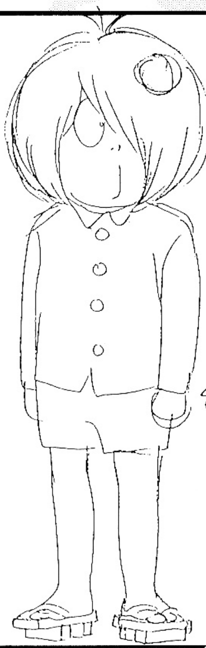


死んでもう一年になる寿太郎の帰りを待っているタエに、自分たちと住むようにいう。

◆ツネ

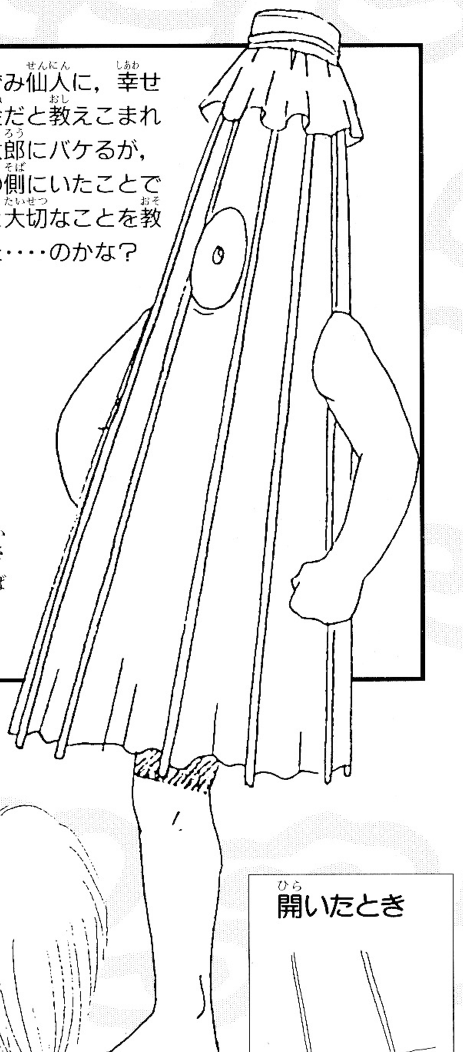


伊集院家のお手伝い。寿太郎の姿を見てビビりまくり、暇をもらうといい残し、ババアらしからぬ勢いで去っていった。



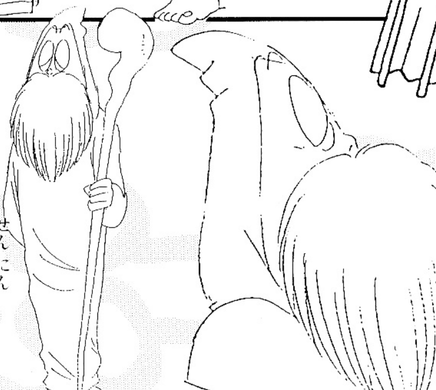


ねずみ仙人に，幸せはお金だと教えこまれて寿太郎にバケるが，タエの側にいたことでもっと大切なことを教わった・・・・のかな？



◆傘化け

（声／草尾　毅）



◆ねずみ仙人

もちろん、ねずみ男の変装。さびれた炭坑跡で見かけた傘化けを、人間にバケると幸せになれるとそそのかす。

あらすじ

妖怪アパートへ向かう途中，鬼太郎は変な円盤に襲われ，チャンチャンコを盗まれる。それを着た傘化けは，寿太郎の姿で伊集院家を訪れ，妻のタエは，死んだはずの寿太郎を何の疑問も抱かずに迎え入れる。鬼太郎は念を発して，チャンチャンコの反応をとらえ，傘化けからチャンチャンコを取り戻す。だが，あと１回だけチャンチャンコを貸してくれと頼む傘化け。傘化けは，タエに別れがいいたいという。傘化けのバケた寿太郎は，自分がもう死んでいることをタエに伝えて姿を消す。タエは笑顔で「ありがとう」というのだった。

ゲゲゲ エピソードガイド



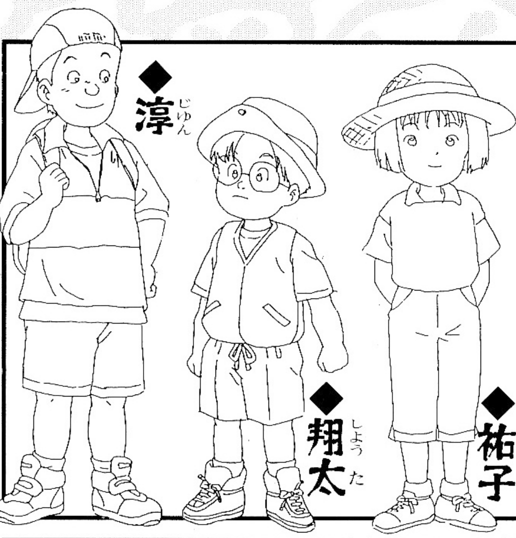
“父さん、最近異状なくらいに雷が落ちますねェ。”
“ふむ，ヘリコプターが墜落したり，町中で停電したり，大騒ぎじゃのう。”
“あ！　あれを見てください。巨大な雲がこちらに向かって来ますよ。”
“鬼太郎，気をつけろ！　あいつは稲妻をあやつる手強い妖怪じゃぞ！”



第32話 電気妖怪カミナリ！

●8月18日放送●

脚本／大橋志吉　作画監督／直井正博　演出／吉沢孝男

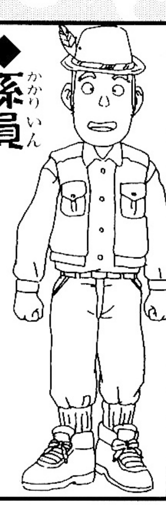


◆淳

◆翔太

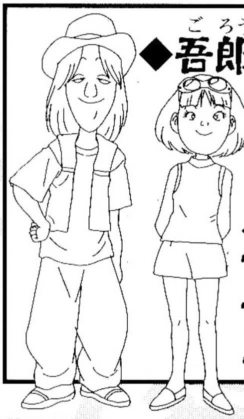
◆祐子

キャンプにやって来た4年3組の3人組は、雷がRV車を直撃するのを目撃。しかも、車に乗ってたカップルが、いなくなっていた。



◆係員

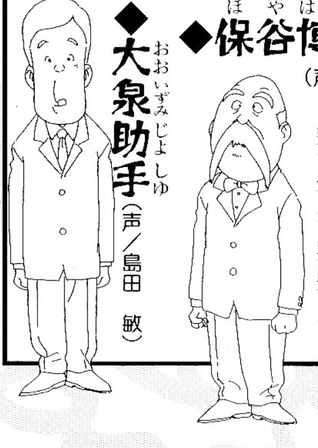
祐子たちを引率していた。RV車の乱暴な運転や、缶の投げ捨て行為にムッとなる。



◆吾郎

◆マサミ

RV車で来た典型的バカップル。



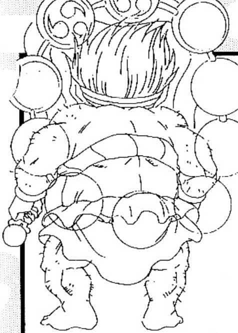
◆大泉助手（声／島田　敏）

◆保谷博士（声／阪　脩）

積乱雲にミサイルを撃ち込んで実験する。



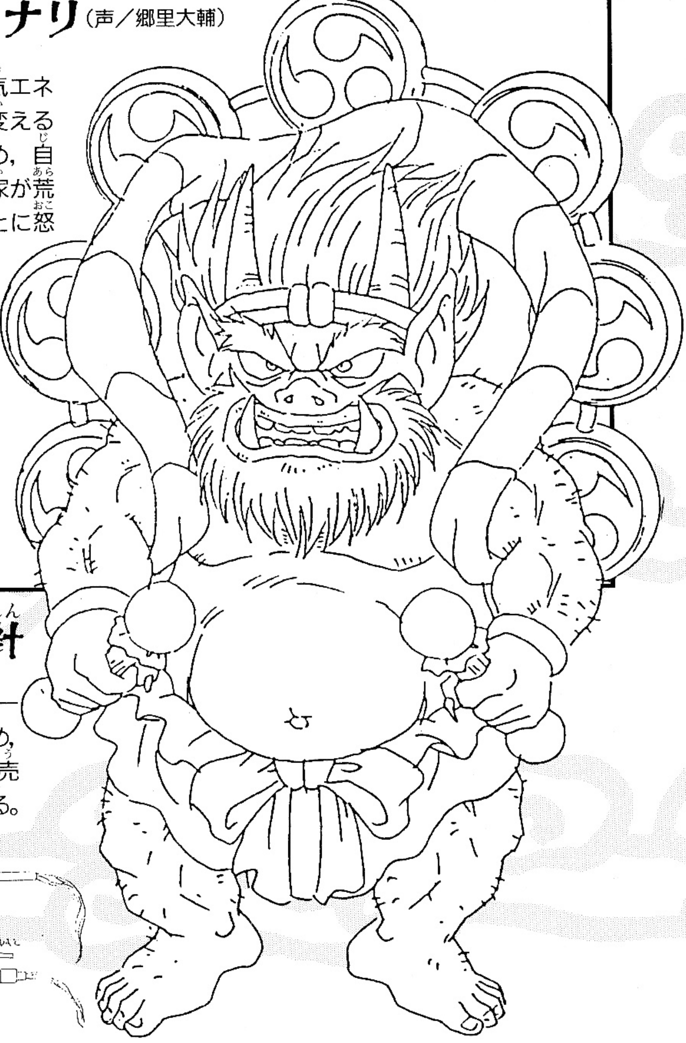
◆パイロット



◆カミナリ（声／郷里大輔）

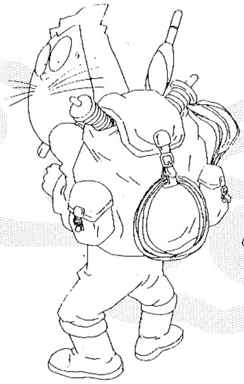
雷を電気エネルギーに変えるる実験のため，自分の棲み家が荒されることに怒っている。

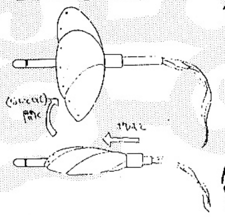




◆ねずみ男の避雷針

バッテリーに電気をため，電気会社に売ろうと考える。





あらすじ

積乱雲にミサイルを撃ち込む実験をした人間たちが行方不明になる。鬼太郎たちが積乱雲に入ると，そこには巨大な岩が浮いていた。重力のある岩の上には消えた博士たちがいたが，そこに現れるカミナリ。子泣き爺は石化してカミナリに組みつき，2人は落下。鬼太郎たちはねずみ男の避雷針で，岩の電気を抜いて降下させる。カミナリの電気を使いきらせる作戦に失敗した鬼太郎は，髪の毛綱で縛り上げたカミナリに，自分の電気を送り込んで倒す。目玉おやじは博士たちをしかり，カミナリを乗せた岩も，積乱雲へ帰っていく。

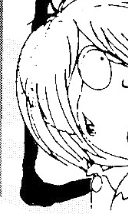
ゲゲゲ エピソードガイド



“ぺったら，ぺたらこ，ぺったっこ♪‥‥って，おィ！いま流れとる，この歌は!?”

“さら小僧の歌ですね。最近，憂歌団という人間のバンドが歌って，大ヒットしているらしいんです。”

“さら小僧の歌を盗むとは，こりゃ大変じゃ。憂歌団とやらに危険が迫っておるぞ！”



第33話 逆襲！妖怪さら小僧

●8月25日放送●

脚本／武上純希　作画監督／飯島弘也　演出／佐藤順一

◆憂歌団

一発ドカンと大ヒットを夢見て、場末のライブハウスで歌っていたが『ぺったらぺたらこ』の大ヒットによって、紅白夏の歌合戦へ出場するほどに。四人とも酒には目がないらしく、さら小僧の家にある酒を、どうも勝手に飲んでいたようだ。木村はおかわりまで催促していた。モデルはもちろん、主題歌を歌ってる憂歌団。





◆内田（声／内田勘太郎）



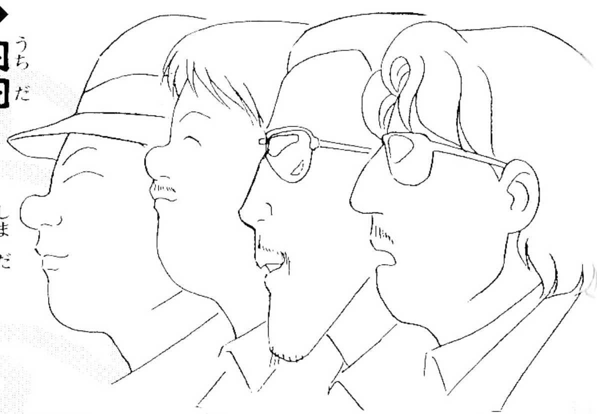
◆木村（声／木村充揮）



◆島田（声／島田和夫）



◆花岡（声／花岡献治）



◆さら小僧（声／高戸靖広）

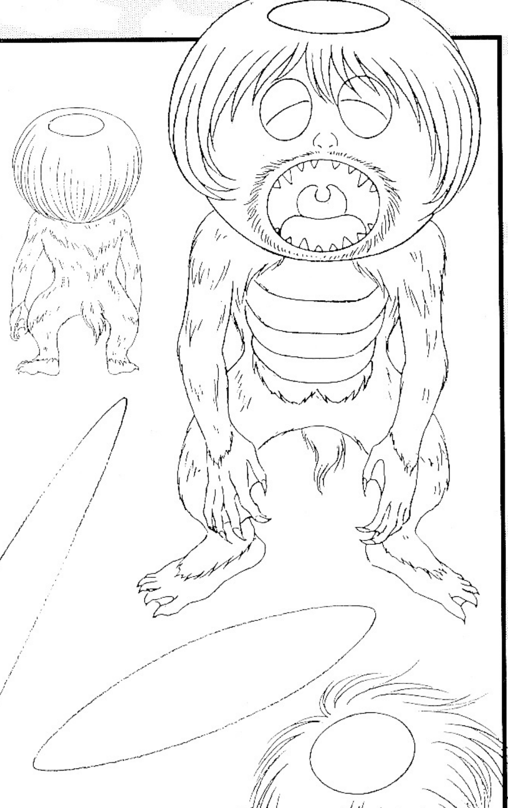
誰もの心にしみる『ぺったらぺたらこ』の持ち主。ただ，禁断の４番を歌うと，この世の終わりがくるという伝説がある。

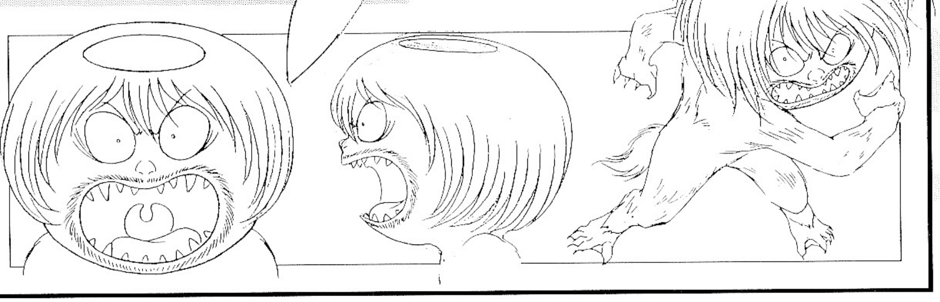
『ぺったらぺたらこ』歌詞

1 橋のたもとで　耳を澄ませば
聞こえてくるぜ
変なフシ～

2 ここの岸辺は　別天地
湿った風が
えも言われん～

3 タガメ　サワガニ
サンショウウオ
今日も手酌で
大振る舞い～





あらすじ

憂歌団は『ぺったらぺたらこ』を大ヒットさせるが，紅白夏の歌合戦当日，さら小僧にさらわれる。ねずみ男はさら小僧のいいなりに，ジェットコースターにつきあったが，憂歌団を返そうとしないさら小僧に怒り心頭，ビビビのビンタ攻撃を見舞う。怒ったさら小僧は鬼太郎と勝負するが，あっさり退散。無事に戻った憂歌団はステージに立つ。だが憂歌団は，さら小僧が頭の皿を使って見せた禁断の４番を歌ってしまい，我に返ると，４人は屋台で酒をあおっていた。そう，禁断の４番は，時間を巻き戻す呪文だったのだ。

ゲゲゲ エピソードガイド

"父さん，妖怪ポストに手紙が届いています。"
"いったい，誰からじゃ？"
"それが，あずきとぎからなんです。"
"な，なんじゃと！　妖怪ポストに妖怪の手紙が来るとは，世も末じゃ。"
"あずきとぎは，自分の歌を人間に聴いてほしいのに，誰もいなくて困っているらしいんです。"
"なんと難儀な妖怪じゃ，トホホ。"





第34話 ●9月1日放送●

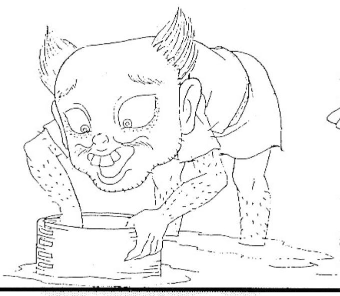
流浪！ 妖怪あずきとぎ

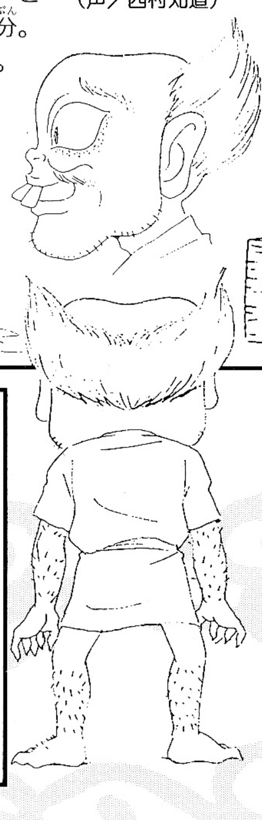
脚本／大橋志吉　作画監督／稲葉 仁　演出／明比正行

◆あずきとぎ

(声／西村知道)

あずきをとぎながら歌う "あずきとごうか，人とって食おうか" という歌を聴いてもらいたい性分。でも，人を食ったことはない。



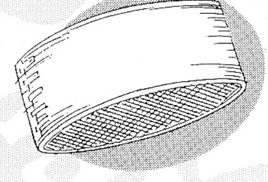




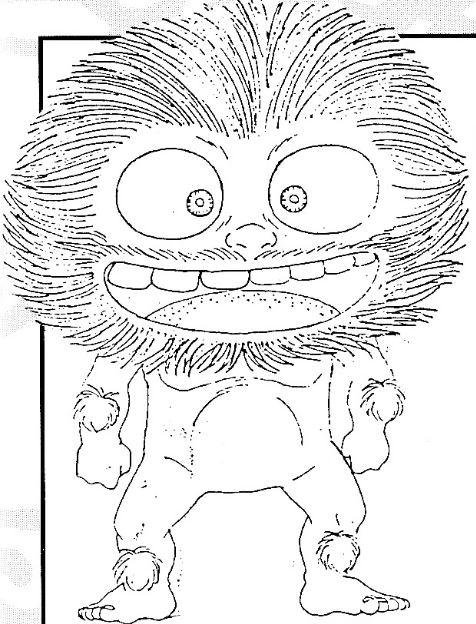
◆店主　◆店員

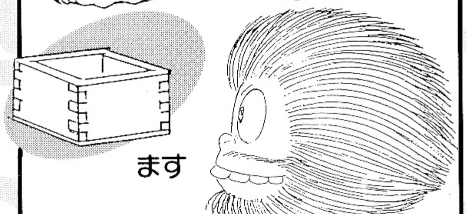


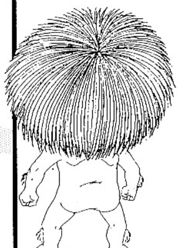
あずきとぎを雇った "梅の里名菓 紅白庵" の人。



ざる







◆あずきはかり

（声／里内信夫）

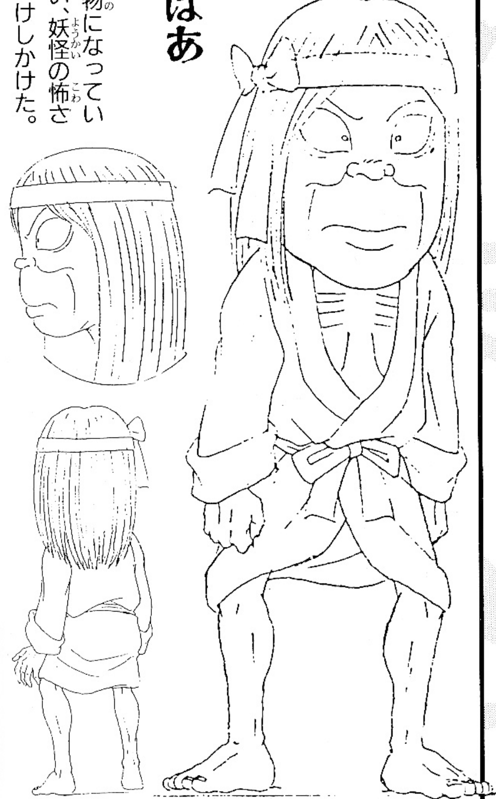
“あずきはかろうか，人とって食おうか”の歌を歌うが，あずきとぎ同様，人を食ったことはない。

◆あずきばばあ

（声／達 依久子）

二人が人間の見せ物になっていることを情けなく思い、妖怪の怖さを見せつけるために、けしかけた。





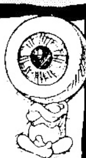
あらすじ

あずきとぎが雇われた和菓子屋は，その評判で大繁盛。噂を聞いて，あずきはかりもやってきた。だが，人間たちの態度に腹を立てたあずき妖怪コンビは，ついに暴れだす。妖気を追った鬼太郎が水車小屋へ行くと，店主たちが縛られており，鬼太郎も茎に縛られてしまう。現れたあずきばばあは，店主をけしかけ，あずきとぎたちを怒らせた張本人だった。鬼太郎は粉挽きの杵で突かれそうになるが，チャンチャンコを膨らませて脱出。あずきとぎたちは，まだ人のいる村から近い山奥の沢で，のんびりあずきをとぐことになる。

ゲゲゲ エピソードガイド

”かつて，土地転がしの帝王と呼ばれた指名手配犯，大黒と，その子分の二郎。逃走中の２人が迷い込んだのは
人の気配さえしない
妖しげなゴーストタウンだった・・・・。”
”彼らはもう，
そこから出ることはできない。
なぜなら，その街の名は――。”





第35話 鬼太郎の地獄流し

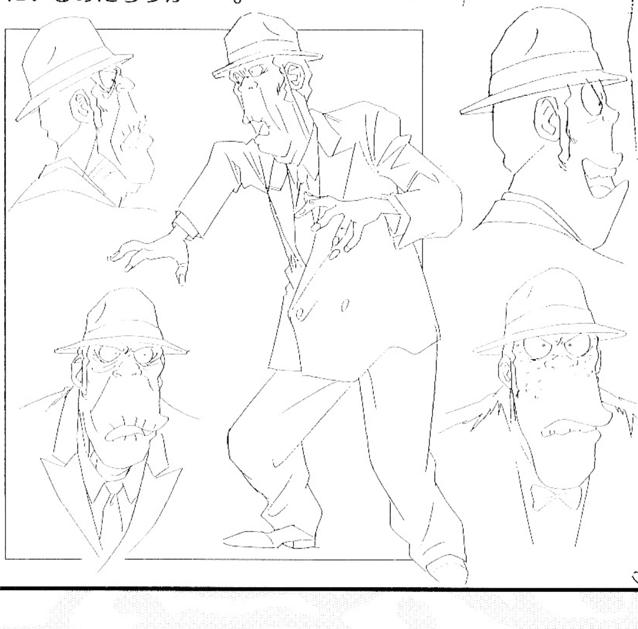
●9月8日放送●

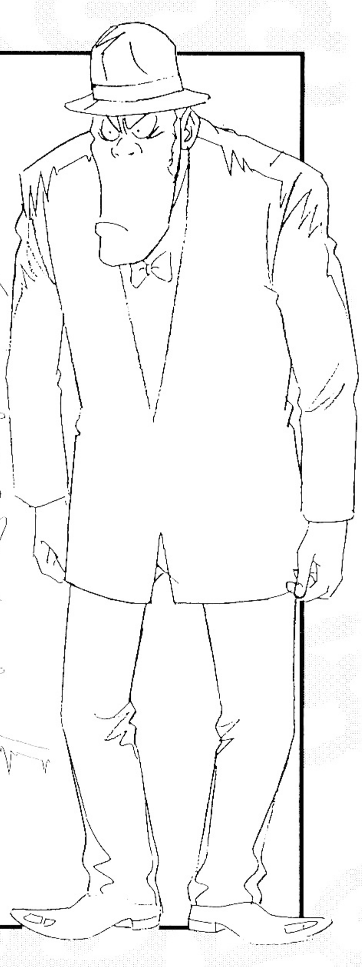
脚本／島田 満　作画監督／出口としお　演出／宇田鋼之介

◆大黒（声／徳丸 完）

逃走中に隠れようとしたラーメン屋で，出会った鬼太郎を銃で撃ったことから，地獄流しの目にあう。いまも，暗い部屋の底にいるのだろうか・・・・。



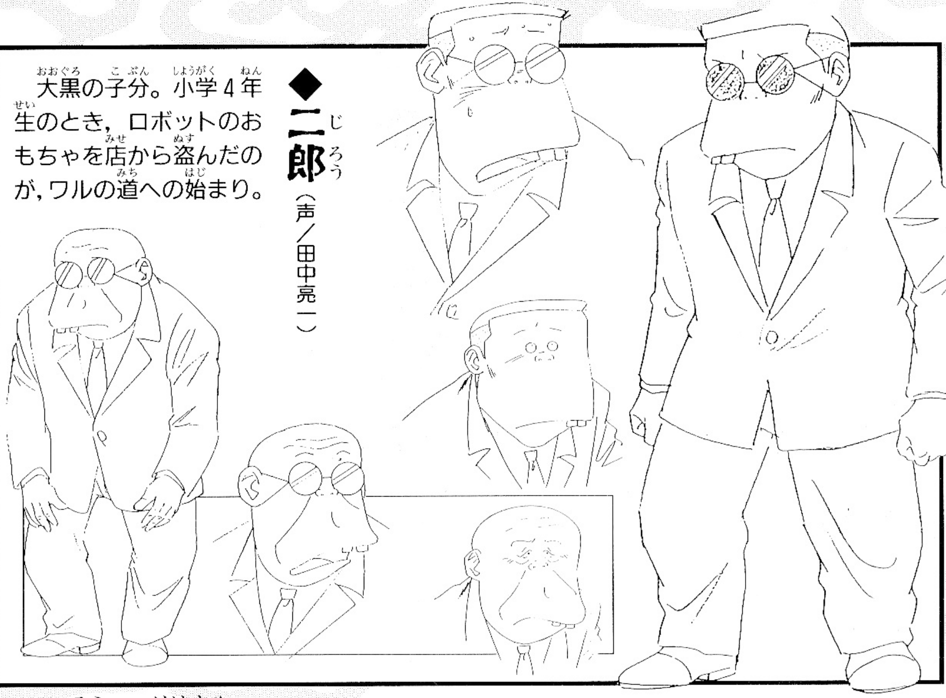




◆二郎

（声／田中亮一）

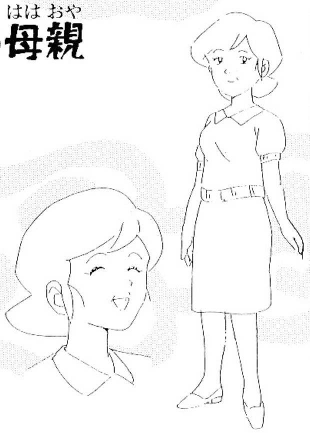
大黒の子分。小学4年生のとき，ロボットのおもちゃを店から盗んだのが，ワルの道への始まり。



◆二郎の母親

（声／大野由佳）

病弱で、十五年前に亡くなっている。生前は毎日、二郎が立派な大人になるようにお祈りしていた。



◆子供のときの二郎



あらすじ

逃走を続ける大黒と二郎は，拾った大きなダイヤに吸い込まれ，人が誰もいない街へ。どこからか聞こえてきた鬼太郎の声が，2人にそこが地獄だと告げると，風景は溶けて砂漠になる。さ迷う2人は，笑顔と引き替えに砂かけ婆から水を，若さと引き替えに子泣き爺からラーメンをもらう。ホテルに入った2人に，メイドのねこ娘は，泊まるには母親の思い出が必要だと告げる。記憶をよみがえらせた二郎は，一生懸命生きるという母との約束を思い出し，ホテルの外へ。目をさました二郎はもとの世界に戻ったが，大黒は‥‥。

ゲゲゲ エピソードガイド




“やれやれ，あのねずみ男に弟がいたとはのォ。”
“顔はそっくりだけど，ずいぶんマジメな奴ですね。
おかげでねずみ男も，心を入れ替えて働いているみたいだし。”
“しかし，その弟が妖怪アパートに来てから，住人が次々といなくなっておるんじゃ。”
“えぇッ!?”

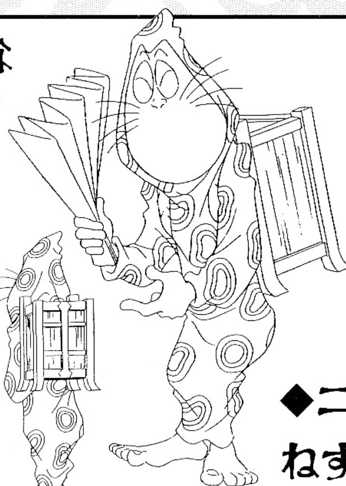
第36話 仰天！ おりたたみ入道

●9月15日放送●

脚本／大橋志吉　作画監督／木下和栄　演出／川田武範



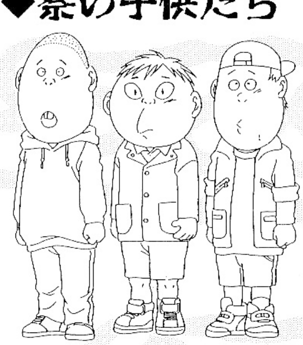
◆むじな
（声／高木　渉）



◆ニセねずみ男

葛籠に妖怪を入れるのに一年も山で修行、ねずみ男をさがすため全国を回っていたとウソをつく。

◆祭の子供たち

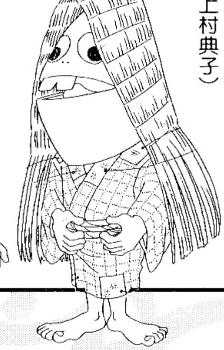


ニセねずみ男に、妖怪をダシに小遣いを取られ、鬼太郎に手紙を出す。

◆油すまし
（声／中井和哉）



◆呼子
（声／上村典子）



居場所のなくなった妖怪のために砂かけ婆が建てた、妖怪アパートに住んでいる妖怪たち。

◆おりたたみ入道

（声／川津泰彦）



妖怪を食べるため，ニセねずみ男の背負った葛籠のなかに入っている。呼子と油すましを食べてしまう。

あらすじ

ねずみ男は，お祭りで生き別れの弟に出会う。妖怪アパートに入った弟に笑われないようにと，工事現場でマジメに働くねずみ男。一方妖怪アパートでは，呼子がいなくなる。鬼太郎は，ねずみ男の弟の葛籠から出たおりたたみ入道が，油すましを食べる現場を見るが，ねずみ男は信用しない。その隙をついて，おりたたみ入道は鬼太郎を食うが，鬼太郎は身体から電気を出して脱出し，チャンチャンコでおりたたみ入道をしめあげる。油すましと呼子も戻り，ねずみ男が弟のシッポに気づいてつかむと，弟はむじなに戻ってしまう。

ゲゲゲ エピソードガイド



"鬼太郎，妖怪自動車がねずみ男に盗まれたそうじゃぞ！"
"えッ？　妖怪自動車といえば，たしか夜行さんが作ったという‥‥。"
"そう，この世とあの世を行き来できる，唯一の乗り物じゃ。"
"そんなものを悪用されたりしたら！"
"‥‥大変じゃ！　妖怪自動車が地獄へ向かったぞ！"



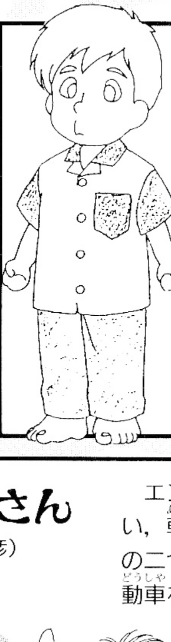
第37話 ●9月22日放送● 大追跡！ 妖怪自動車

脚本／武上純希　作画監督／海老沢幸男　演出／吉沢孝男

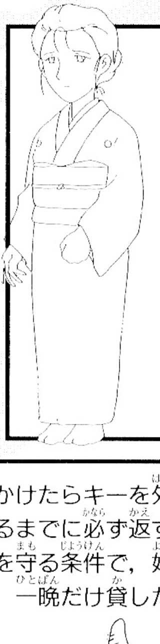


◆丸田勇夫（声／平野正人）

気がつくと死んでいたため，息子の勇樹とかわした夜明けの海を見せる約束が心残り。



◆丸田勇樹（声／青山美帆）



◆丸田早苗（声／高木早苗）



◆夜行さん

（声／掛川裕彦）

エンジンをかけたらキーを外さない，朝日が昇るまでに必ず返す，この二つの約束を守る条件で，妖怪自動車を勇夫に，一晩だけ貸した。



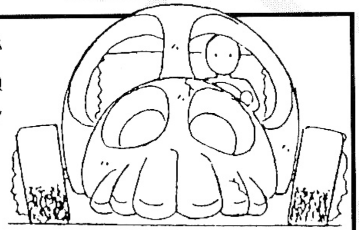
首なし馬

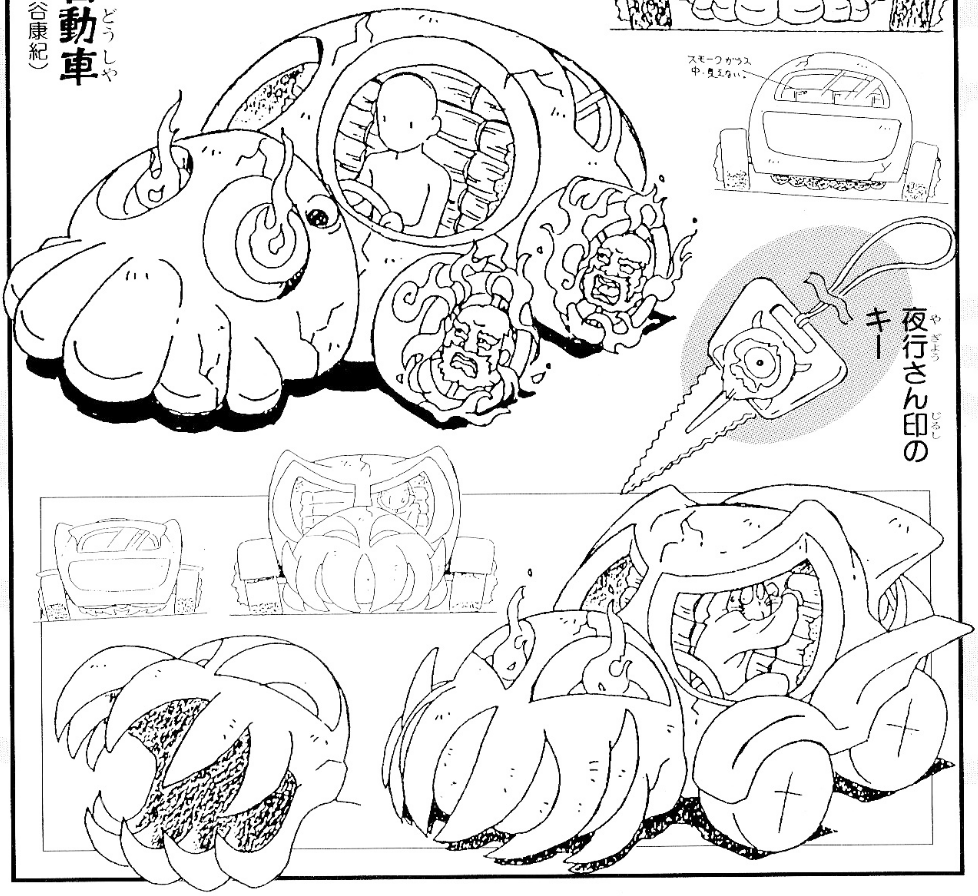


◆妖怪自動車

（輪入道：声／増谷康紀）

勇夫がコンビニに行った隙に，ねずみ男が盗み出す。しかも輪入道にそそのかされたねずみ男がキーを抜いたため，邪悪バージョンで暴走。宝珠のある閻魔大王庁をめざす。





あらすじ

幽霊になった勇夫は，二つの約束を守ることを条件に，夜行さんから妖怪自動車を借りる。眠る勇樹を乗せて海をめざす勇夫が，途中行き倒れのねずみ男を乗せてやると，ねずみ男は妖怪自動車を盗んでしまった。ねずみ男にキーを抜かせ，自由になった妖怪自動車は，霊界バイパスを突っ走る。追う鬼太郎は，駆けつけた夜行さんに渡されたスペアキーで，妖怪自動車をもとに戻した。夜行さんは，キーを抜いたのはねずみ男だし，まだ朝日は昇っていないと勇夫を許す。そして勇夫は，勇樹と一緒に昇る朝日を見つめるのだった。

ゲゲゲ エピソードガイド



"模型飛行機で，さらわれた子供たちを追ってきたら，こんな所にきてしまいましたよ。"

"ふ〜ん，なんともいえず，不気味な洋館じゃのオ。"

"猫娘たちも子供たちを追って，ここに来てるはずなんですが——あ，父さん，あそこに！"

"いかん！　ねずみ男がおどろおどろに血を吸われておる!!"

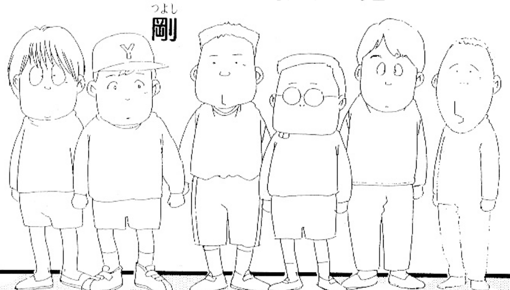


第38話 血闘！ おどろおどろ

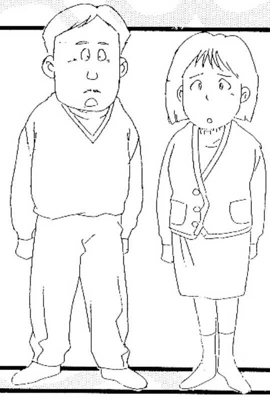
●9月29日放送●

脚本／橋本裕志　作画監督／八島善孝　演出／明比正行

◆さらわれた子供たち

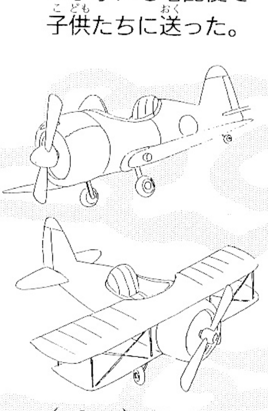


◆剛の両親



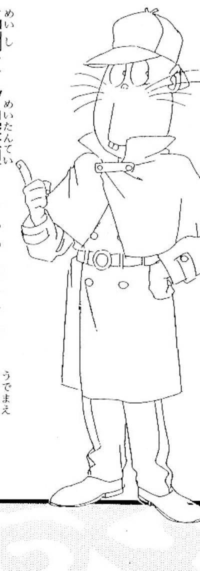
◆模型飛行機

おどろおどろは，ご丁寧にも宅配便で子供たちに送った。



◆シャーロック・ねずみ男

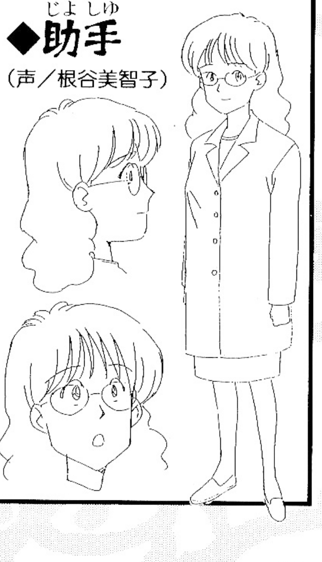
名刺に"名探偵"とあったが、さて腕前は？



◆助手

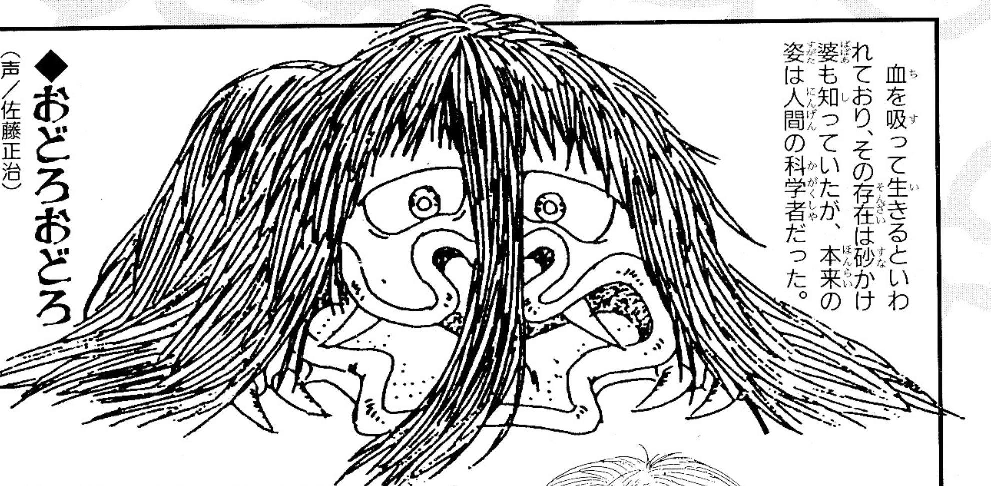
（声／根谷美智子）

子供たちの血が必要ない薬を研究していた。

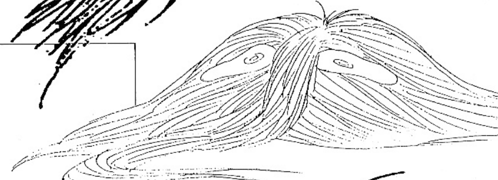


◆おどろおどろ

（声／佐藤正治）



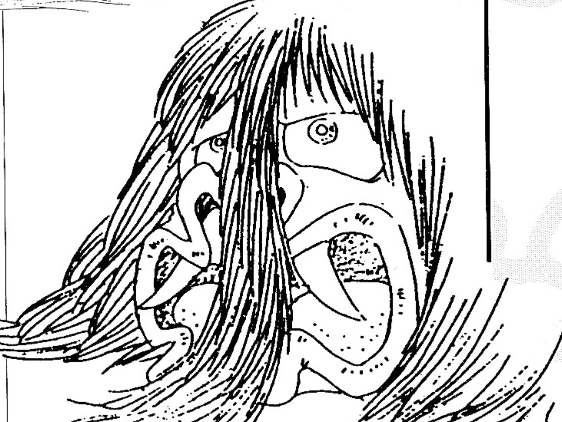
血を吸って生きるといわれており、その存在は砂かけ婆も知っていたが、本来の姿は人間の科学者だった。



◆科学者



毛はえ薬の副作用で、おどろおどろになってしまった人騒がせな人物。



あらすじ

鬼太郎は，子供を乗せて飛ぶ模型飛行機を追うが，一反木綿がプロペラに巻き込まれ，墜落してしまう。砂かけ婆，ねこ娘，ねずみ男も模型飛行機に乗り，途中，砂かけ婆は鬼太郎への道標に砂をまく。洋館に着いた3人は，おどろおどろに襲われるが，颯爽，リモコンゲタを投じて鬼太郎が駆けつける。巨大石臼メカで子供たちを押しつぶそうとするおどろおどろは，鬼太郎の放電を浴びて怒り，鬼太郎の血を吸おうとする。だが，逆に鬼太郎に血を吸われ，鬼太郎の全妖力で清めた血の滴で人間に戻り，子供たちも無事だった。

ゲゲゲ エピソードガイド



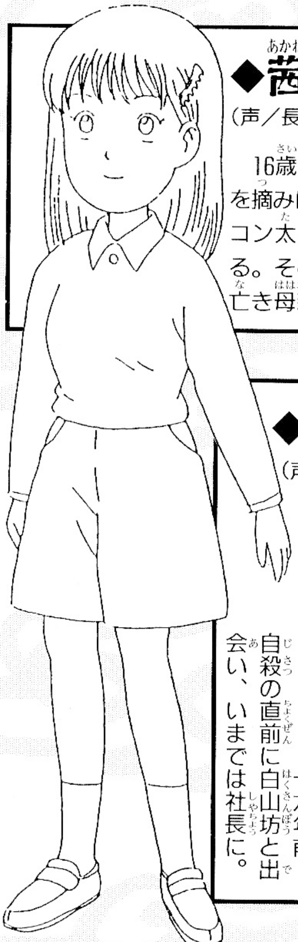
“ツキを授かる見返りに，自分の娘を差し出す‥‥。
人間，追いつめられたら
とんでもない約束をしてしまうものですね。”
“なにを呑気な！　あやつ，花嫁にした
娘さんを食ってしまうつもりなんじゃろ！”
“なんですって‼　嫁入りの日って，
今日なんですよ！”



第39話　妖狐・白山坊の花嫁

●10月6日放送●

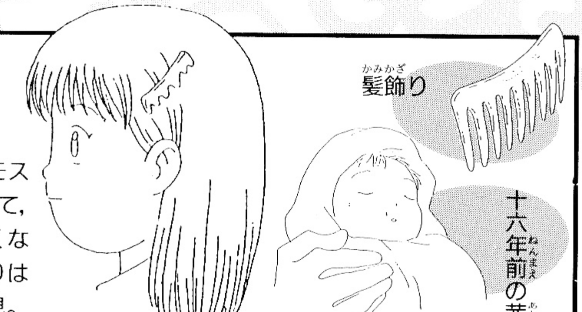
脚本／島田 満　作画監督／直井正博　演出／佐藤順一



◆茜

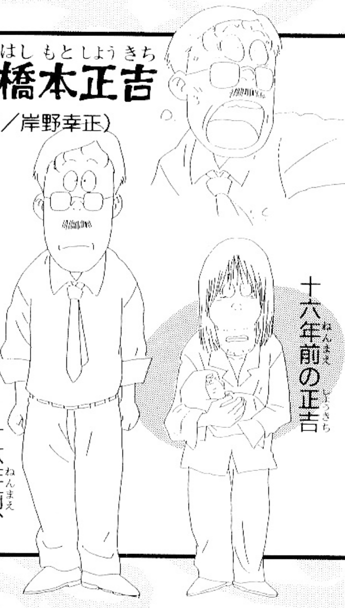
（声／長沢美樹）

16歳。コスモスを摘みに出掛けて，コン太と仲良くなる。その髪飾りは亡き母親の形見。



◆橋本正吉

（声／岸野幸正）



十六年前、自殺の直前に白山坊と出会い、いまでは社長に。

◆運転手





◆狐封じの壺

砂かけ婆の部屋の，押し入れの奥にしまってあった。

◆白山坊（声／大塚周夫）



正吉にツキを授ける代わりに，16年後，茜を嫁にもらうことを約束。考えてみれば，気の長い奴。

◆コン太（声／大谷育江）



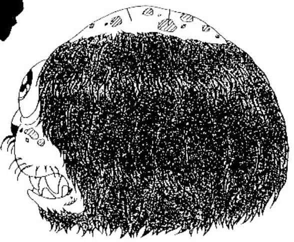
人の言葉をしゃべれたが，白山坊が封印されたため，普通の狐に戻る。

あらすじ

白山坊は，茜を守る髪飾りを取ってくるようにコン太に命じる。コン太は茜に近づくが，髪飾りが茜の母親の形見で，茜には母親がいないことを知って，やや尻込み。茜は，髪飾りを持って帰れば神通力をもらえるコン太が，母親の待つ家に帰ると聞き，髪飾りを渡す。コン太は，髪飾りを握りつぶした白山坊が，茜を食べようとしていることを知って愕然。嫁入り装束の茜を運ぶ狐の行列の前に立ちふさがり，白山坊に食われてしまう。だが鬼太郎が，狐封じの壺で白山坊を封印。急所を外れていたコン太も一命を取りとめたのだが‥‥。

ゲゲゲの鬼太郎
風雲!妖怪城

きみは『風雲！妖怪城』もう見た？　まだのきみは，あらすじをバッチリ読んで予習しといてね。もう，必見の大迫力なんだぜ！



◆二口女（声／鈴木麻理子）

鬼太郎を食おうとするが，ねこ娘に顔をひっかかれ，蛇髪で縛り上げられてしまう。





◆たんたん坊（声／田中一成）

頭上に乗った子泣き爺の重みで，妖怪城の最上階から一気に落下。地面にめり込む。

あらすじ

ねずみ男がしめ縄を外したため，岩に封印されていた妖怪城が現れた。一反木綿に乗って来た鬼太郎は，そこに捕らわれている，ねこ娘，砂かけ婆，子泣き爺の姿を見る。ねずみ男を問い詰めるため城内に飛び込んだ鬼太郎は，仲間たちの助けを借りて，襲い来るたんたん坊，二口女，かまいたちを，倒す。ついに，その巨大な姿を現した黒幕の見上げ入道は，目玉おやじたちを吸い込むが，鬼太郎は



◆かまいたち

（声／高戸靖広）

落下しながら石化した子泣き爺の直撃を背中に受け，そのまま地面に叩きつけられた。



◆見上げ入道

（声／北川米彦）

チャンチャンコで口をふさがれ，パンパンの腹に髪の毛バリを受けて破裂してしまう。

きみも太秦映画村に行ってみよう！

東映太秦映画村は，実際に時代劇の撮影も行われており，チャンバラ気分にひたれること確実。'97年３月には新施設「パディオス」もオープン。『風雲！妖怪城』は，ドームシアター（入場料300円）で見られるぞ！

東映太秦映画村

〒616 京都市右京区太秦東蜂ケ岡町10☎075(864)7716
FAX 075(864)7776　催し物案内☎075(864)7788
http://www.toei.co.jp/

■入村料（消費税込み）

日・祝・平日共	大　　人	中・高生	小人（４歳以上）
個　　人	2000円	1100円	900円
団体（25名以上）	1800円	990円	810円

※障害者割引もあります。

学校団体（グループ行動）	中・高生	小学生
	900円	700円

■営業時間（入村は終了30分前までです）

３月１日～11月30日　9:00～17:00
12月１日～２月末日　9:30～16:00

■休村日12月21日～１月１日（１月２日より営業）

その腹に髪の毛バリを見舞う。突風とともに目玉おやじたちが，飛び出してきたので，ぬりかべがキャッチ。一反木綿がしめ縄を妖怪城のてっぺんにかけ，妖怪たちと妖怪城は，再び岩に封印された。

■原作／水木しげる■企画／清水慎治■脚本・監督／西尾大介■キャラクター監修／荒木伸吾，姫野美智■作画監督／松本朋之■美術／浦田又治■製作担当／松本芳弘■撮影／田代儀幸■編集／片桐公一■録音／波多野勲■音響効果／今野康之■選曲／西川耕祐■演出助手／長濱亘彦■CG制作／片田利明■プロデューサー補／有原美千代■製作協力／東映京都撮影所，東映動画■協力／東映化学、タバック■製作／東映太秦映画村（'96年４月28日より上映中）

ゲゲゲ グッズカタログ2



イシシシシシ！ またまた金もうけに成功しちまったぜ この札束を軍資金に 大人気の鬼太郎グッズでも買い占めて ビビビのビッとひともうけしちゃおうかな～♪

バンダイ

ハンカチ



▲登校やお出かけには欠かせないハンカチも，全3種が発売中（各250円）。

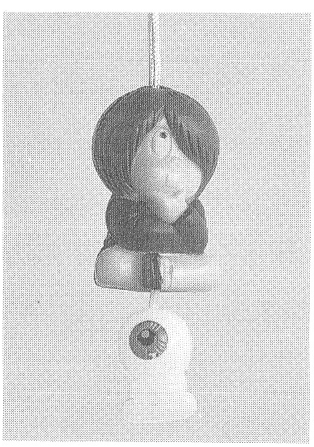
きんちゃく袋



▲こちらもお出かけには欠かせないきんちゃく袋。上履き入れや，お弁当入れに！（L／650円。M／400円）

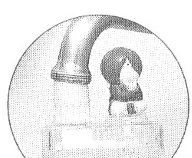
ユタカ

ねたままコード

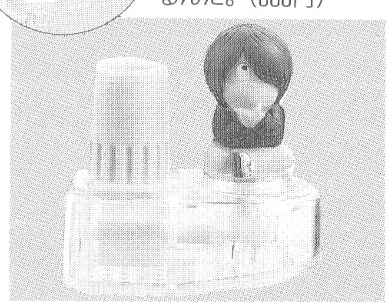


▶蓄光素材の目玉おやじが暗闇で光る，室内灯用延長コード。部屋が暗いときも，これでOK。（480円）

た～んしゃわ～



▼蛇口に取り付けるだけで，水を流すと鬼太郎がクルクル愉快に回るんだ。（680円）



キャラクターカイト



◀百十六×六十四センチのビッグサイズが嬉しい、鬼太郎凧。グラスファイバーのフレームで、風が強いときも安心。（六百八十円）





子供ジグソー

◀鬼太郎と仲間たちが大集合したジグソーパズルも，２種類が発売中。どちらも100ピースなんで，低学年の子も，チャレンジしてみよう。（各600円）

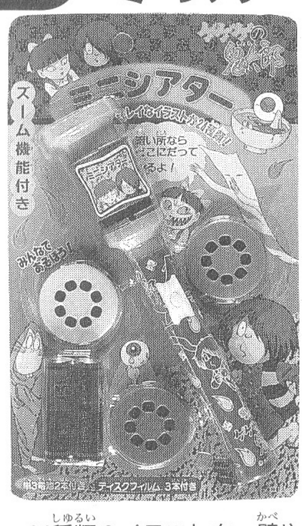
丸昌

妖怪セット



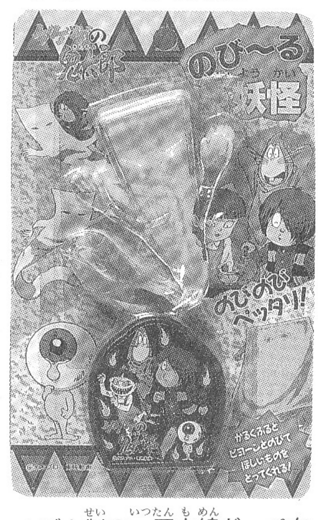
▲ミニソフビ人形の３体セット。ねずみ男がグー。（680円）

ミニシアター



▲24種類のイラストを，壁や天井に映写できる。（580円）

のび〜る妖怪



▲ゴム製の一反木綿が，ペタペタくっつくよ。（200円）

丸美屋

カレー





ビッグステッカー

チキン&コーンあまくち

ビーフあまくち

▲ボリュームたっぷりのカレーも，2つの味で発売中。おまけのビッグステッカーは，直径10センチで全10種。集めてピラミッドを作ろう。(各130円)

ふりかけ

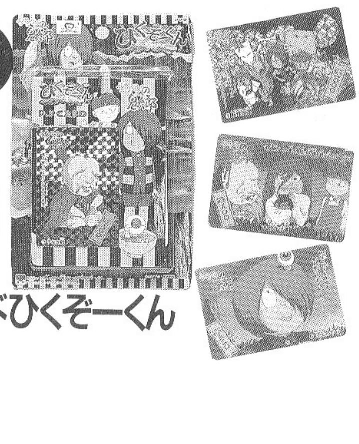




Wシール

▲たまご味とおかか味で計20袋入り。おまけのWシールは全10種。1枚はがすともう1枚のシールが現れるぞ。(220円)

アマダ



▶全42種（1枚20円)。ひくぞーくんは12枚のセット売り。(300円)

P.Pカードひくぞーくん

セイカノート

妖怪キラシール



▶キラキラ光って，超目立ちまくるシールだ。(200円)

東映ビデオ

ヒーロークラブ

▶鬼太郎の活躍をいつも楽しむには，やっぱりビデオが最適。鬼太郎は過去に3度もアニメ化されており，そちらもビデオ化されてるんで，近所のレンタル店ものぞいてみよう。

▼収録時間は，どれも30分。三の巻は'97年3月21日発売。（各3100円）

一の巻



ゲゲゲの鬼太郎大図鑑

二の巻



鬼太郎の危機！倒せ最強妖怪

三の巻



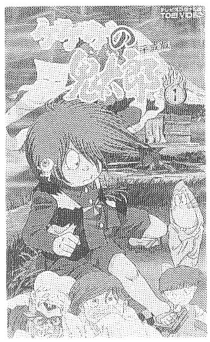
妖怪大裁判の罠!!

大海獣



◀'96年夏の大ヒット映画。あの興奮を、ビデオでもう一度。（九千八百円）

Vol.1



Vol.2



◀こちらは、TVシリーズの完全ビデオ版。①には第一話から第四話まで、②には第五話から第八話までを収録。（各九千二百円）

wea japan

ソングコレクション 第1集

▼全9曲入りのCD。「ロックだ，ねこ娘」がオススメ。（2500円）



映画ノベルティ シール





▲◀上は前売り券購入特典。下は入場者全員プレゼント。

でんぐりこま

「テレビマガジン」特製

目玉のおやじ メロディ ウオッチ



▶「テレマガ」'96年11、12月号の全プレ景品。現在入手不可なのが残念！

コミックボンボンスペシャル⑩⑦

ゲゲゲの鬼太郎 公式ガイドブック②

毎週日曜午前9:00～9:30　フジテレビ系列放送
第28話のみ7:30～8:00
■企画／石井浩二（フジテレビ）
木村京太郎（読売広告社）
■プロデューサー／清水慎治
■原作／水木しげる
コミックボンボン　テレビマガジン
たのしい幼稚園　おともだち連載（講談社）
■制作担当／樋口宗久　■音楽／和田　薫

■主題歌／オープニング　「ゲゲゲの鬼太郎」
作詞　水木しげる
作曲　いずみたく
唄・編曲　憂歌団

エンディング　「カランコロンのうた」
作詞　水木しげる
作曲　いずみたく
唄・編曲　憂歌団
(wea japan)

■キャラクターデザイン　総作画監督／荒木伸吾
姫野美智　■美術デザイン／浦田又治
■シリーズ・ディレクター／西尾大介

声の出演
鬼太郎…………松岡洋子
目玉おやじ…田の中　勇
ねずみ男………千葉　繁
砂かけ婆………山本圭子
子泣き爺………塩屋浩三
ねこ娘………西村ちなみ
一反木綿
ぬりかべ………龍田直樹
村上祐子……前田このみ
谷本　淳………沼田祐介
鈴木翔太………松井摩味

協力　青二プロダクション

制作
フジテレビ
読売広告社
東映

この本の内容についてのお問い合わせは，講談社　コミックボンボン編集部あてにお願いします。お問い合わせは，官製ハガキでお願いします。
なお，勝手ながら，お電話でのお問い合わせには応じられません。
《あて先》　〒100-91　東京中央郵便局　私書箱1420号　講談社
コミックボンボンスペシャル「ゲゲゲの鬼太郎公式ガイドブック②」係

構成・執筆／赤星政尚
カバー原画／東映動画
デザイン／テン・グラフィス（間中幸子，新井奈々，鈴木玲子，橋口恵子）
協力／東映動画，東映太秦映画村，東映ビデオ，バンダイ，バンプレスト，ユタカ，丸昌，天田印刷加工，丸美屋食品工業，wea japan，セイカノート

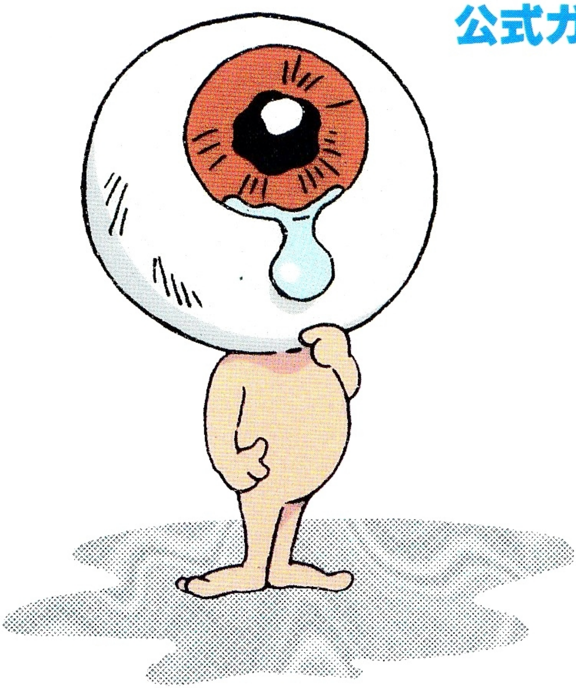
発行　1997年2月26日　第1刷発行
発行者　野間佐和子
発行所　株式会社　講談社　〒112-01　東京都文京区音羽2-12-21
電話　東京（03）5395-3457（編集部）　（03）5395-3605（販売部）
印刷所　共同印刷株式会社
製本所　株式会社国宝社
（定価はカバーに表示してあります。）

講談社

ISBN4-06-103307-7（ボン）

ゲゲゲの鬼太郎(きたろう)

公式ガイドブック2



9784061033078

1919476007804

雑誌　68330-08

ISBN4-06-103307-7

C9476 P780E (0)

講談社
定価780円(本体757円)